

長岡市民アンケート調査結果報告書

目次

0	本調査の概要	P.2
1	回答者の属性	P.6
2	幸福度関連	P.20
3	総合指標関連	P.37
4	政策・施策KPI	P.58

0

本調査の概要

調査実施概要

- 次期総合計画においては計画全体及び各政策・施策においてKPIを設定し、計画のPDCAマネジメントサイクルへの活用を想定している。
- そこで、市民の幸福度や総合指標及び政策・施策のKPIに関する現状値の把握（ベースライン調査）を目的として、無作為抽出の市民5,000人に対して調査票を配布し、2,189人から回答があった。

■ 本調査の実施概要

実施目的	市民の幸福度や次期総合計画における総合指標、政策・施策ごとのKPIに関する現状値の把握
対象者	18歳以上の市民5,000人（無作為抽出）
調査方法	調査票配布方法：郵送配布 回答方法：郵送またはWEBからの回答
回答期間	2025年8月15日(金)～9月4日（木）
回答者数	2,189人（回収率 44%）

調査項目概要

- 調査項目は以下の通り。

■ 調査項目の概要

属性	回答者について	性別、年代、職業、家族構成、居住地域、合計居住年数、転居経験、子育てや介助・介護が必要な家族の有無、婚姻状況、婚姻意向、希望子ども数
幸福度		暮らしの満足度、幸福度、5年後の幸福度、幸福度が下がる理由
総合指標	長岡市全体について	長岡市での居住継続意向、居住継続意向の理由、市のまちづくりに対する認識、居住地域におけるまちづくり関与の有無、特に力を入れてほしい取り組み
政策・施策 KPI	暮らしについて	地域活動への参加経験、市民活動への参加経験、男女平等の進展に関する認識、ワークライフバランスの実現状況、人権意識
	子育て・教育・歴史文化 などについて	学校教育以外の主体的な学びの機会の充実度、運動やスポーツへの関わり、文化芸術への関わり、平和について考える機会、長岡市の歴史や文化に対する愛着、地域での子育て・児童の見守り状況
	福祉や健康などについて	経済的な不安の有無、生活に関する相談先の有無、地域活動・ボランティアへの関心、地域において高齢になっても安心して生活し続けられるか、現在の健康状態
	環境について	脱炭素社会に向けて行っている取り組み、太陽光発電設備の導入意向
	交通や住環境について	市内における幹線道路を用いた移動のしやすさ、市内における公共交通機関を用いた移動のしやすさ、現在の住環境の快適さ
	中山間地域について	中山間地域の魅力、中山間地域への訪問の有無
	土地の管理について	将来における土地管理に関する不安の有無、土地の管理にあたって必要な取り組み
	行政サービスについて	必要な行政サービスや政策が実施されているか、利便性の高い行政サービスが提供されているか、必要な市政情報を十分に得られているか、どのような方法で市政情報を得ているか
その他	-	その他ご意見（自由記述）

調査結果の要点

■ 前提

- 無作為抽出の市民5,000人に対して調査票を配布し、2,189人から回答があった。（回収率 44%）
- 回答者の男女比は、女性の方が男性より約10%多かった。年代については、30～60歳代については20%前後と概ね同程度である一方で、10～20歳代及び70歳代は10%以下となり、やや少なかった。

■ 幸福度について

- 本調査では、デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標を踏まえ、生活満足度、現在の幸福度、5年後の幸福度について各10点～0点の11段階で確認した。
- その結果、生活満足度は平均6.18点、幸福度は6.75点、5年後の幸福度は6.35点であった。
- 新潟県全体での平均は、生活満足度6.15点、幸福度6.45点、5年後の幸福度6.36点であり、これと比較すると、長岡市の生活満足度と5年後の幸福度は同程度であり、現在の幸福度はやや高いといえる。
- 新潟県全体でも同様だが、現在の幸福度よりも5年後の幸福度が低い結果となった。5年後の幸福度が低い理由については、いずれの年代にも共通して物価上昇に伴う経済的不安が多く見られた。年代別では、10歳代では就職後の生活に関する不安や、20歳代では仕事による負担、30、40歳代では子育てに関する精神的・経済的負担、40～50歳代では親の介護や自身の健康に関する不安、60歳代以降では健康や生活費に関する不安や、子どもや友人と会う機会が減ることによるさびしさが多くあげられている。
- また、クロス集計では、「経済的な不安がある」人ほど各項目の平均値が低く、「地域活動経験がある」人ほど各項目の平均値が高いことがわかった。ウェルビーイングの実現にあたって、経済的基盤や地域関係・コミュニティの重要性が改めて示唆される結果となった。

■ 総合指標について

- 長岡市での継続居住意向については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が79.8%と、住み続けたいと思う人が8割近い結果となった。
- 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めていると思うかについては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が59.7%であり、住みやすいまちづくりの推進について実感できている市民が約6割いることが分かった。
- 居住している地域のまちづくりに関わっていると思うかについては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が29.9%であり、自身がまちづくりに関わっている意識を持つ市民は約3割にとどまることが分かった。
- 長岡市に特に力を入れてほしい取り組みについては、「福祉・健康・保健・医療体制の充実（63.5%）」、「除雪体制の維持・確保(58.3%)」、「公共交通の維持・確保（45.5%）」、「子育て支援の充実（38.0%）」といった取り組みが上位にあがった。

1

回答者の属性

回答者の性別

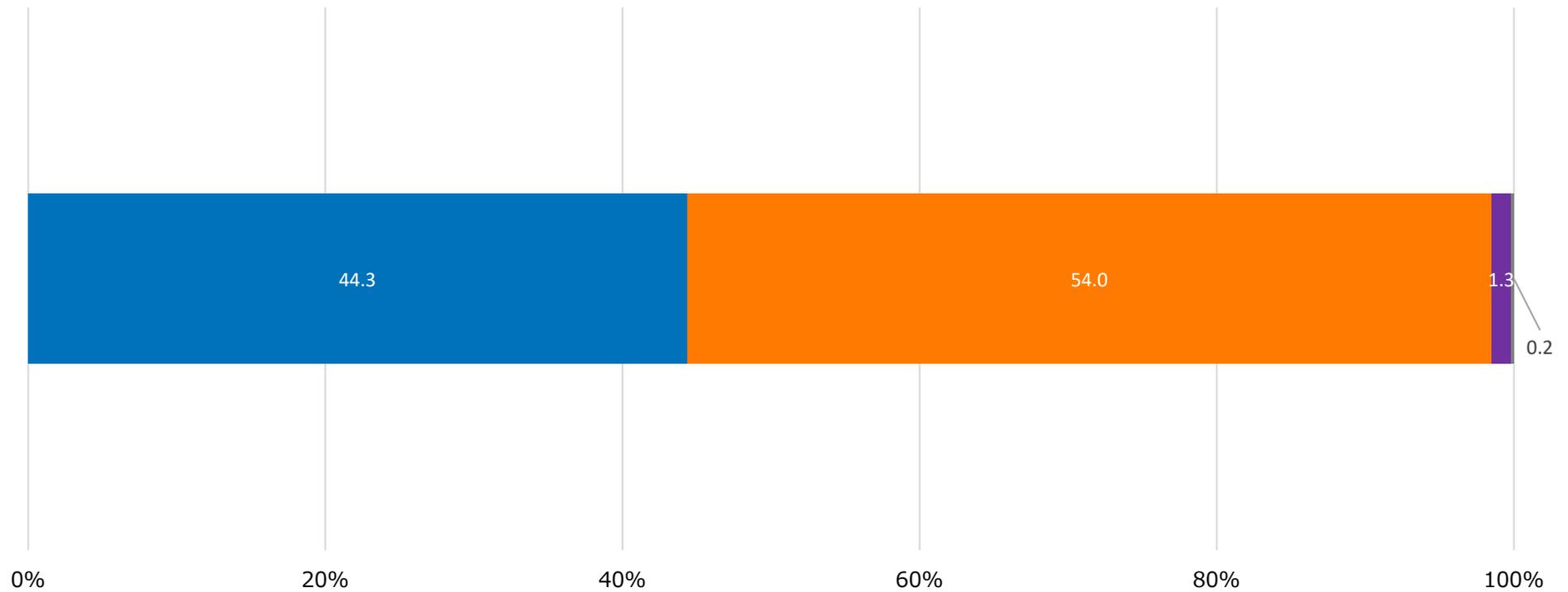
- 回答者の性別については、「女性（54.0%）」、「男性（44.3%）」と、女性の回答者が9.7%多い結果となった。

■ 性別

あなたの性別を教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない ■ 無回答

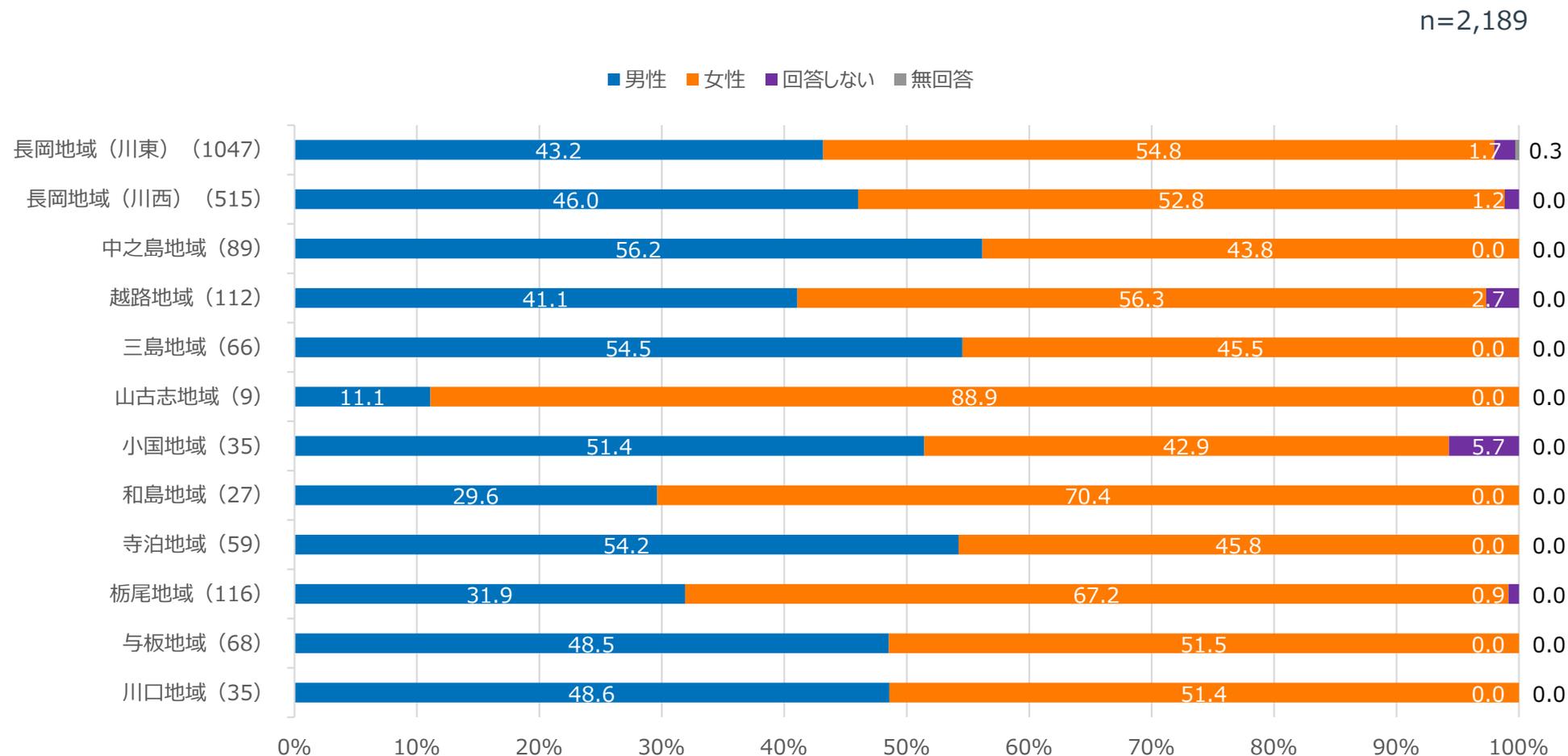


回答者の性別（居住地域）

- 回答者の性別について、居住地域ごとに確認した。
- 多くの地域において男性が4～5割、女性が5～6割程度であったが、山古志地域と栃尾地域では女性の割合が7割を超えた。

※山古志地域は特にn数が少ないため留意が必要

■ 居住地域ごとの性別



回答者の年代

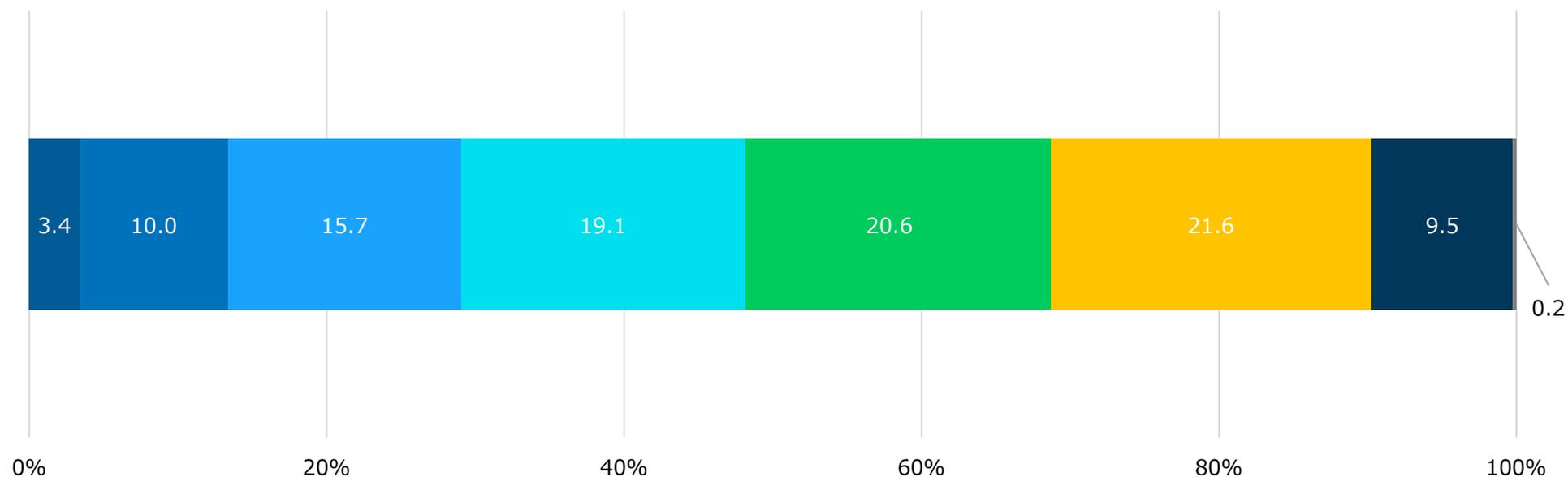
- 回答者の年代については、30～60歳代については各年代ともに20%前後と概ね同程度であり、10～20歳代及び70歳代は10%以下となっている。

■年代

あなたの年齢を教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳以上 ■ 無回答

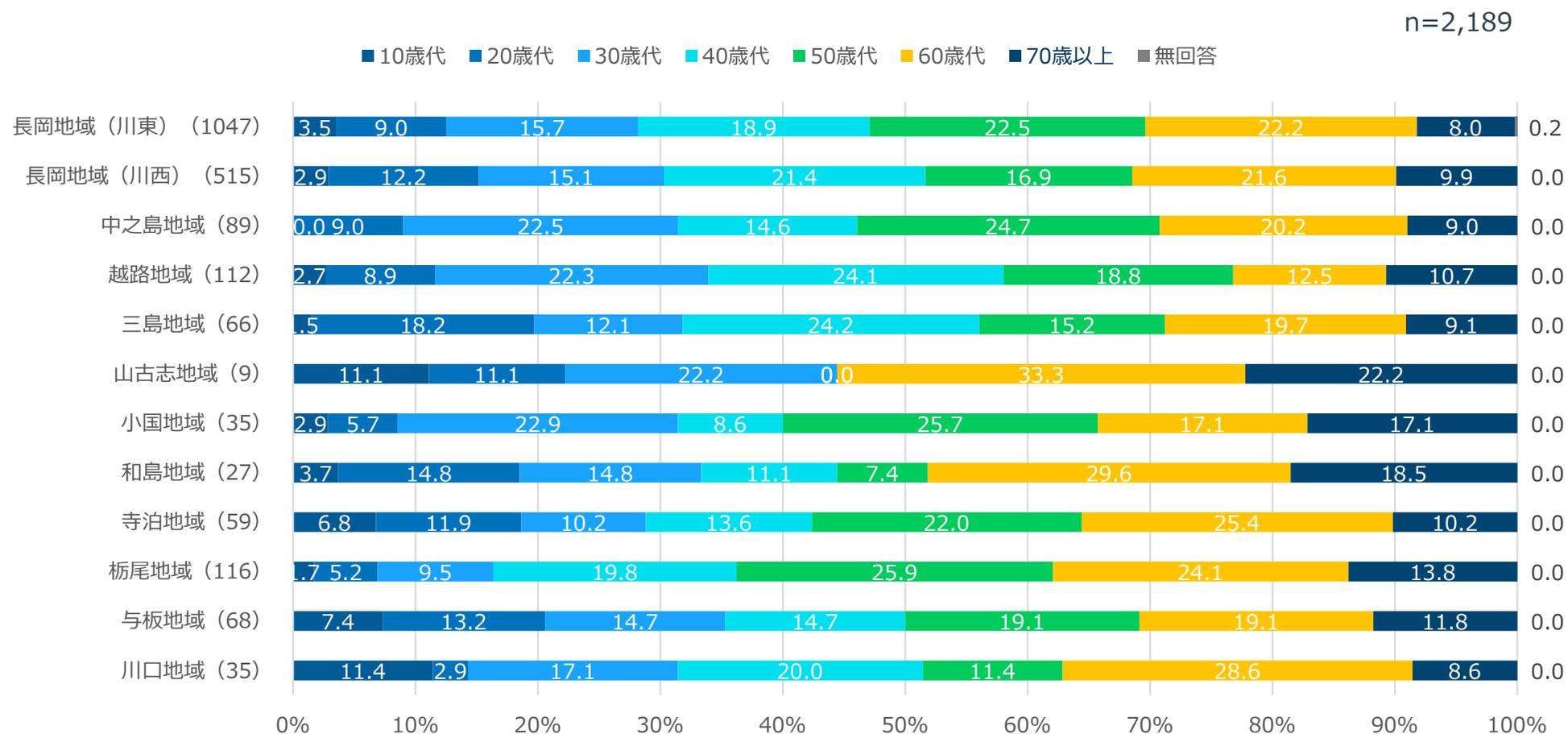


回答者の年代（居住地域）

- 回答者の年代について、居住地域別に確認した。
- 回答者が少ない山古志、川口、和島地域などでは、60歳以上の割合が多いなど、全体での年代構成との違いが大きかった。

※山古志地域は特にn数が少ないため留意が必要

■居住地域別の年代



回答者の職業

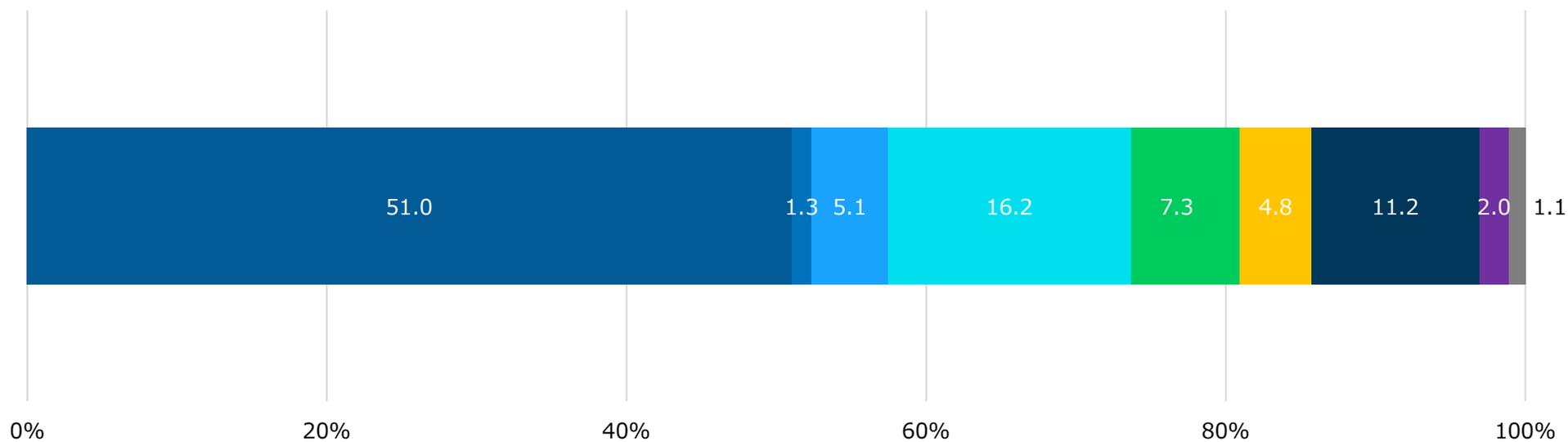
- 職業については、「会社員・公務員・団体職員」が51.0%と半数以上を占めた。次いで「パート・アルバイト（16.2%）」、「無職（11.2%）」の順に多い結果となった。

■ 職業

あなたの職業を教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 会社員・公務員・団体職員 ■ 自営業（農林水産業） ■ 自営業（商工業・サービス業） ■ パート・アルバイト ■ 専業主婦・主夫 ■ 学生 ■ 無職 ■ 回答しない ■ 無回答



回答者の世帯の家族構成

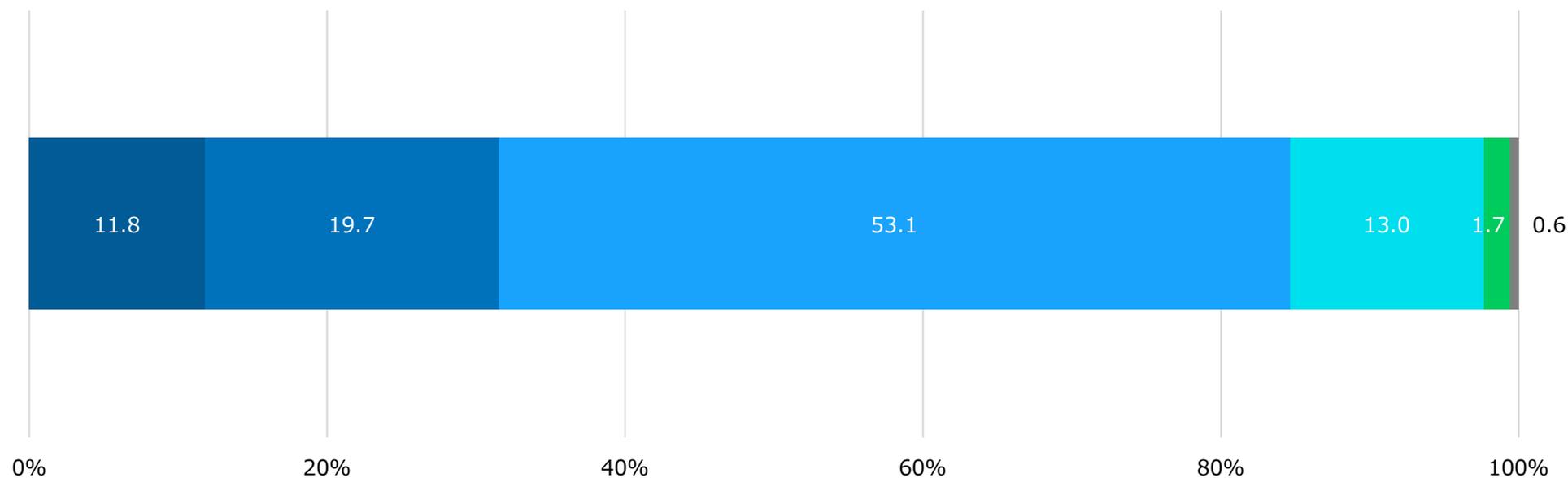
- 世帯の家族構成については、「2世代世帯（親と子）」が53.1%と半数を占め、「夫婦のみ（19.7%）」、「3世代世帯（親と子と孫）（13.0%）」の順に多い結果となった。

■ 家族構成

あなたの世帯の家族構成を教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 単身 ■ 夫婦のみ ■ 2世代世帯(親と子) ■ 3世代世帯(親と子と孫) ■ その他 ■ 無回答

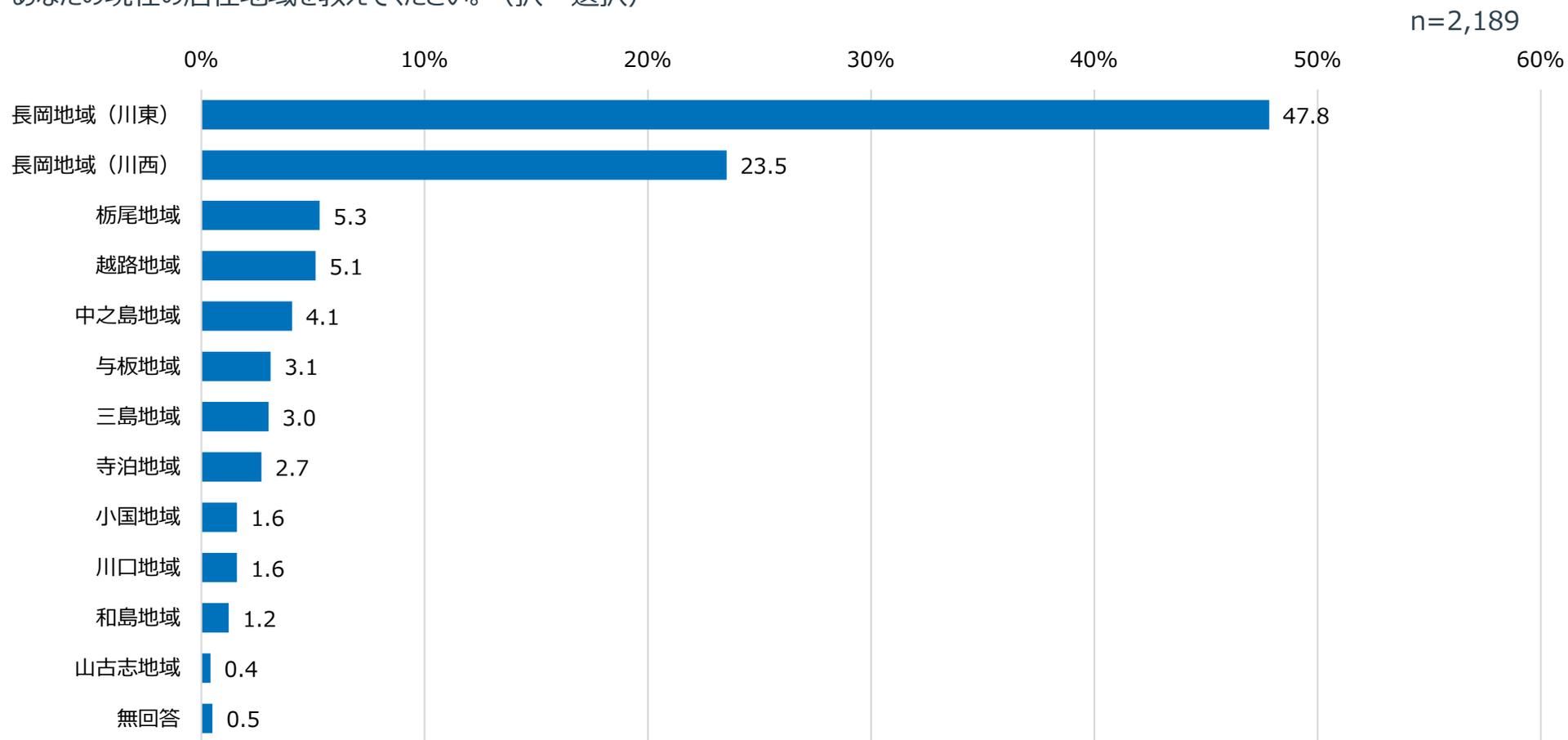


回答者の居住地域

- 現在の居住地域については、長岡地域が川東と川西の合計が71.3%と大半を占め、次いで「栃尾地域（5.3%）」、「越路地域（5.1%）」の順となった。11地域全ての居住者から回答を得ることができた。

■ 居住地域

あなたの現在の居住地域を教えてください。（択一選択）



回答者の合計在住年数

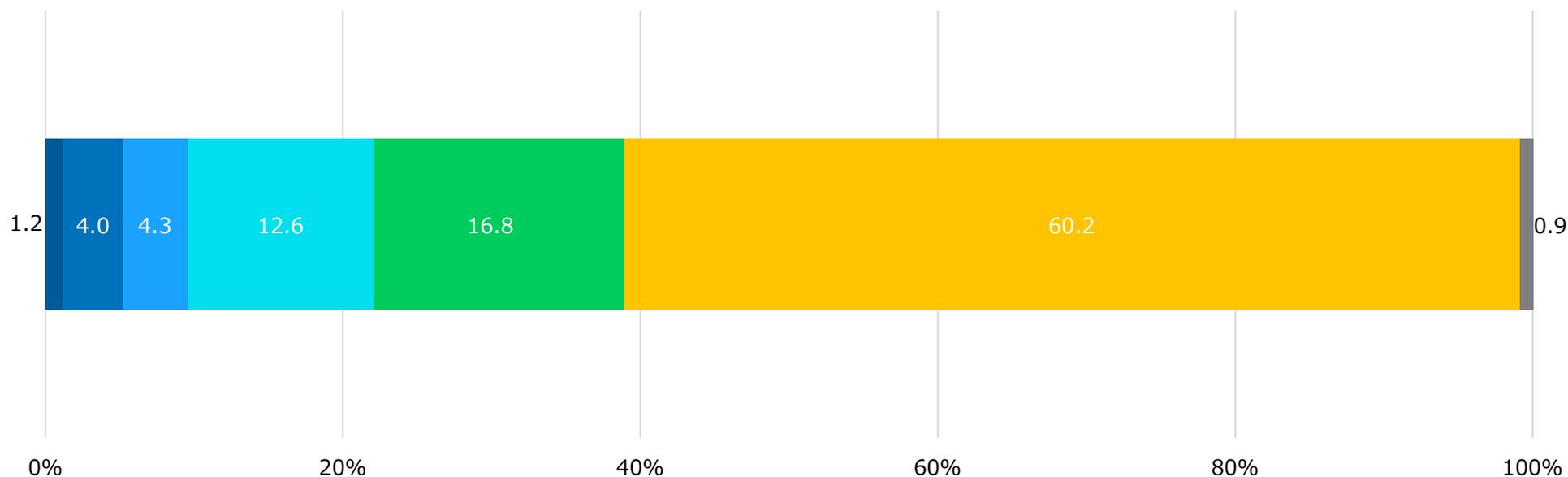
- 長岡市（合併前の旧市町村も含む）に住んでいる合計年数について質問した。
- その結果、「30年以上」が60.2%と最も多かった。

■ 合計在住年数

あなたが長岡市（合併前の旧市町村も含む）に住んでいる合計年数を教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 1年未満 ■ 1年以上5年未満 ■ 5年以上10年未満 ■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上30年未満 ■ 30年以上 ■ 無回答



回答者の出身地と市外への転居経験

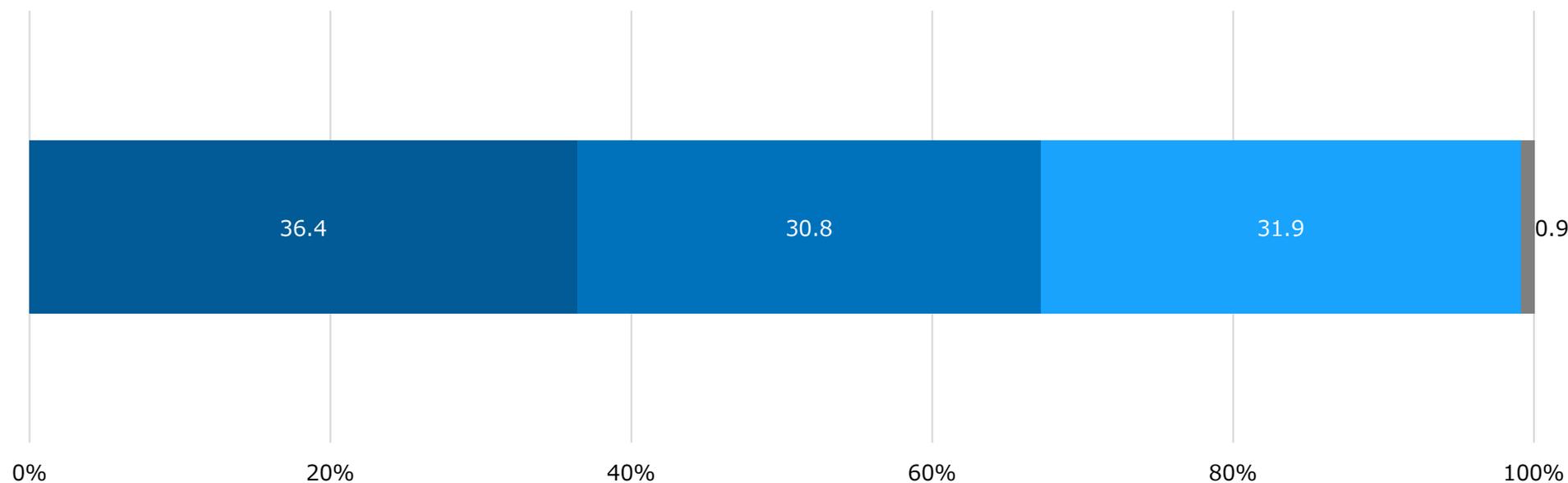
- 出身地とこれまでの市外への転居経験について質問した。
- 「長岡市内の出身で転出経験があるが、現在は戻ってきて市内在住（30.8%）」「長岡市外の出身で、現在は市内在住（31.9%）」の合計は62.7%と「長岡市内の出身で転出経験なし（36.4%）」の約2倍で、転入者が多い傾向にある。

■ 出身地と市外への転居経験

あなたの出身地とこれまでの市外への転居経験について教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 長岡市内の出身で転出経験なし ■ 長岡市内の出身で転出経験があるが、現在は戻ってきて市内在住 ■ 長岡市外の出身で、現在は市内在住 ■ 無回答

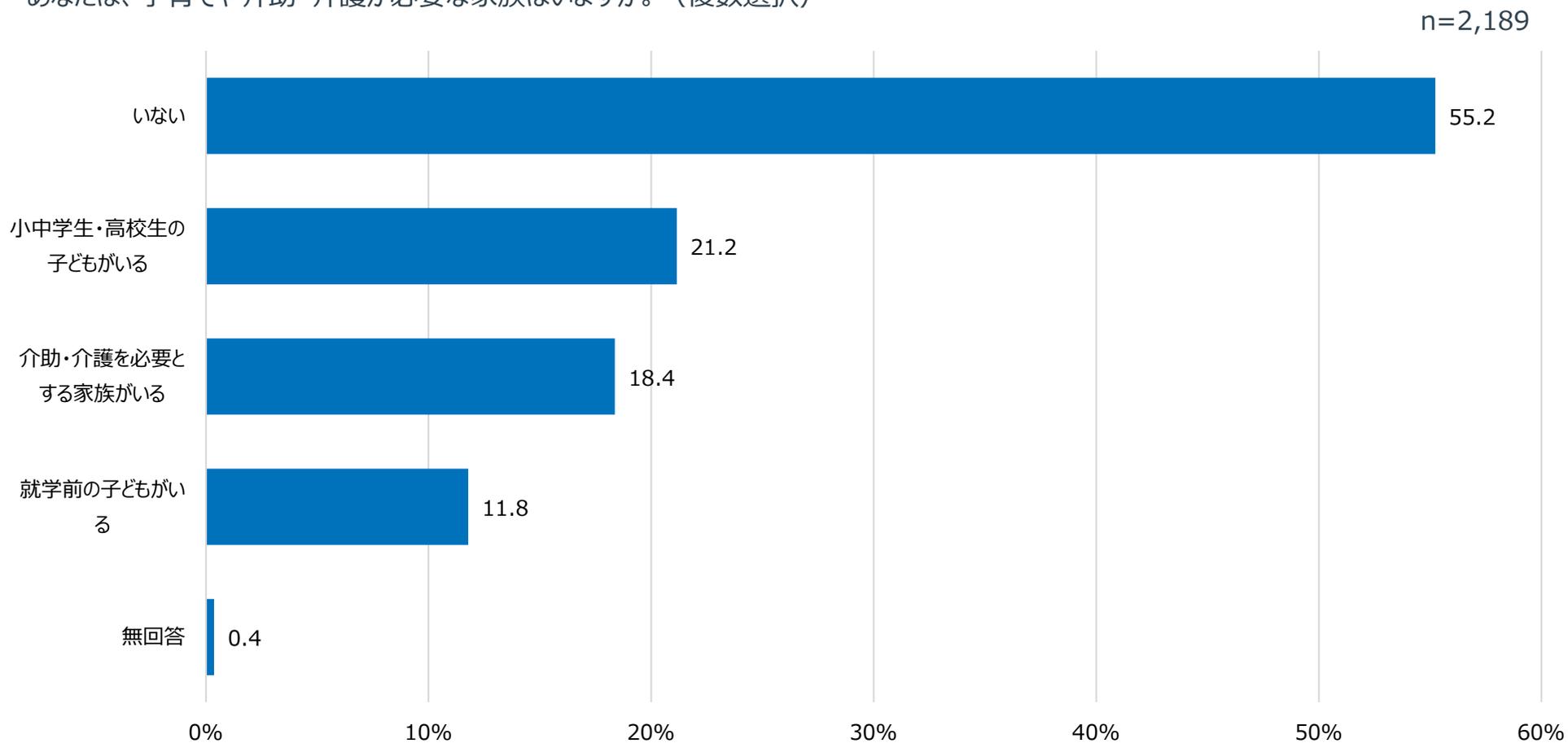


回答者の子育てや介助・介護が必要な家族の有無

- 子育てや介助・介護が必要な家族がいるか質問した。
- その結果、子育てや介助・介護が必要な家族がいる回答者といない回答者がほぼ同数であった。

■ 介助・介護が必要な家族の有無

あなたは、子育てや介助・介護が必要な家族はいますか。（複数選択）



回答者の婚姻状況

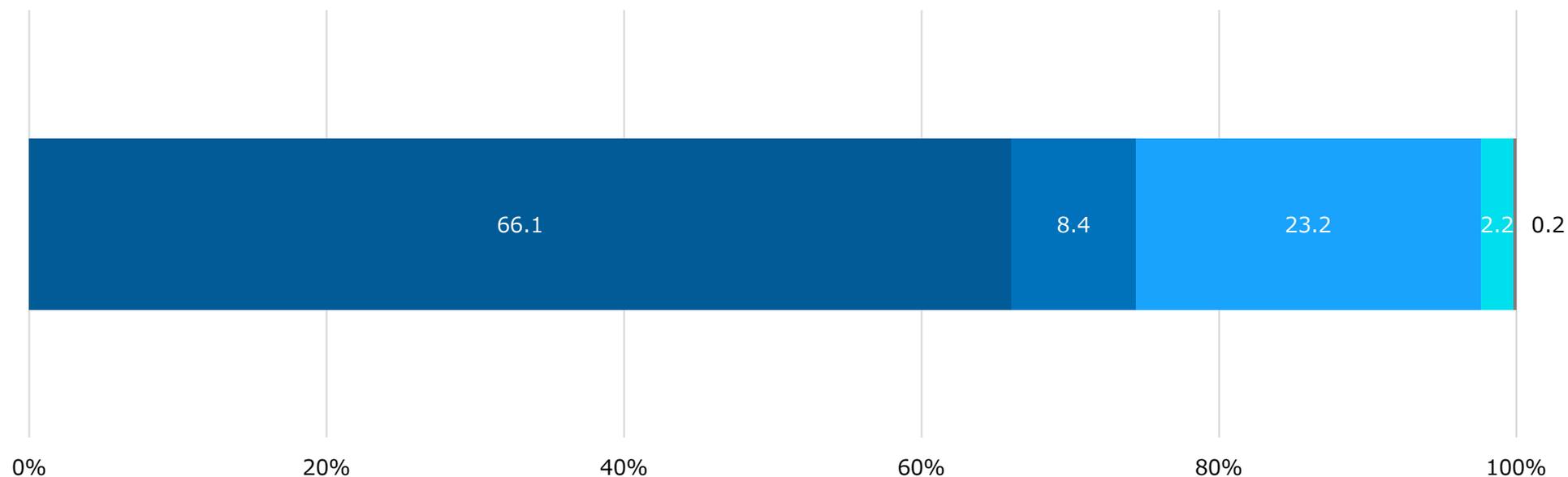
- 現在の婚姻状況について質問した。
- その結果、「結婚している（事実婚・パートナーシップを含む）」が66.1%と最も多く、次に「結婚したことがない（23.2%）」が多い結果となった。

■ 婚姻状況

あなたの現在の婚姻状況について教えてください。（択一選択）

n=2,189

■ 結婚している（事実婚・パートナーシップを含む） ■ 死別または離婚している ■ 結婚したことはない ■ 回答しない ■ 無回答



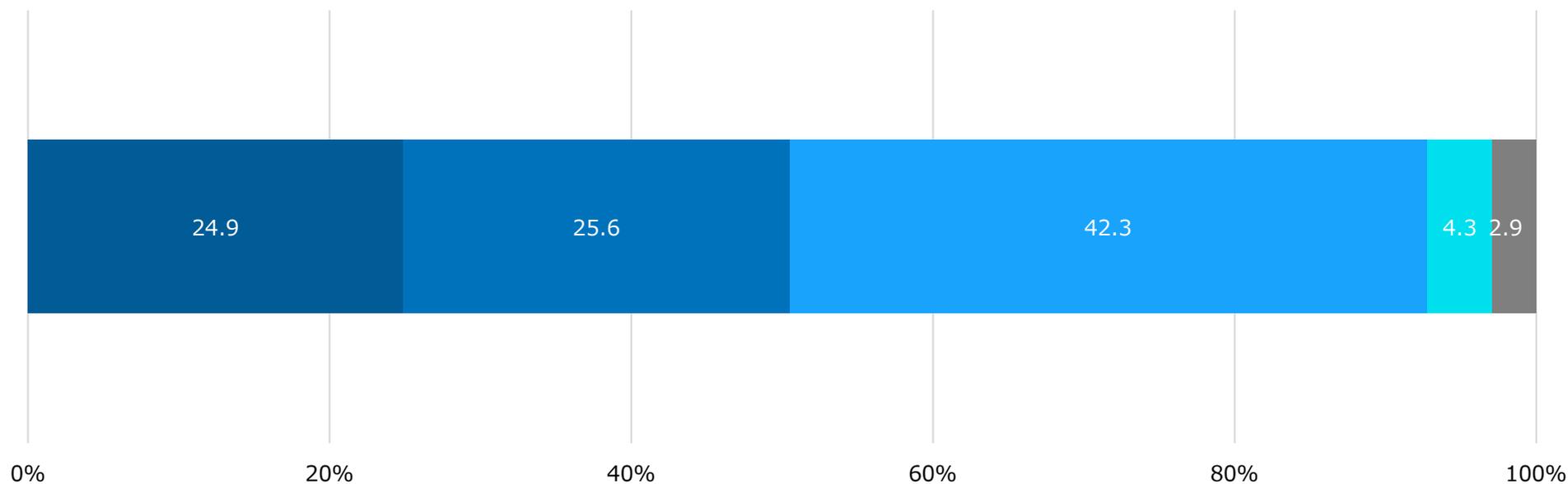
回答者の結婚に対する考え

- 結婚状況について「死別または離婚している」か「結婚したことがない」と回答した方に対し、結婚に対する考えを質問した。
- 「わからない（42.3%）」が最も多く、次いで「結婚するつもりがない（25.6%）」、「いずれ結婚するつもり（24.9%）」の順に多い結果となった。

■ 結婚に対する考え

「死別または離婚している」か「結婚したことがない」を選択された方にお伺いします。あなたの結婚に対する考えを教えてください。（択一選択）
n=691

■ いずれ結婚するつもり ■ 結婚するつもりはない ■ わからない ■ 回答しない ■ 無回答



回答者の希望する（していた）子どもの人数

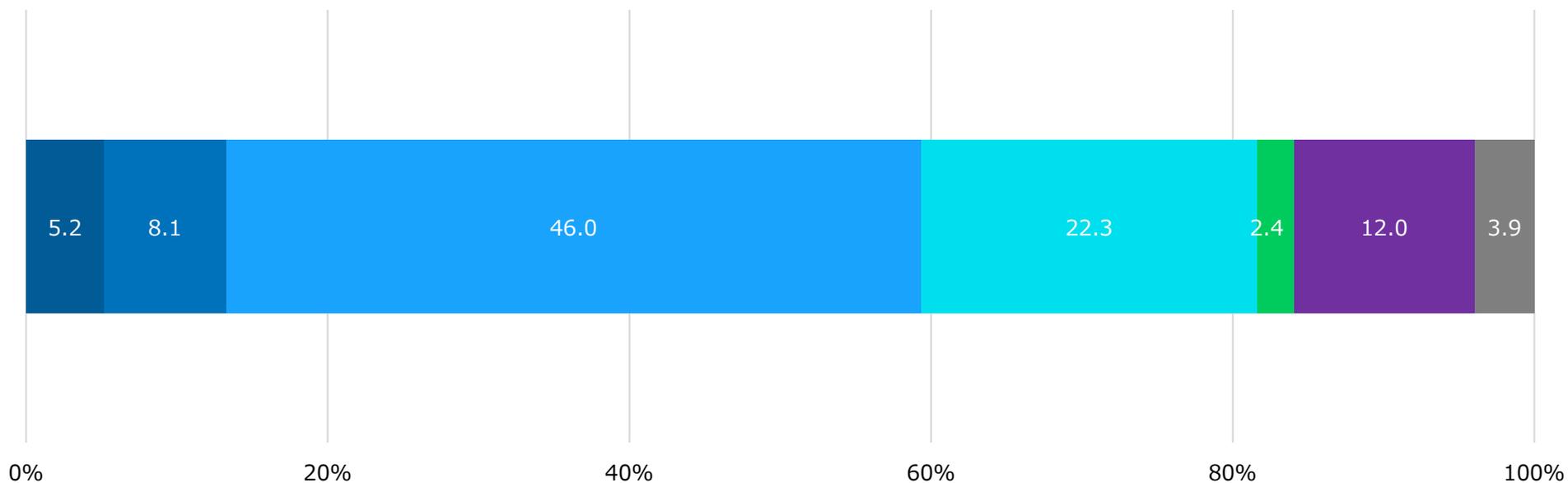
- 希望する（していた）子どもの人数について質問した。
- その結果、「2人」が46.0%と最も多く、次いで「3人（22.3%）」「1人（8.1%）」の順に多い結果となった。

■希望する（していた）子どもの人数

あなたが、希望する（していた）子どもの人数について教えてください。（択一選択）

n=2,189

■0人 ■1人 ■2人 ■3人 ■4人以上 ■回答しない ■無回答



2

幸福度関連

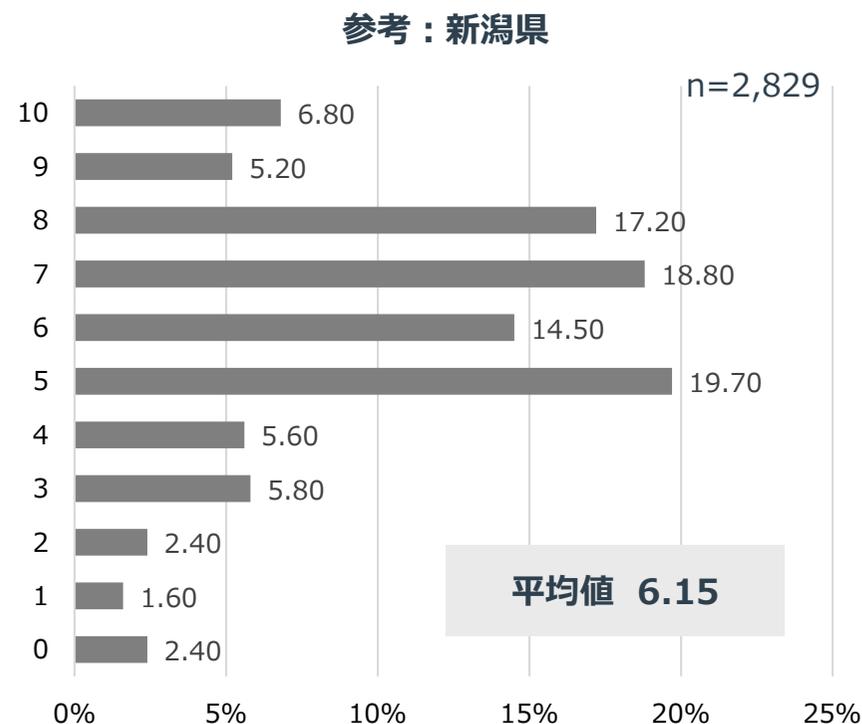
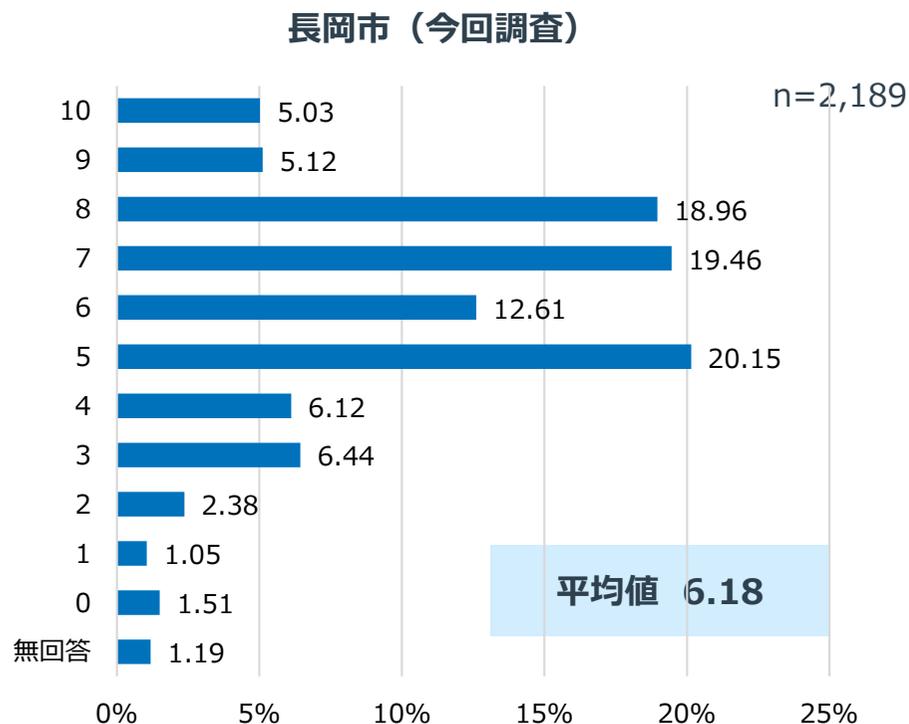
生活満足度

- 現在住んでいる地域における暮らしへの満足度を「とても満足」10点～「とても不満足」0点の11段階※で確認した。
- その結果、長岡市の生活満足度の平均値は6.18であった。なお、新潟県全体の平均値は6.15（2024年度調査時点）であり、比較すると0.03pt高かった。

※デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標における設問項目を採用している。

■ 生活満足度に関する長岡市と新潟県の比較

あなたは、現在住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とした場合の点数を1つだけお答えください。（択一選択）



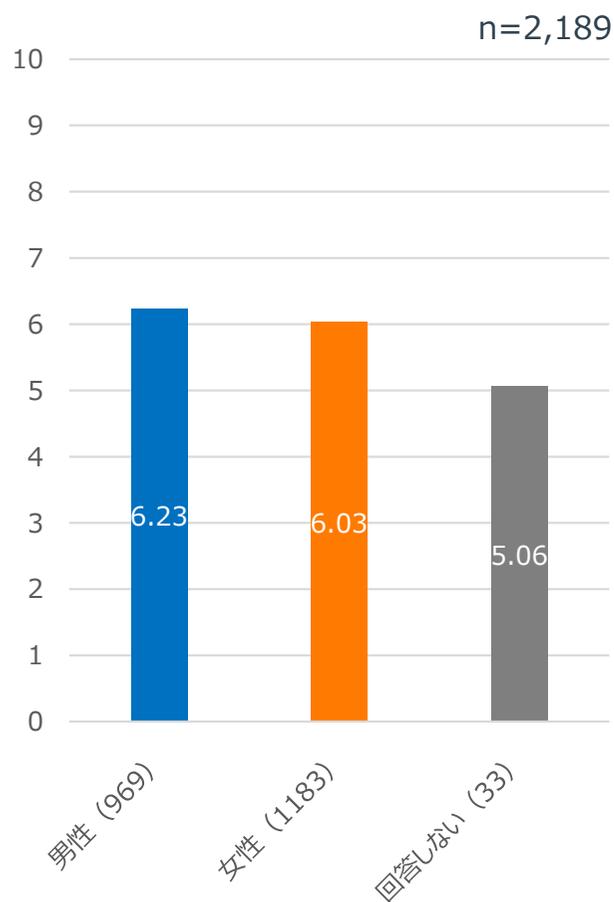
【出典】2024年度版（令和6年度版）Well-Being全国調査

生活満足度（性・年代別）

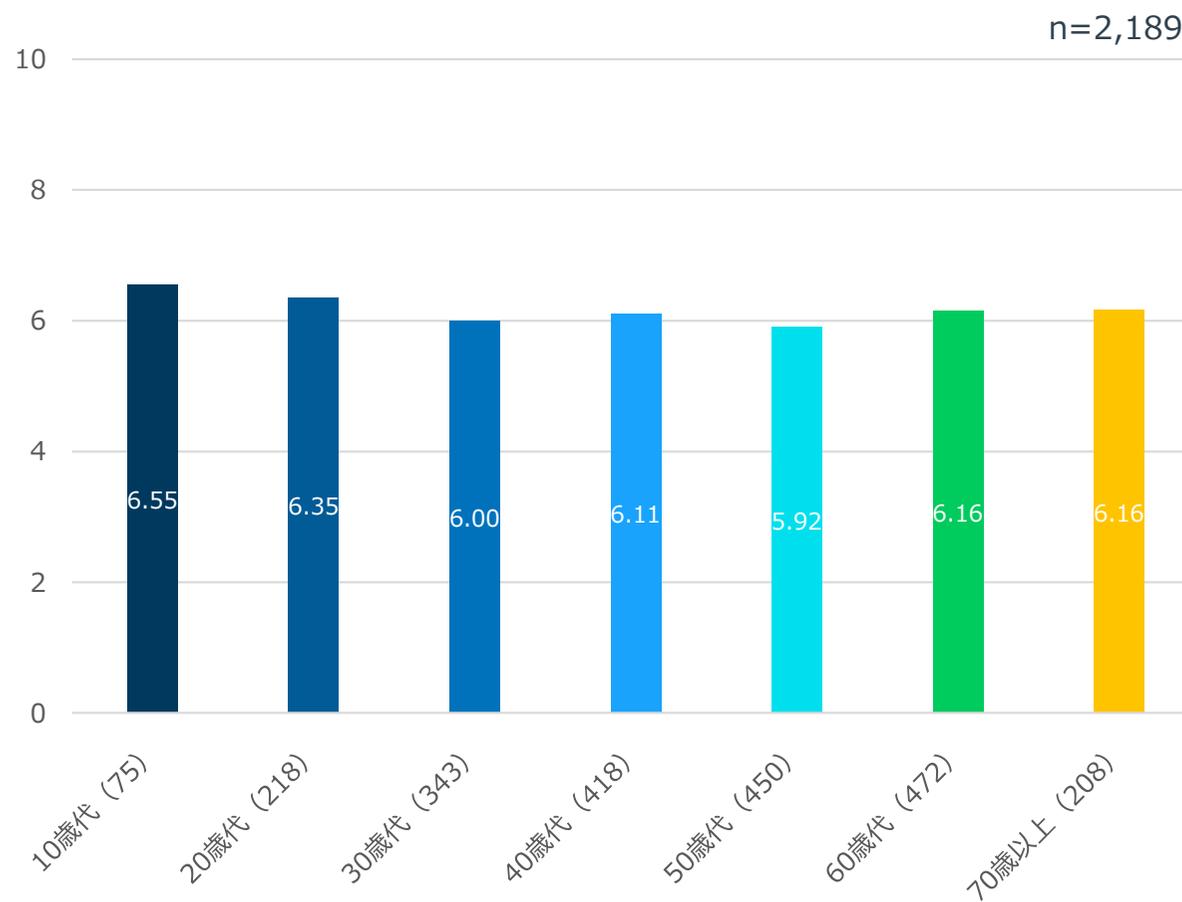
- 性別ごとの生活満足度について、男性平均は6.23であり、女性平均6.03に比べ、やや高い傾向であった。
- 10歳代の生活満足度（6.55）は他の年代と比較し最も高く、次点で20歳代の生活満足度（6.35）が高いことが分かった。一方で、50歳代（5.92）は最も低くなっていることが分かった。

■ 性別、年代ごとの生活満足度平均値

性別ごとの生活満足度平均値



年代ごとの生活満足度平均値



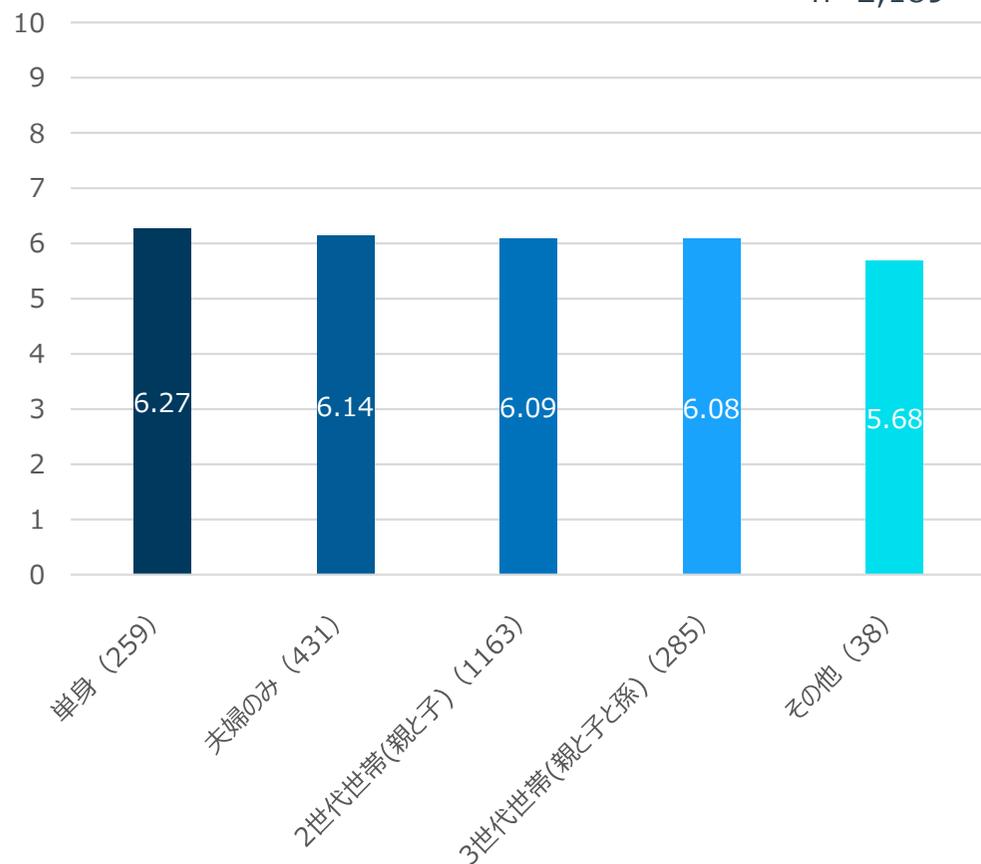
生活満足度（家族構成別、子育てや介護が必要な家族の有無別）

- 家族構成別の生活満足度では、単身（6.27）が最も高く、3世代世帯（親と子と孫）（6.08）が最も低かった。
- 子育てや介護が必要な家族の有無別では、介護が必要な家族がいる場合（5.81）が最も低く、就学前の子どもがいる家庭（6.27）は比較的高いことが分かった。

■ 家族構成、子育てや介護が必要な家族の有無ごとの生活満足度平均値

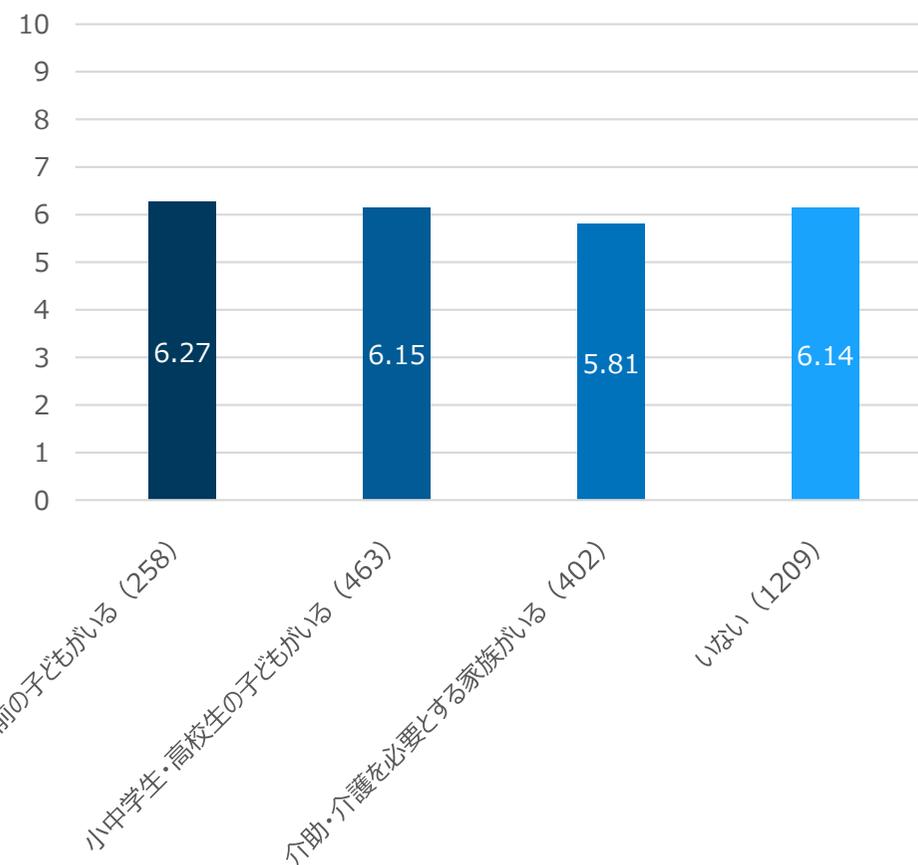
家族構成別の生活満足度平均値

n=2,189



子育てや介護が必要な家族の有無ごとの生活満足度平均値

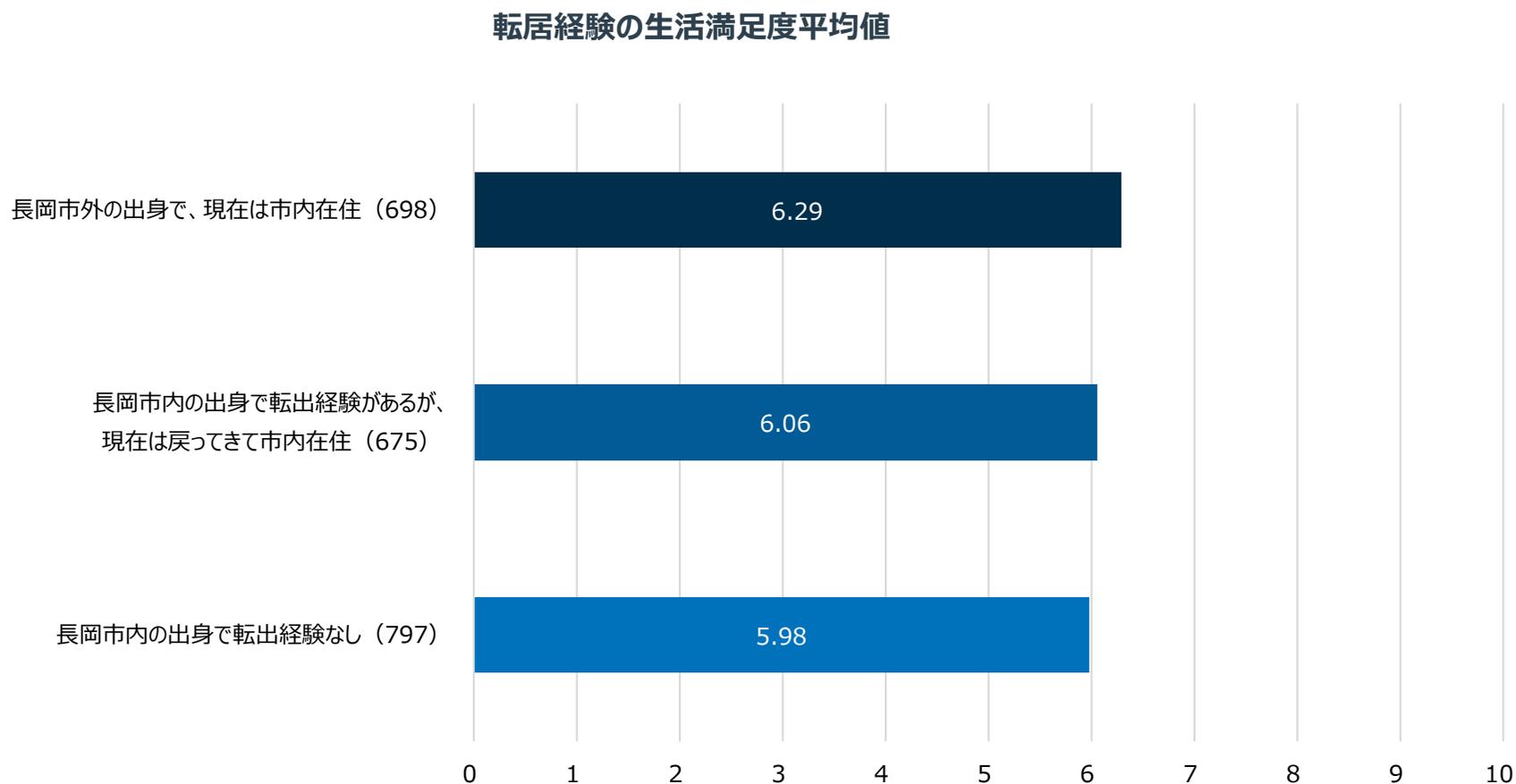
n=2,189



生活満足度（転居経験別）

- 市外出身で、現在市内在住の住民（6.29）が最も高い満足度を示していることが分かった。一方で、市内出身で転出経験がある住民（6.06）と転出経験がない住民（5.98）の数値に大きな差は見られなかった。

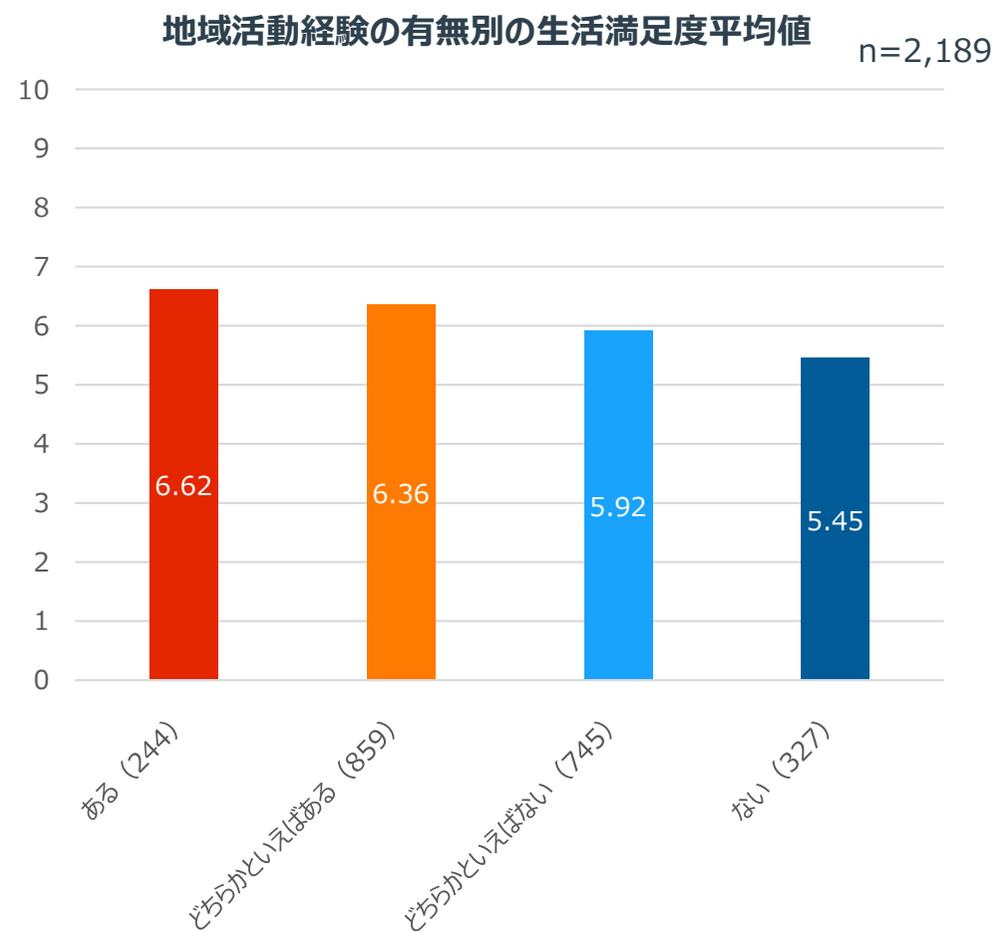
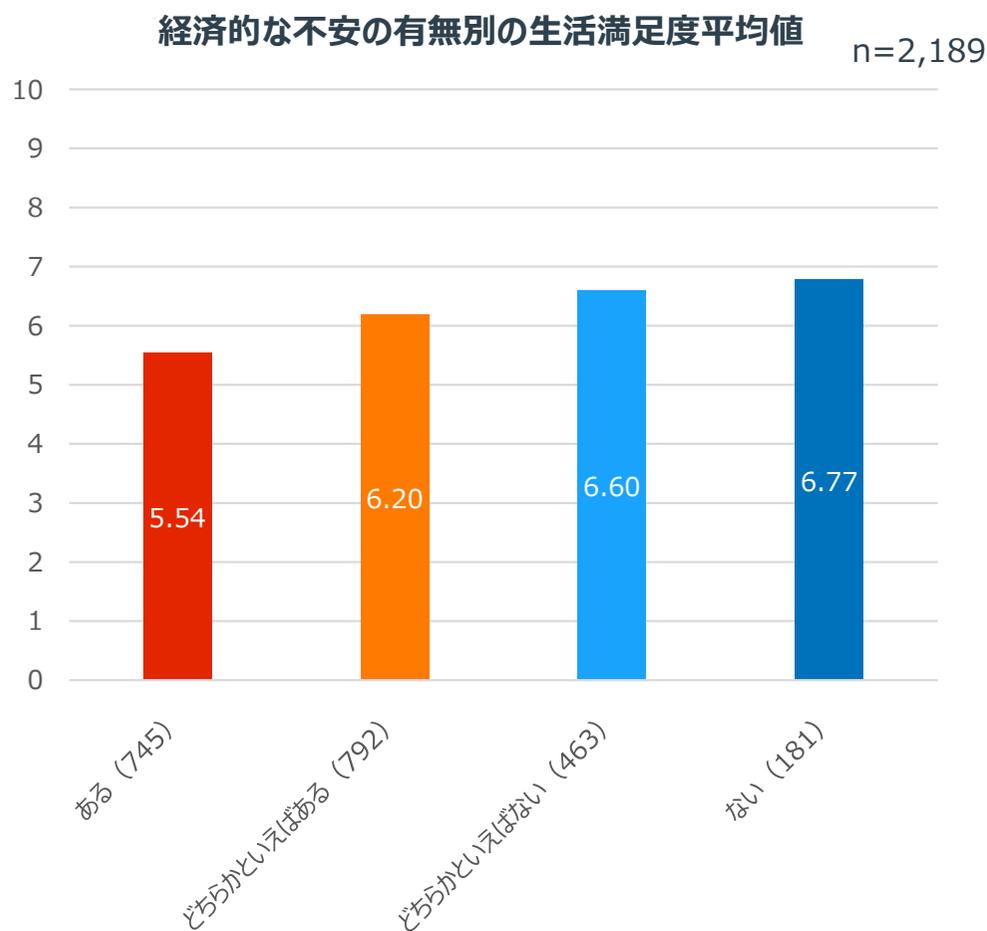
■ 転居経験別の生活満足度平均値



生活満足度（経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別）

- 経済的な不安が「ない」層（6.77）から「ある」層（5.54）では1.23ptの差があり、経済的な不安の有無と生活満足度との間に関係があることがうかがえる。
- また、地域活動経験が「ある」層（6.62）と「ない」層（5.45）においても1.17ptの差があり、地域活動への参画有無と生活満足度との間に関係があることがうかがえる。

■ 経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別の生活満足度平均値



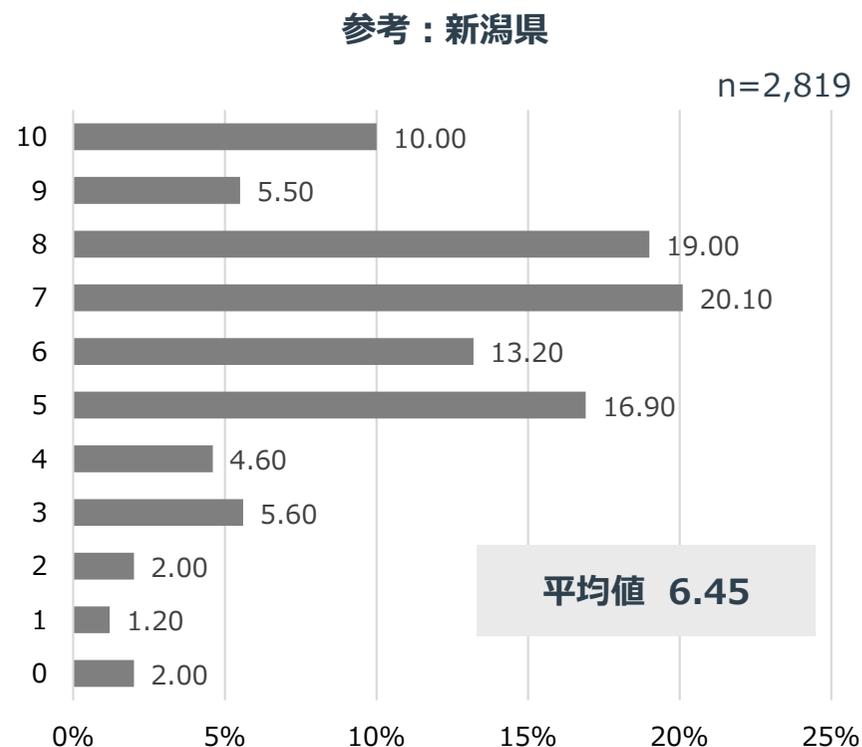
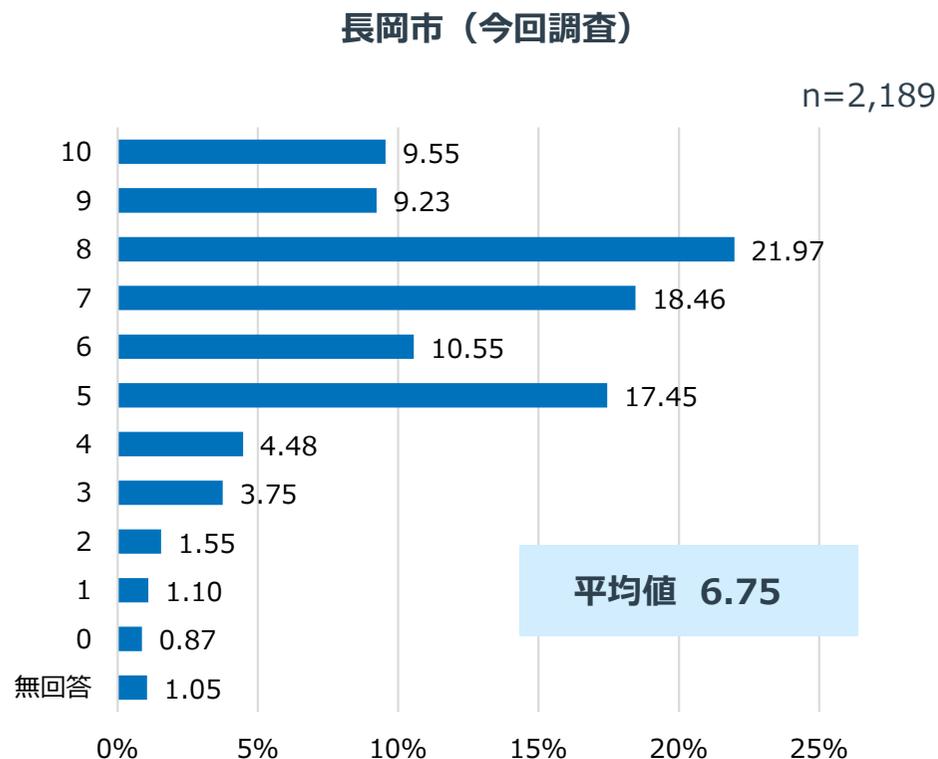
幸福度

- 現在の幸福度を「とても幸せ」10点～「とても不幸」0点の11段階[※]で確認した。
- その結果、長岡市の幸福度の平均値は6.75あった。なお、新潟県全体の平均値は6.45（2024年度調査時点）であり、比較すると0.30pt高かった。

※デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標における設問項目を採用している。

■ 幸福度に関する長岡市と新潟県の比較

あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合の点数を1つだけお答えください。（択一選択）

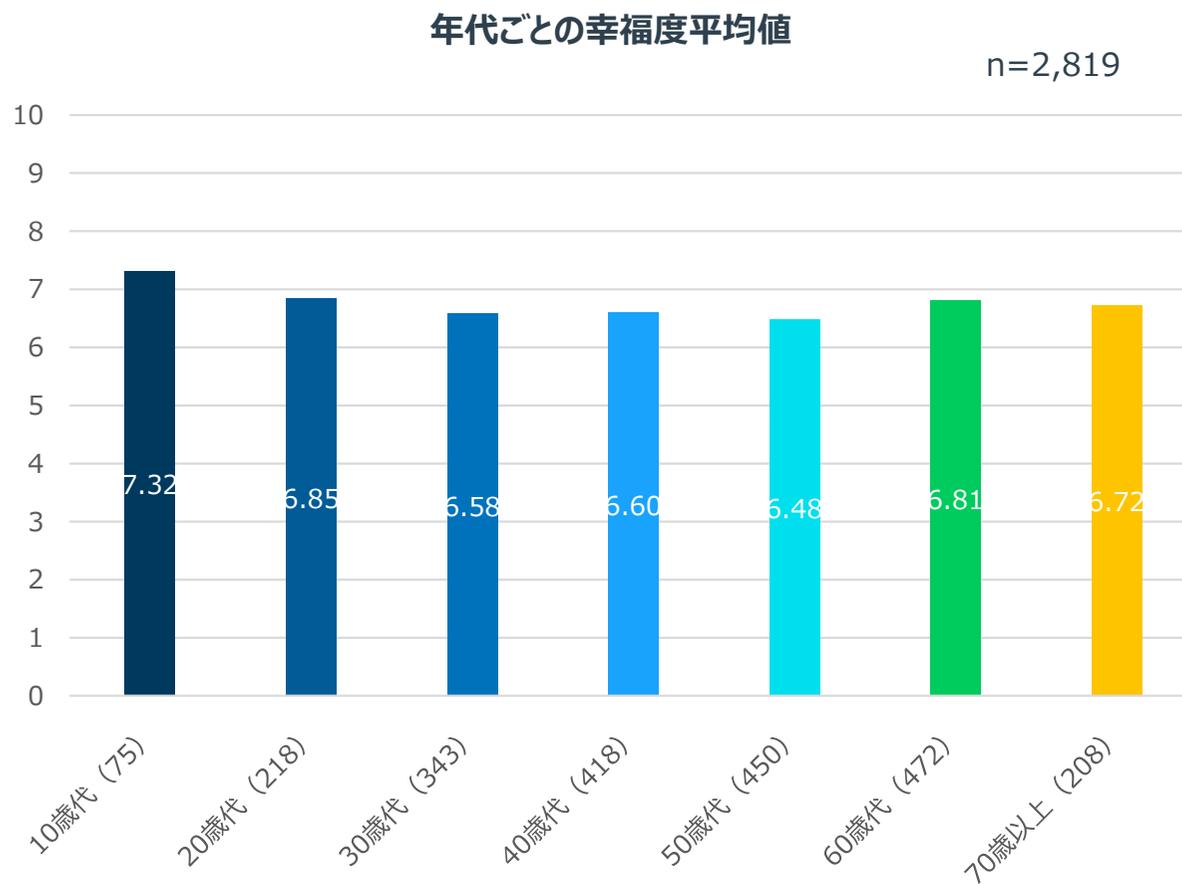
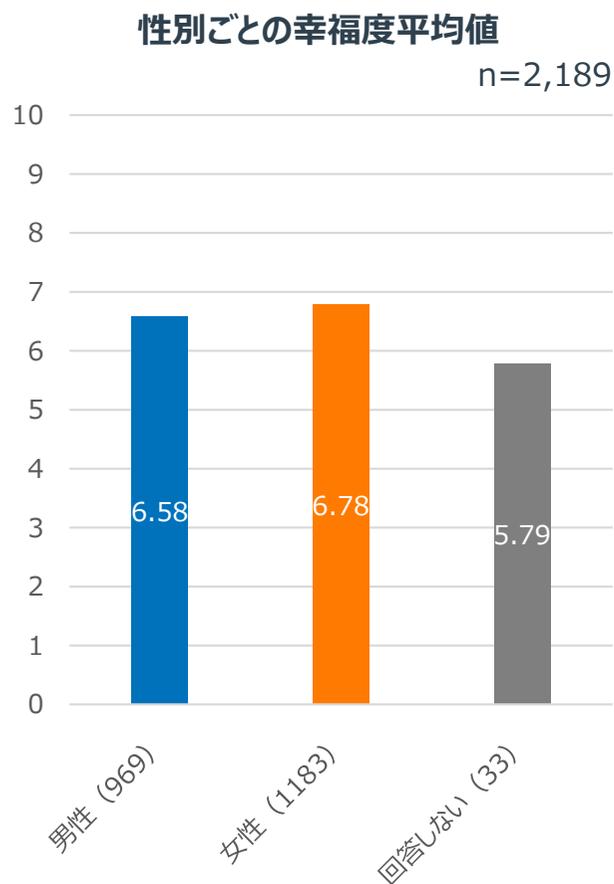


【出典】2024年度版（令和6年度版）Well-Being全国調査

幸福度（性・年代別）

- 性別ごとの幸福度において、女性（6.78）が男性（6.58）をわずかに上回っている。
- 年齢別では10歳代（7.32）がやや高く、50歳代（6.48）がやや低くなっていることが分かった。

■ 性別、年代ごとの幸福度平均値

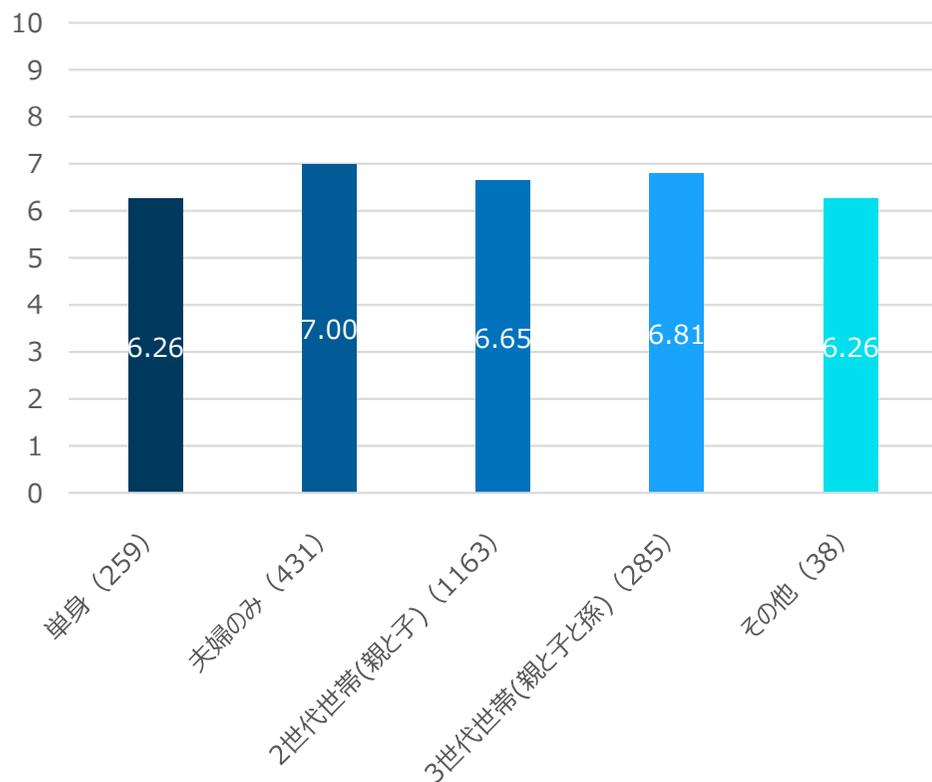


幸福度（家族構成別、子育てや介護が必要な家族の有無別）

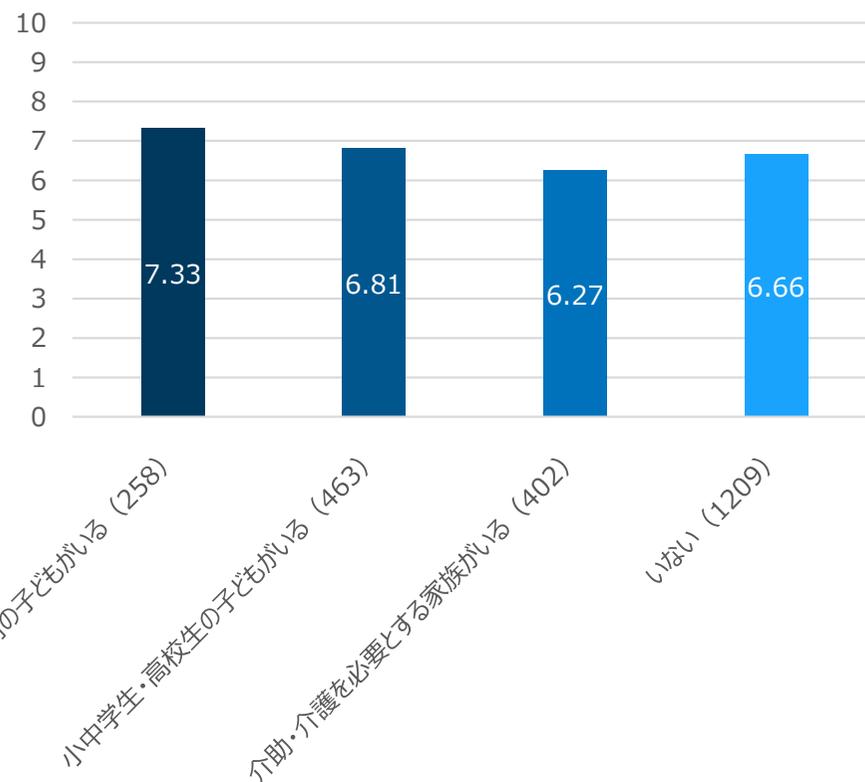
- 家族構成別においては、「夫婦のみ」（7.00）が最も高く、次いで「3世代家族」（6.81）や「2世代家族」（6.65）が続いており、「単身」（6.26）が最も低くなっている。
- 子育てや介護が必要な家族の有無別においては、就学前の子どもがいる世帯（7.33）が最も高く、介護を必要とする家族がいる世帯（6.27）が最も低くなっている。

■ 家族構成、子育てや介護が必要な家族の有無ごとの幸福度平均値

家族構成ごとの幸福度平均値



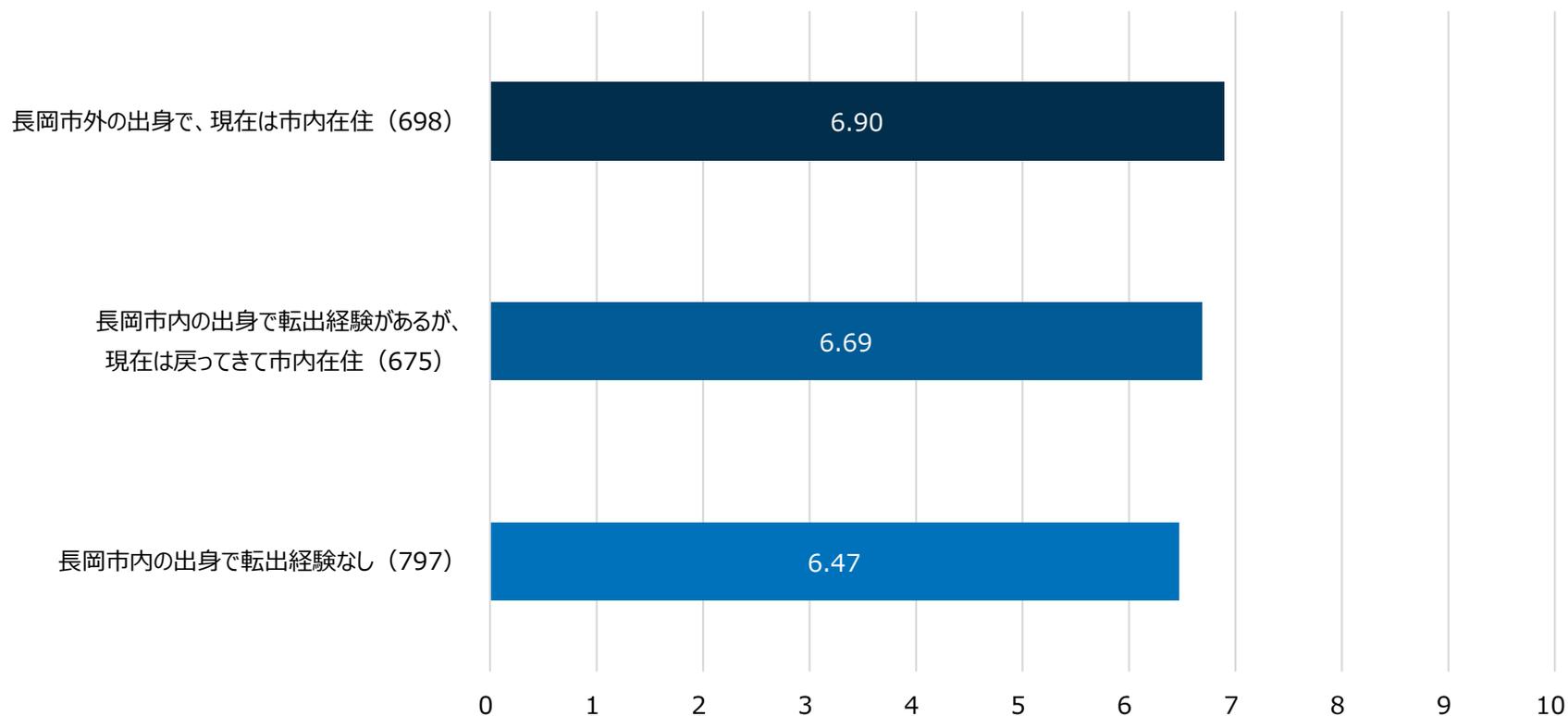
子育てや介護が必要な家族の有無ごとの幸福度平均値



幸福度（転居経験別）

- 長岡市外出身で市内に在住している層（6.90）が最も高い一方で、長岡市内出身で転出経験がない層（6.47）が最も低いことが分かった。

■ 転居経験別の幸福度平均値

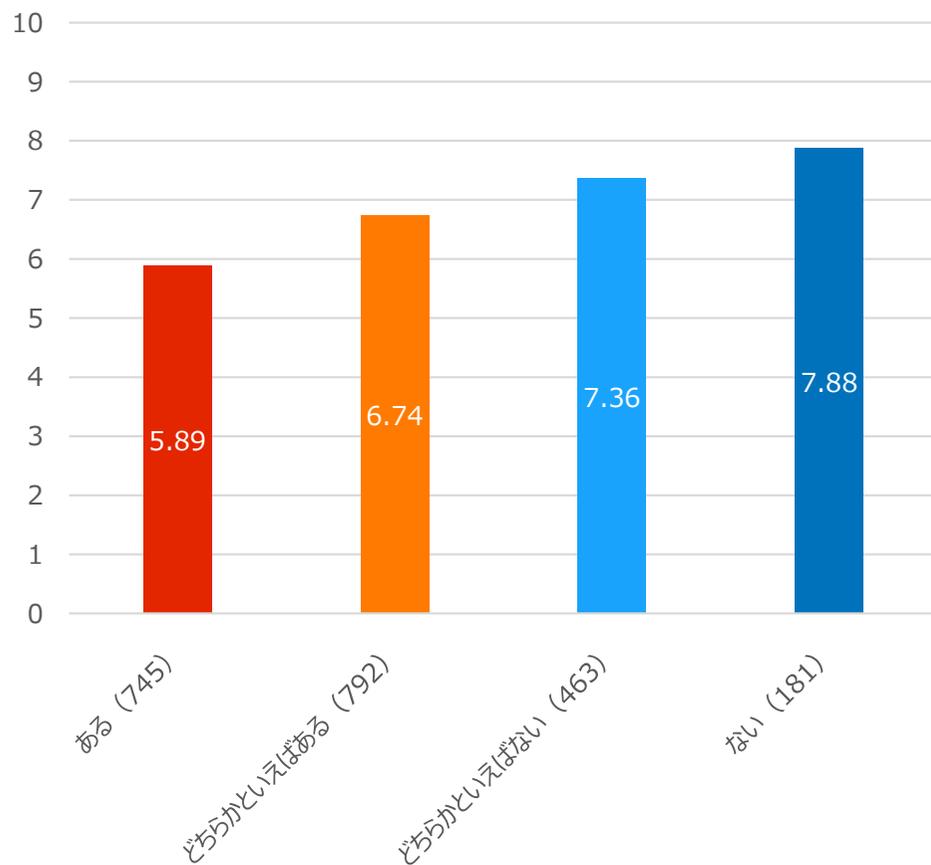


幸福度（経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別）

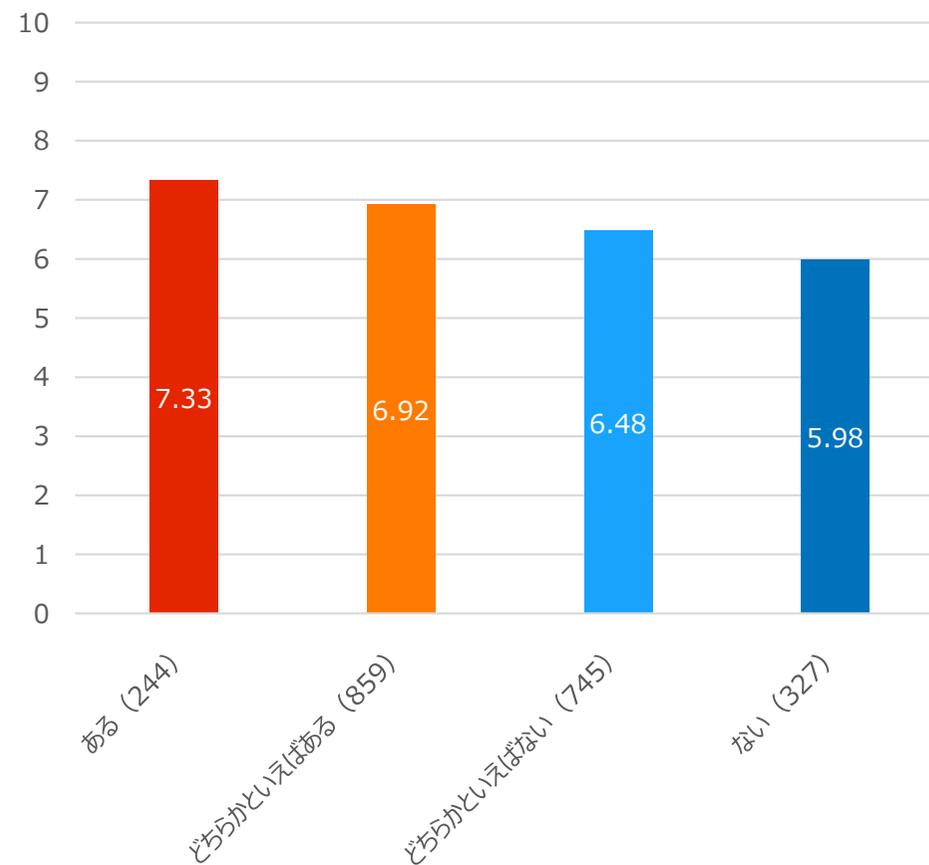
- 経済的な不安が「ない」層（7.88）と「ある」層（5.89）では1.99ptの差があり、経済的な不安の有無と幸福度との間に関係があることがうかがえる。
- また、地域活動経験が「ある」層（7.33）と「ない」層（5.98）においても1.35ptの差があり、地域への参画有無と幸福度との間に関係があることがうかがえる。

■ 経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別の幸福度平均値

経済的な不安の有無別の幸福度平均値



地域活動経験の有無別の幸福度平均値



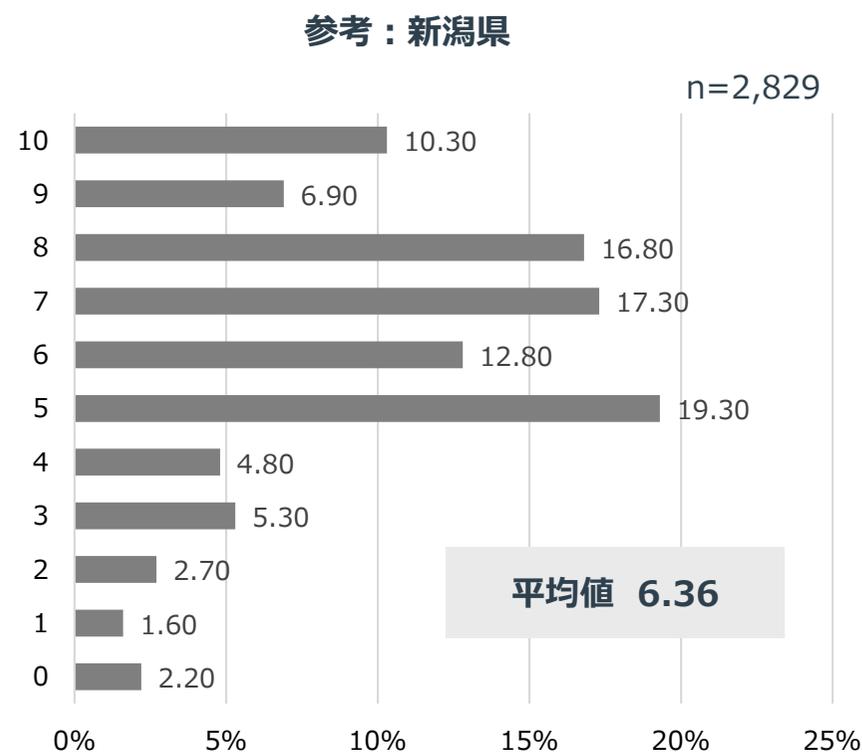
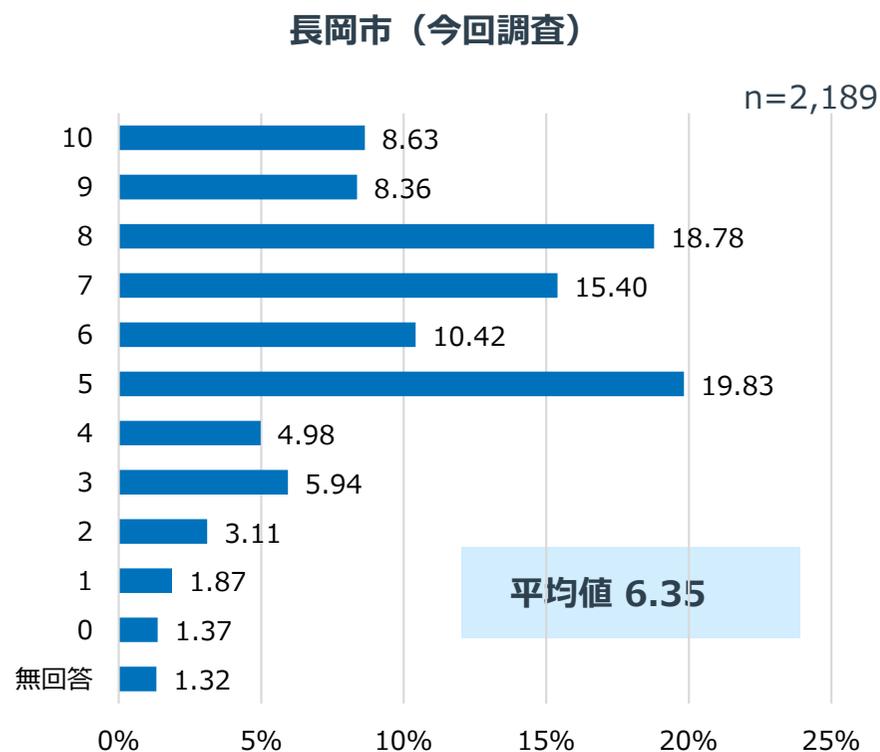
5年後の幸福度

- 今から5年後の幸福度を「とても幸せ」10点～「とても不幸」0点の11段階[※]で確認した。
- その結果、長岡市の5年後の幸福度の平均値は6.35であった。なお、新潟県全体の平均値は6.36（2024年度調査時点）であり、比較すると0.01pt低かった。

※デジタル庁が開発した地域幸福度（Well-Being）指標における設問項目を採用している。

■ 5年後の幸福度に関する長岡市と新潟県の比較

今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合の点数を1つだけお答えください。



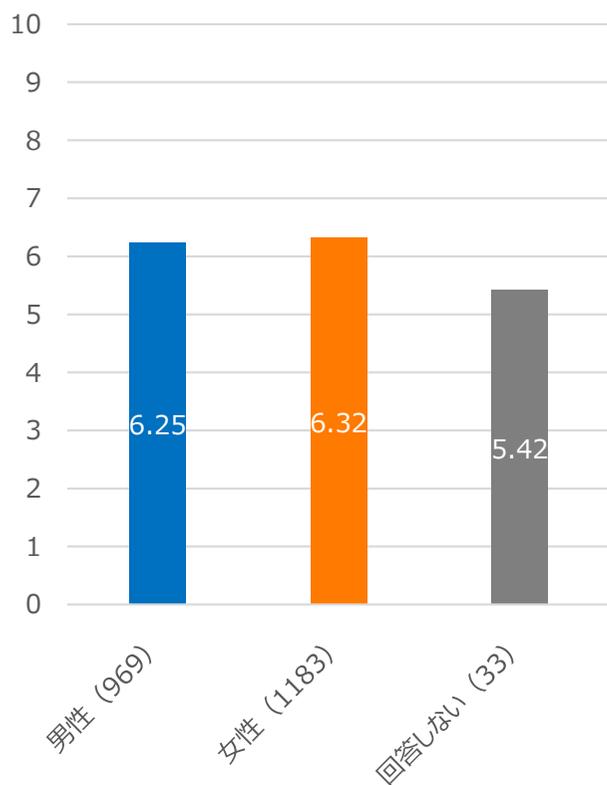
【出典】2024年度版（令和6年度版）Well-Being全国調査

5年後の幸福度（性・年代別）

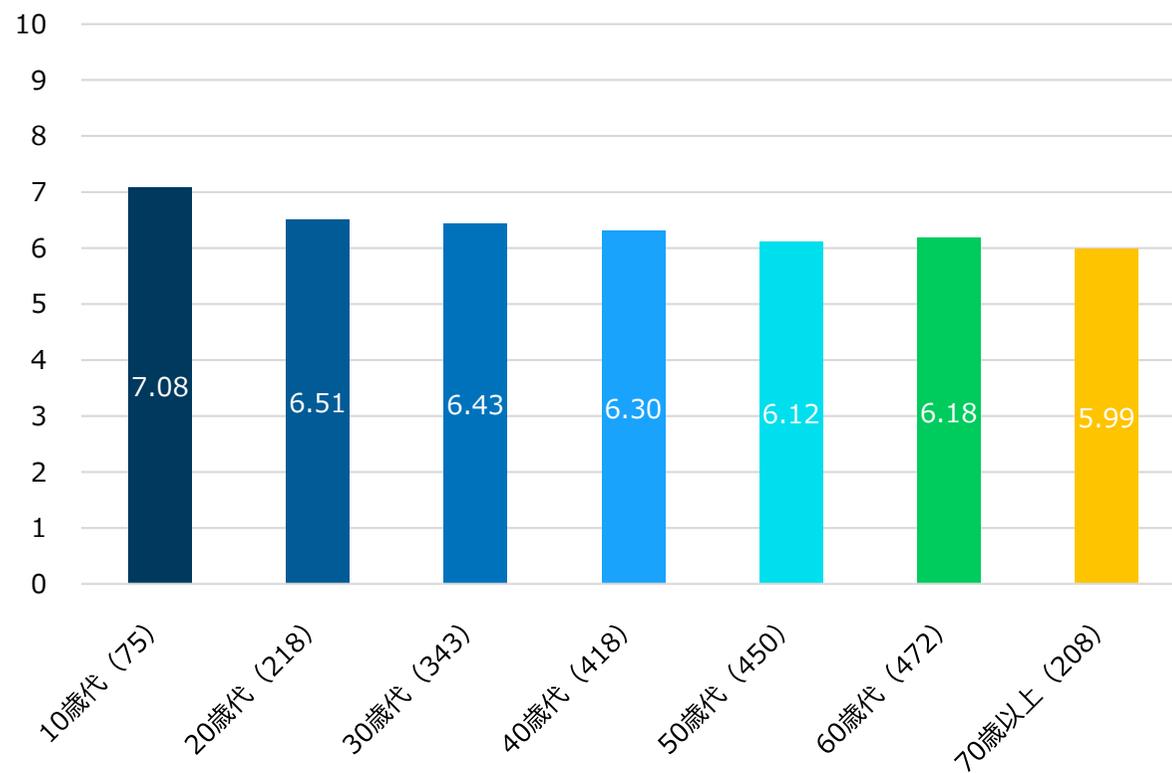
- 性別ごとの5年後の幸福度について、女性（6.32）が男性（6.25）よりやや高くなっている。
- 10歳代の5年後の幸福度（7.08）は他の年代と比較し最も高く、次点で20歳代（6.51）が高いことが分かった。一方で、70歳代以上（5.99）は最も低くなっていることが分かった。

■ 性別、年代ごとの5年後の幸福度平均値

性別ごとの5年後の幸福度平均値



年代ごとの5年後の幸福度平均値

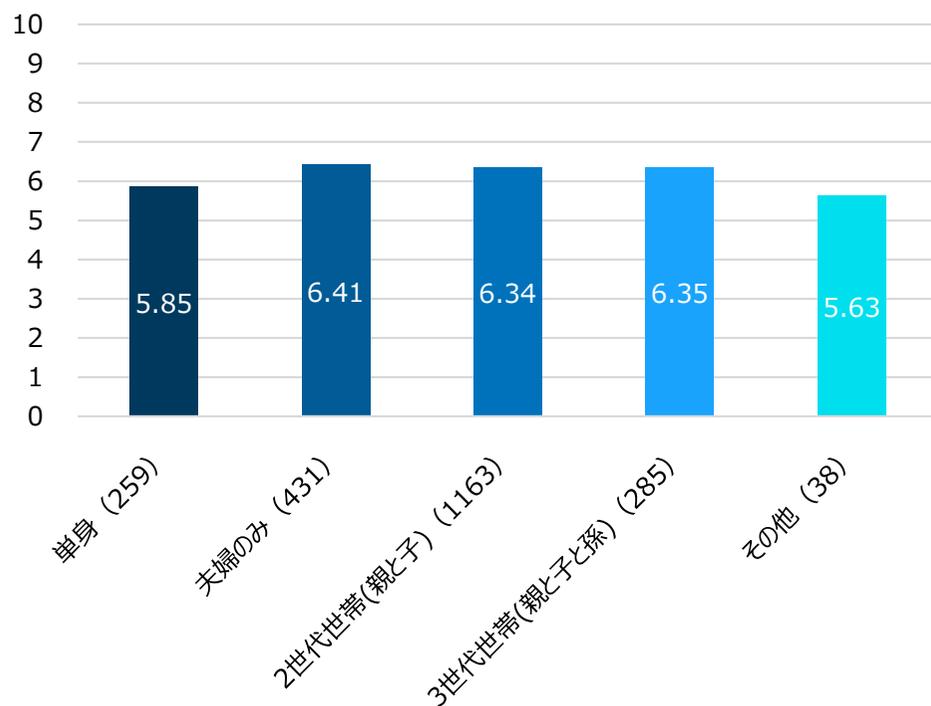


5年後の幸福度（家族構成別、子育てや介護が必要な家族の有無別）

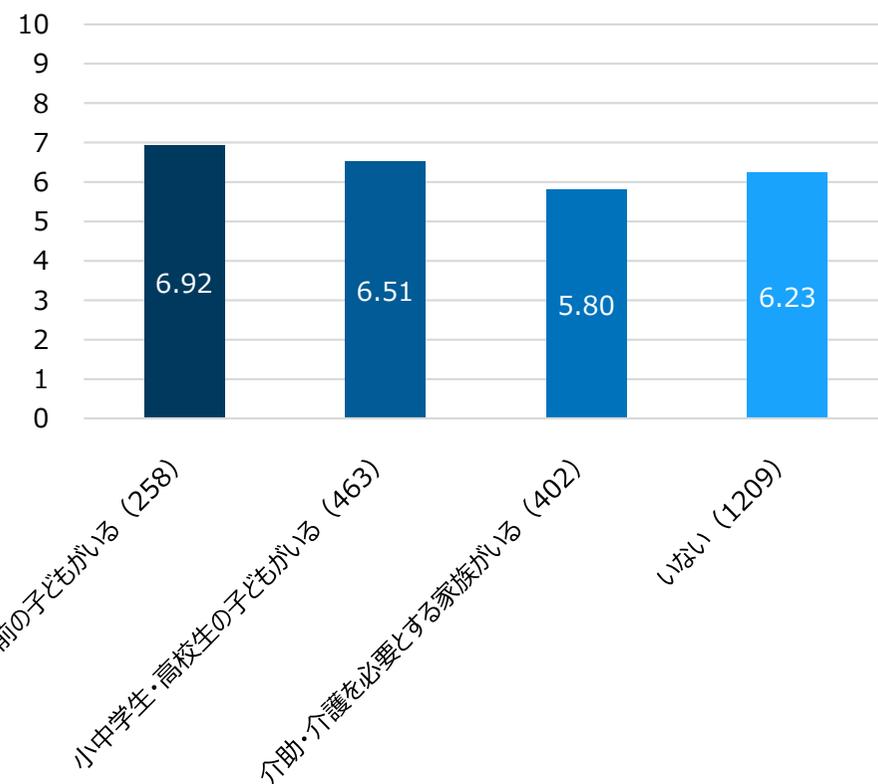
- 家族構成別では「夫婦のみ」（6.41）が最も高く、「その他」を除くと「単身」（5.85）が最も低くなっている。
- 子育てや介護が必要な家族の有無別においては、就学前の子どもがいる世帯（6.92）が最も高く、介護を必要とする家族がいる世帯（5.80）が最も低くなっている。

■ 家族構成、子育てや介護が必要な家族の有無ごとの5年後の幸福度平均値

家族構成ごとの5年後の幸福度平均値



子育てや介護が必要な家族の有無ごとの5年後の幸福度平均値

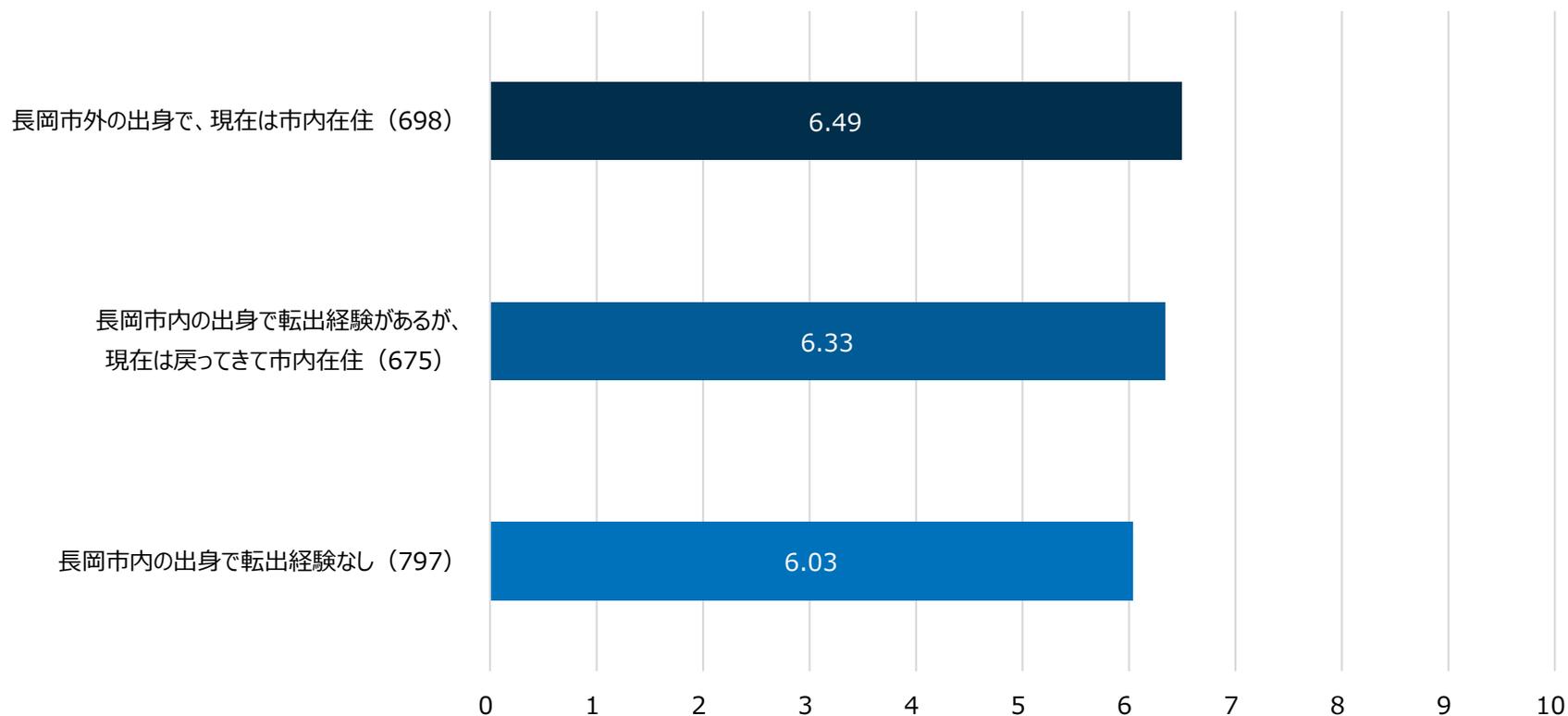


5年後の幸福度（転居経験別）

- 長岡市外出身で市内に在住している層（6.49）が最も高い一方で、長岡市内出身で転出経験がない層（6.03）は最も低いことが分かった。

■ 転居経験別の5年後の幸福度平均値

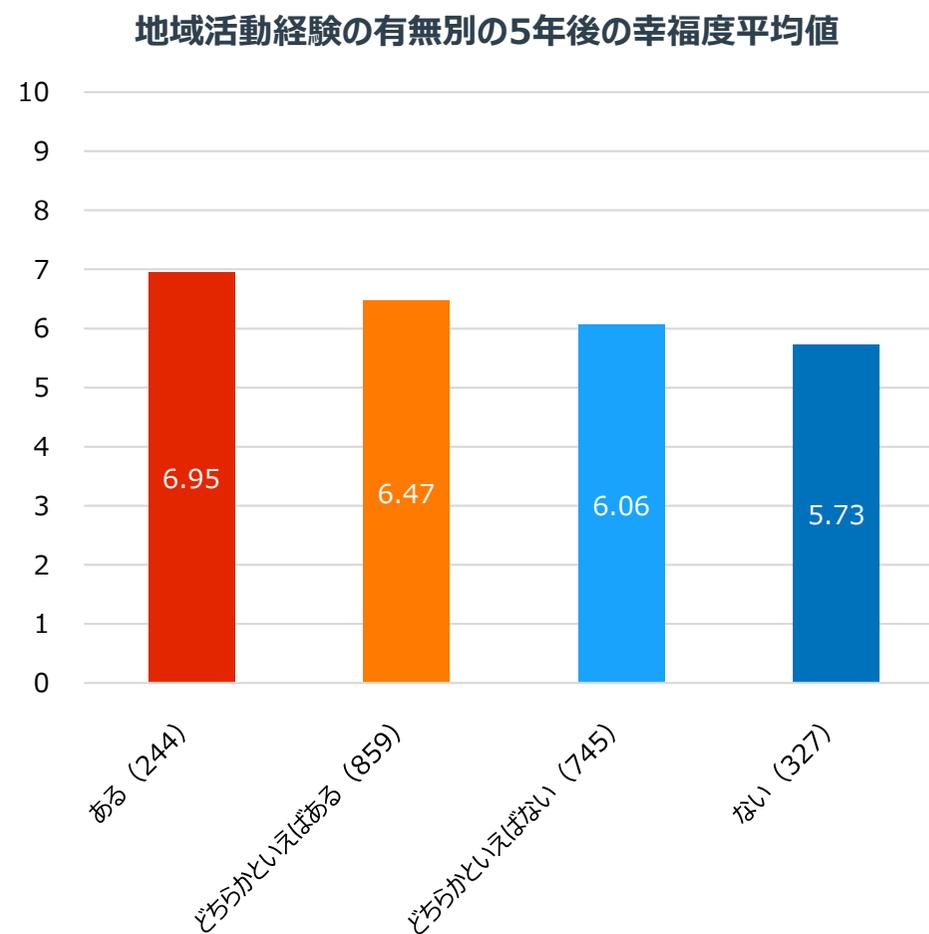
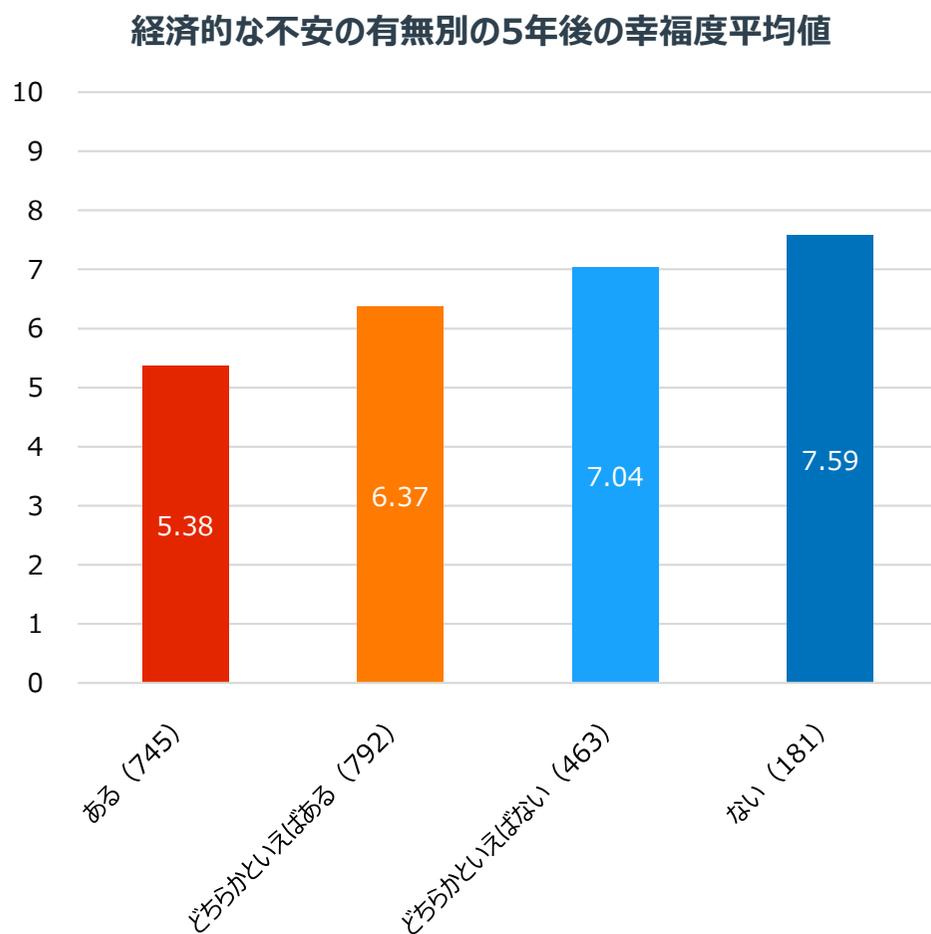
転居経験別の5年後の幸福度平均値



5年後の幸福度（経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別）

- 経済的な不安が「ない」層（7.59）と「ある」層（5.38）では2.21ptの差があり、経済的な不安の有無と将来の幸福度との間に関係があることがうかがえる。
- 地域活動経験が「ある」層（6.95）と「ない」層（5.73）においても1.22ptの差があり、地域への参画有無と将来の幸福度との間に関係があることがうかがえる。

■ 経済的な不安の有無別、地域活動経験の有無別の5年後の幸福度平均値



5年後の幸福度が下がると回答した理由

- 現在の幸福度よりも5年後の幸福度の点数が低い方に対し、その理由を確認した。
- その結果、5年後の幸福度が低い理由については、いずれの年代にも共通して物価上昇に伴う経済的不安が多く見られた。年代別では、10歳代では就職後の生活に関する不安や、20歳代では仕事による負担、30、40歳代では子育てに関する精神的・経済的負担、40～50歳代では親の介護や自身の健康に関する不安、60歳代以降では健康や生活費に関する不安や、子どもや友人と会う機会が減ることによるさびしさが多くあげられている。

■ 5年後の幸福度が下がると回答した理由（年代別、代表的な回答の抜粋）

5年後の幸福度が現在の幸福度よりも点数が下がった方にお伺いします。幸福度が下がると回答した理由をお聞かせください。（自由記述）

10歳代 (12)	<ul style="list-style-type: none">• 大学卒業後、社会に出た時に多くの苦勞をしそうだから。• 駅周辺が廃れており、楽しみが少ないから。
20歳代(58)	<ul style="list-style-type: none">• 職に就いて多忙になりそうだから。仕事が忙しすぎる。• 税金や物価が上がりそうな一方で、給料は低く、金銭面の不安があるから。
30歳代(87)	<ul style="list-style-type: none">• 子供の教育費、病院費がかさむことや、物価高騰することが予測でき、それに耐え得る収入を維持できるか不安だから。• 経済の悪化により物価がさらに高くなるのに賃金は低い。
40歳代(115)	<ul style="list-style-type: none">• 子どもが大学生となって長岡を離れてしまうし、子育てがひと段落して生き甲斐が減ってしまうから。• 親の介護や教育費がかかってきそうだから。• 福祉への制度が不十分と考えるから。
50歳代 (146)	<ul style="list-style-type: none">• 家族、もしくは自身の健康状態の悪化による失職や介護、またはそれに伴う経済的不安。• 公共交通の維持・確保が難しくなりそうだから。それにより生活しづらくなりそうだから。• 年齢が上がり健康面や金銭面で不安があるので
60歳代 (170)	<ul style="list-style-type: none">• 働けなくなるから年金だけで生活できるか心配だから。• 子どもも居らずいずれどちらかが独りになったとき不安を感じます。
70歳代 (68)	<ul style="list-style-type: none">• 年金とアルバイト収入だけだと物価高騰で将来の生活が不安になる。• 高齢になり買い物、通院が自由にできないと思うから。• 体が思うように動けなく、友達とお話するのが少なくなりさみしいです。

3

総合指標関連

長岡市での継続居住意向

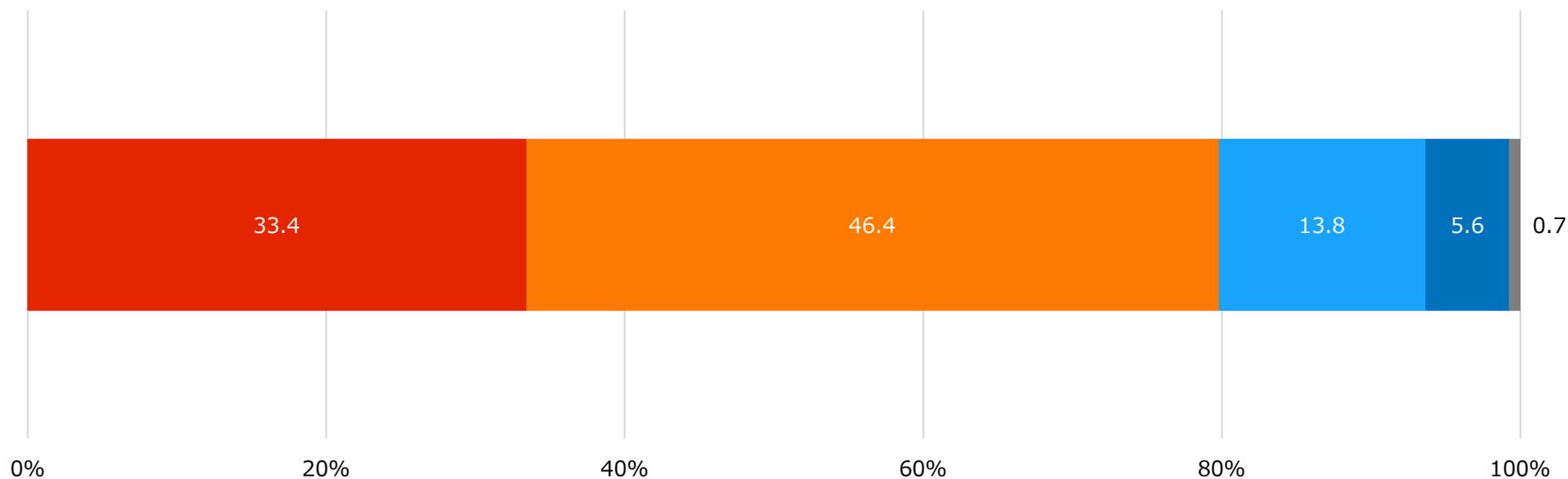
- ずっと長岡市に住み続けたいかについて質問した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は79.8%と、住み続けたいと思う人が8割近い結果となった。

■長岡市での継続居住意向

あなたは、ずっと長岡市に住み続けたいと思いますか。（択一選択）

n=2,189

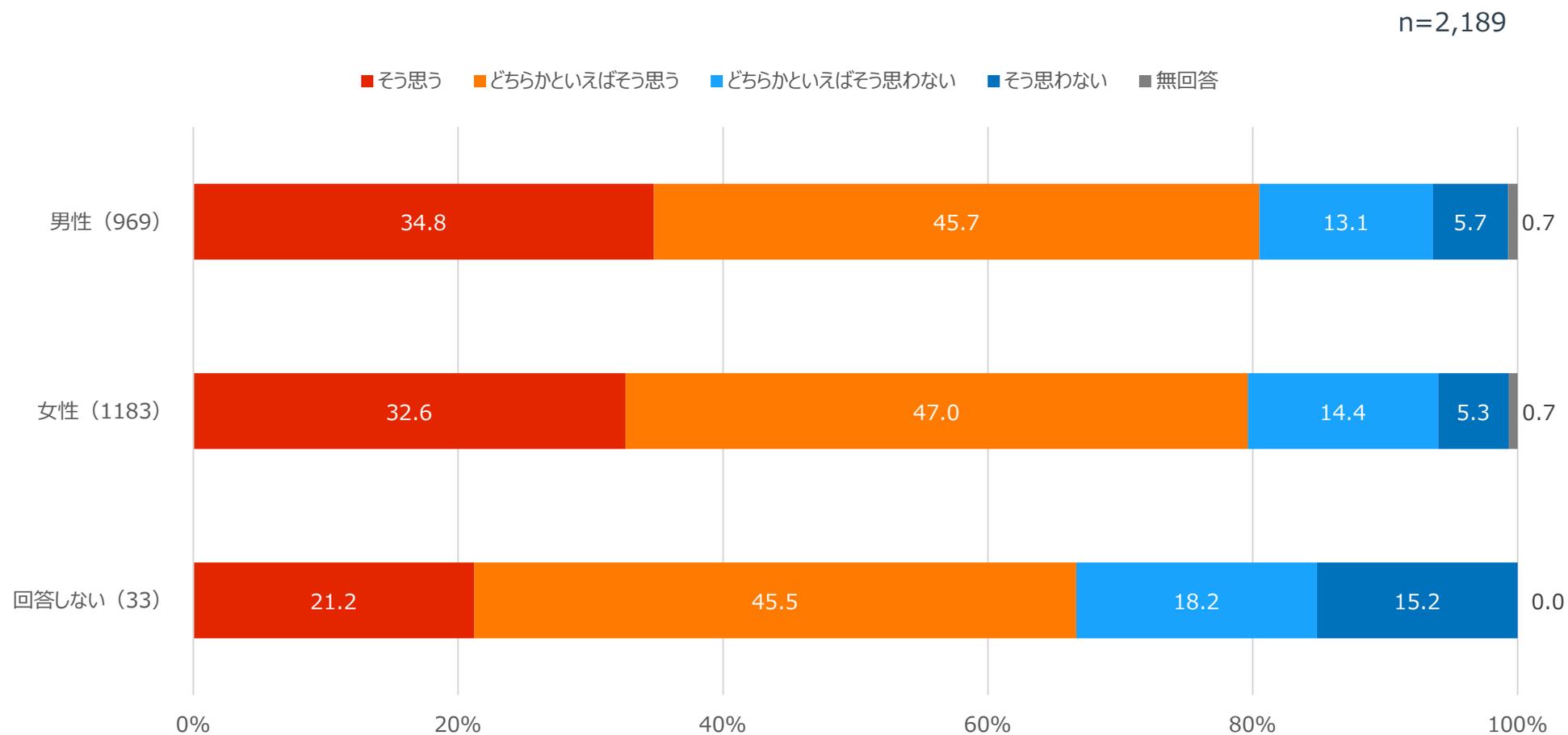
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



長岡市での継続居住意向（性別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、性別ごとに結果を確認したところ、男女間に大きな差異は見られなかった。

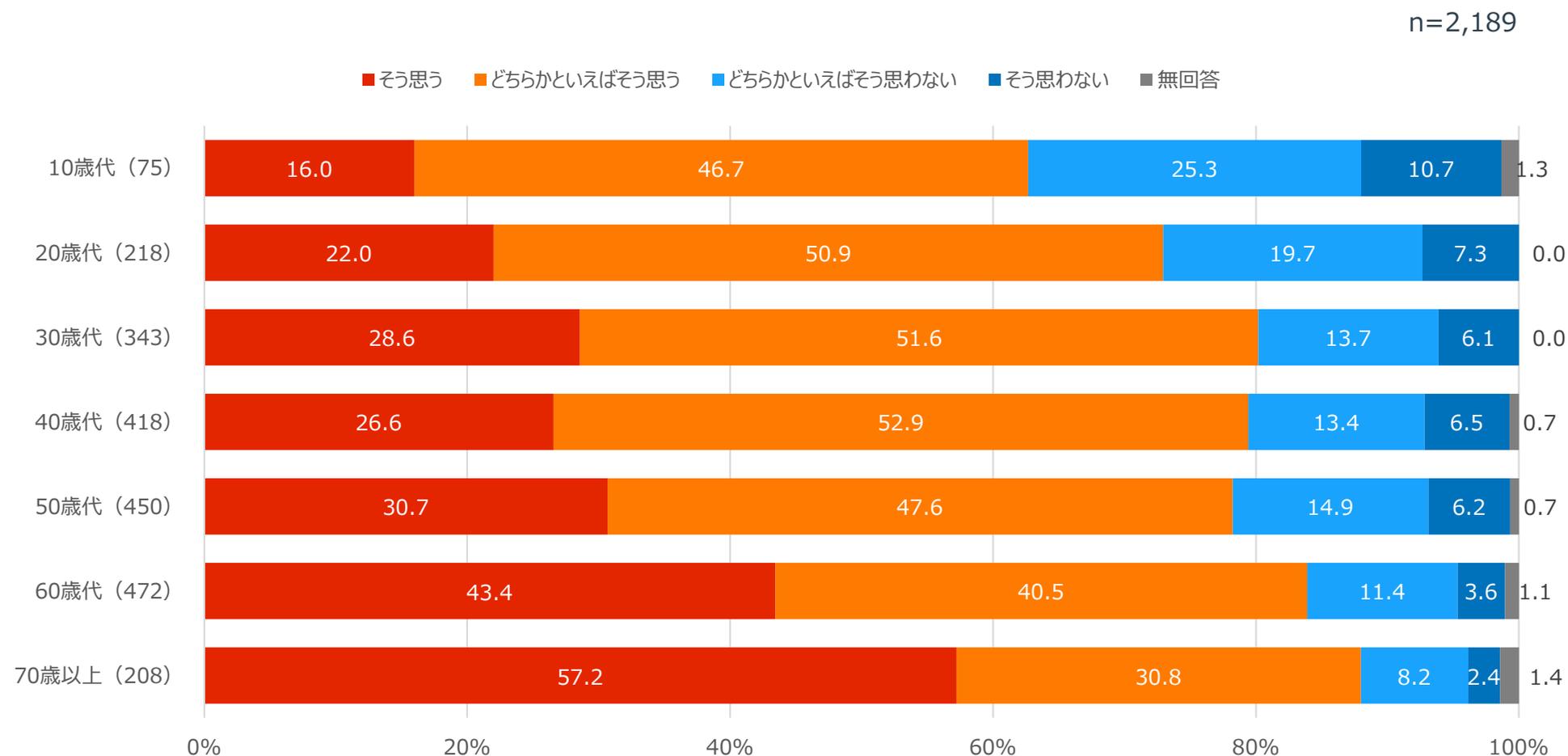
■性別 長岡市での継続居住意向



長岡市での継続居住意向（年代別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、年代別の結果を確認したところ、基本的には年代が上がるにつれて「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」が多くなる傾向が見られた。

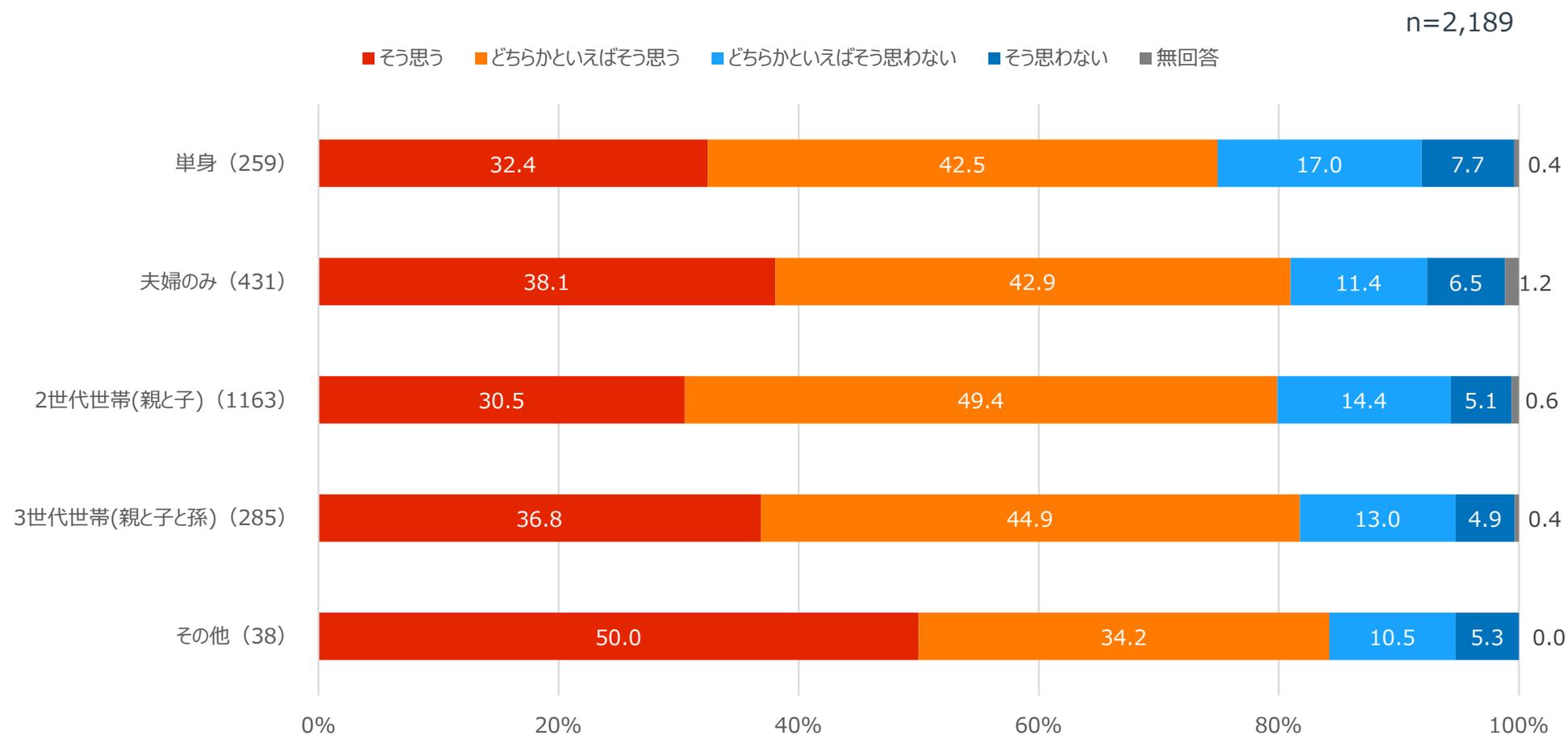
■年代別の長岡市での継続居住意向



長岡市での継続居住意向（家族構成別）

- 長岡市での継続居住意向について、家族構成別には大きな差異は見られなかった。

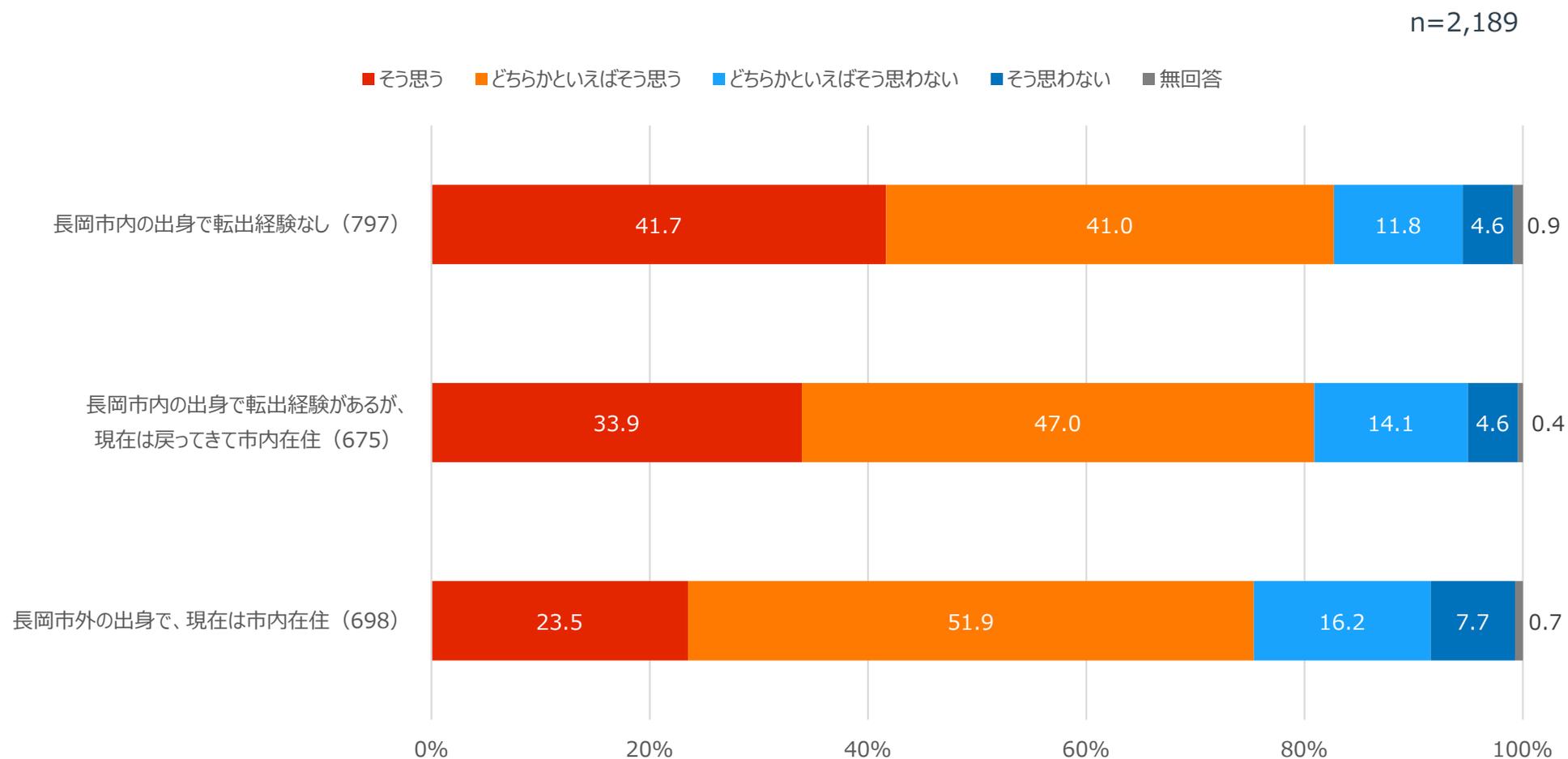
■ 家族構成別 長岡市での継続居住意向



長岡市での継続居住意向（転居経験別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、転居経験別に確認した。
- その結果、長岡市内出身で転出経験がない層では継続居住意向が82.7%と高かった一方で、長岡市外出身者では75.4%であり10pt弱の差が見られた。

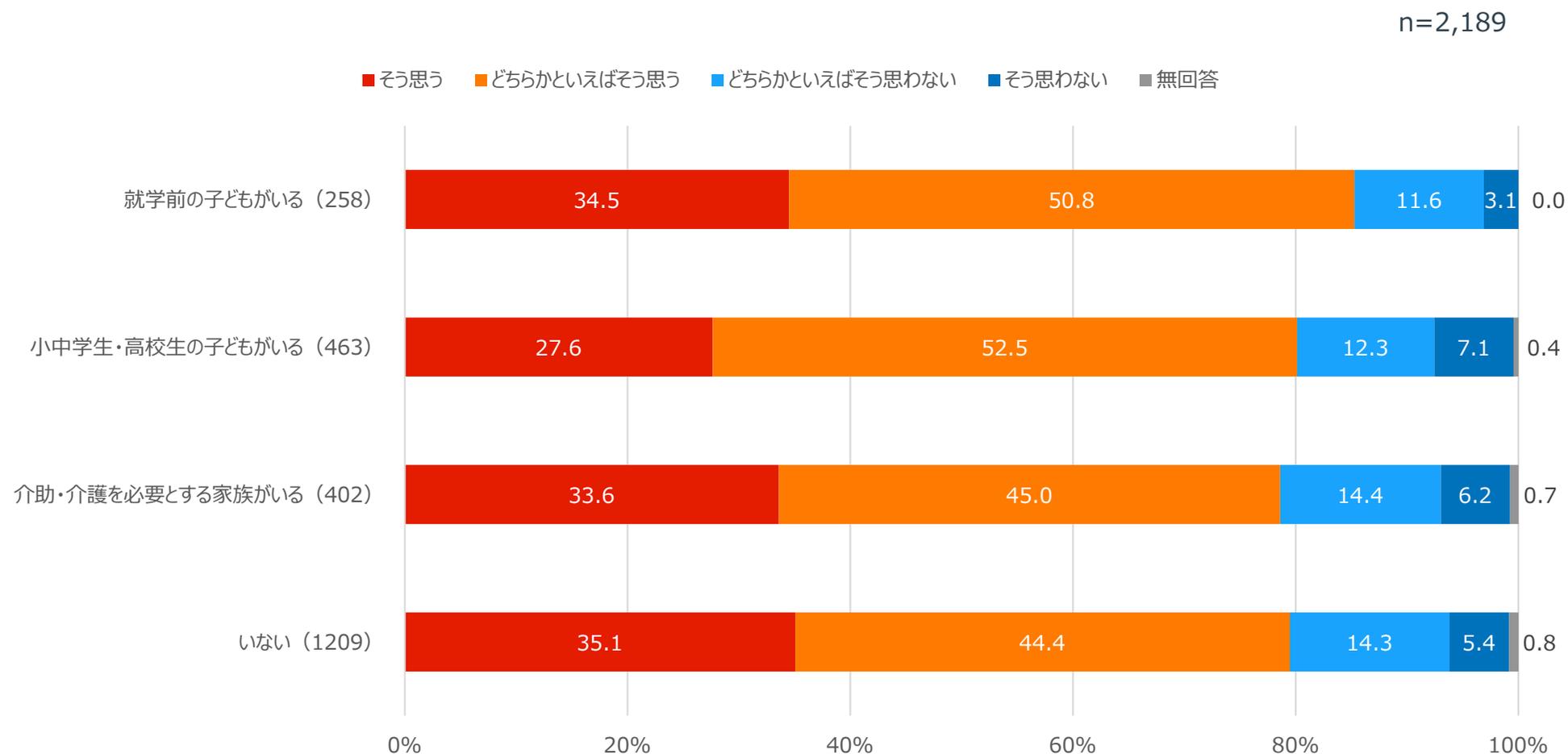
■ 転居経験別 長岡市での継続居住意向



長岡市での継続居住意向（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、子育て・介護が必要な家族の有無別に確認したところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は、「就学前の子どもがいる」家族が最も多く85.3%であり、次点の「小中学生・高校生の子どもがいる」家族（80.1%）より5%以上多かった。

■ 子育て・介護が必要な家族の有無別 長岡市での継続居住意向

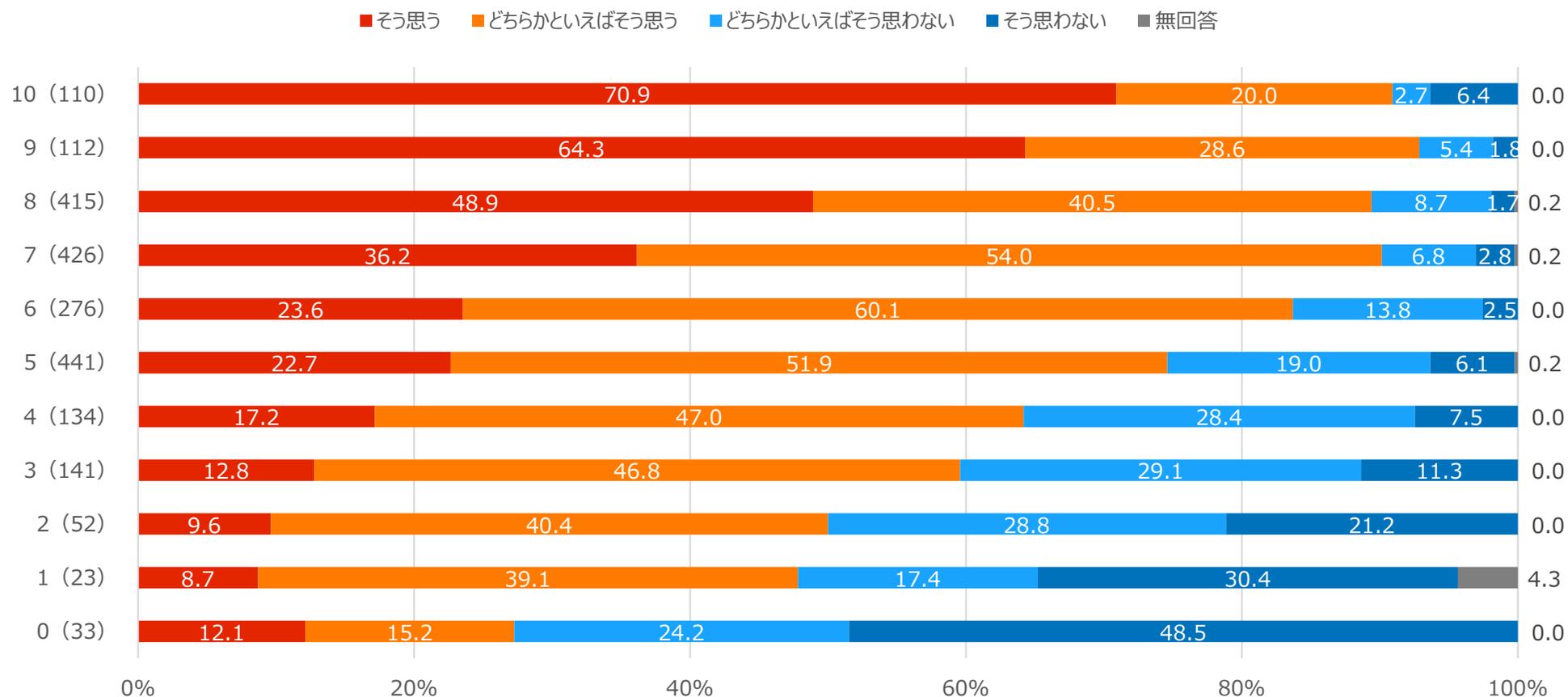


長岡市での継続居住意向（生活満足度別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、生活満足度の点数別に確認した。
- その結果、生活満足度の点数が高い人ほど継続居住意向の割合が高いことが分かった。

■生活満足度別 長岡市での継続居住意向

n=2,189

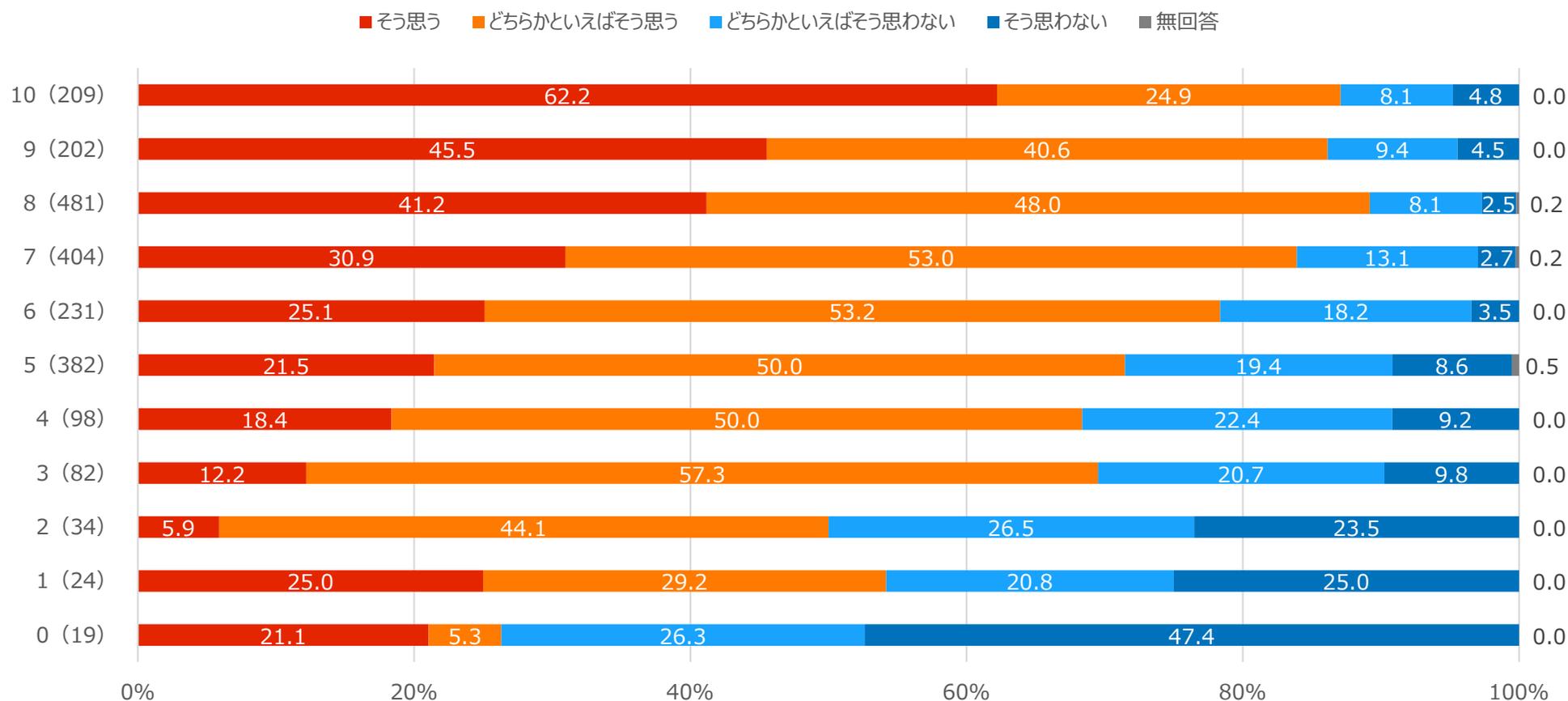


長岡市での継続居住意向（幸福度別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、幸福度の点数別に確認した。
- その結果、概ね幸福度の点数が高い人ほど継続居住意向の割合が高いことが分かった。

■ 幸福度別 長岡市での継続居住意向

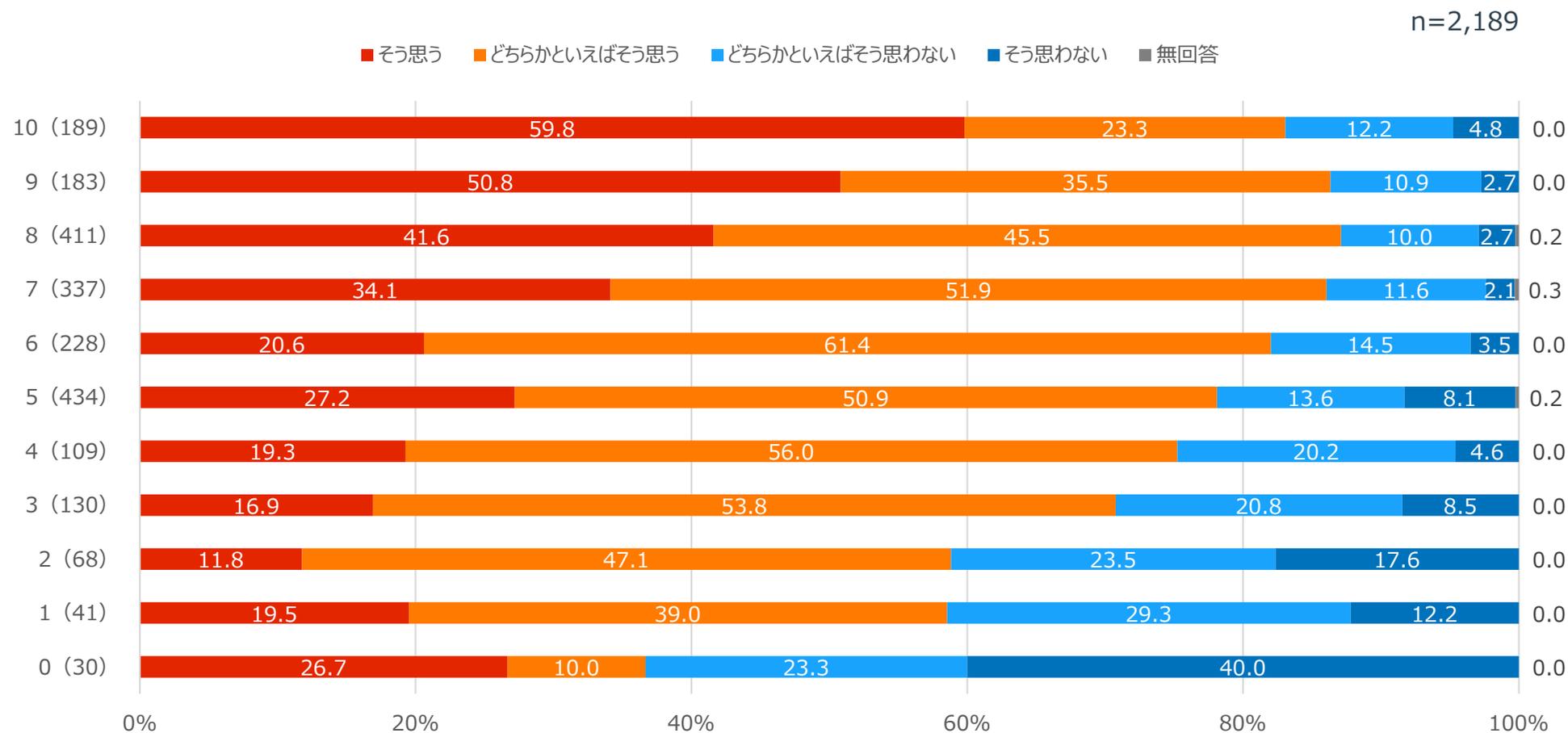
n=2,189



長岡市での継続居住意向（5年後幸福度別）

- ずっと長岡市に住み続けたいかについて、5年後幸福度の点数別に確認した。
- その結果、概ね5年後幸福度の点数が高い人ほど継続居住意向の割合が高いことが分かった。

■ 5年後幸福度別 長岡市での継続居住意向



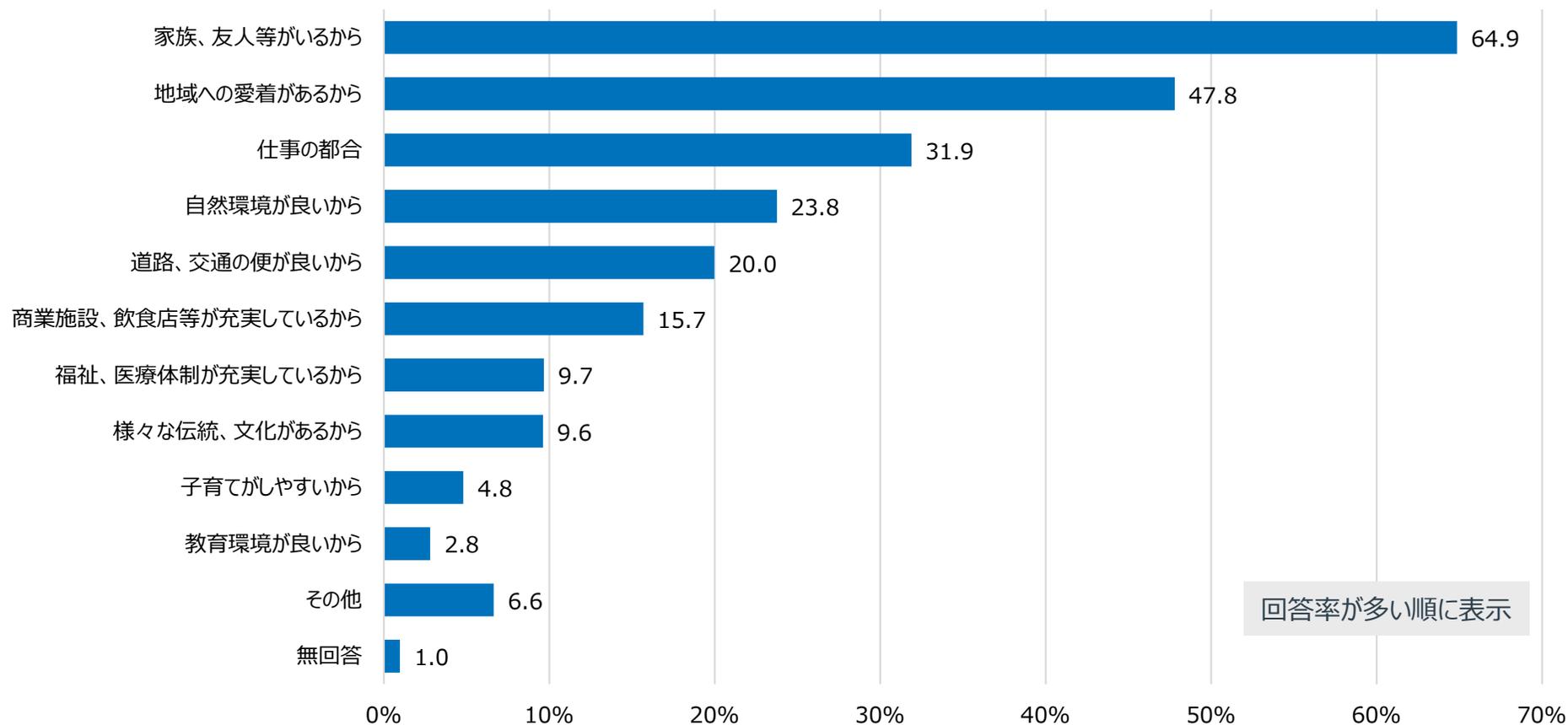
長岡市に住み続けたいと思う理由

- 長岡市に住み続けたいかについて「そう思う」もしくは「どちらかというと思う」と回答した者に、理由を質問をした。
- その結果、「家族、友人等がいるから（64.9%）」、「地域への愛着があるから（47.8%）」、「仕事の都合（31.9%）」という理由が上位に上がった。

■ 長岡市に住み続けたいと思う理由

長岡市に住み続けたいかについて「そう思う」もしくは「どちらかというと思う」を選択された方にお伺いします。長岡市に住み続けたいと思う理由は何ですか。（複数回答）

n=1,747



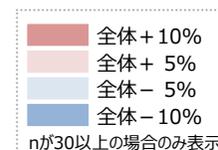
回答率が多い順に表示

長岡市に住み続けたいと思う理由（性別）

- 長岡市に住み続けたいと思う理由について性別ごとに確認した。
- その結果、男性は女性に比べて「地域への愛着があるから」との回答がやや多く、「家族、友人等がいるから」との回答がやや少なかった。

■ 性別ごとの長岡市に住み続けたいと思う理由

※各年代のn数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）



n=1,747

属性	n	地域への愛着があるから	家族、友人等がいるから	商業施設、飲食店等が充実しているから	子育てがしやすいから	教育環境が良いから	福祉、医療体制が充実しているから	様々な伝統、文化があるから	自然環境が良いから	仕事の都合	道路、交通の便が良いから	その他	
全体	1,747	47.8	64.9	15.7	4.8	2.8	9.7	9.6	23.8	31.9	20.0	6.6	1.0
男性	780	53.3	59.5	17.7	4.6	2.8	10.6	11.3	24.1	35.4	21.7	6.9	1.3
女性	942	43.4	69.5	13.9	5.0	2.7	8.8	8.1	23.6	29.1	18.4	6.3	0.6
回答しない	22	40.9	50.0	22.7	4.5	9.1	9.1	13.6	22.7	22.7	27.3	13.6	4.5

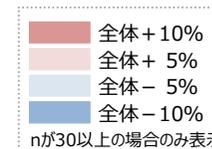
長岡市に住み続けたいと思う理由（年代別）

- 年代別に長岡市に住み続けたいと思う理由を確認した。
- その結果、30～40歳代では「仕事の都合」、60～70歳以上では「地域への愛着があるから」の回答が多かった。

■年代別の長岡市に住み続けたいと思う理由

※各年代のn数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）

n=1,747



属性	n	地域への愛着があるから	家族、友人等がいるから	商業施設、飲食店等が充実しているから	子育てがしやすいから	教育環境が良いから	福祉、医療体制が充実しているから	様々な伝統、文化があるから	自然環境が良いから	仕事の都合	道路、交通の便が良いから	その他		
全体	1,747	47.8	64.9	15.7	4.8	2.8	9.7	9.6	23.8	31.9	20.0	6.6	1.0	
10歳代	47	57.4	74.5	2.1	2.1	4.3	4.3	10.6	27.7	19.1	2.1	4.3	0.0	
20歳代	159	44.7	68.6	16.4	5.0	2.5	5.0	8.8	21.4	28.9	11.9	3.1	1.9	
30歳代	275	40.4	66.9	14.9	10.2	3.3	5.5	7.3	20.4	50.5	14.2	6.5	0.0	
40歳代	332	44.9	64.5	15.4	9.6	3.3	9.9	11.1	25.3	45.2	22.6	6.3	0.0	
50歳代	352	44.9	65.3	13.9	0.9	1.4	7.1	10.5	20.5	34.4	19.3	8.0	0.6	
60歳代	396	53.3	62.1	21.5	2.3	3.5	13.1	9.6	26.0	18.9	24.5	7.6	1.3	
70歳以上	183	58.5	61.2	11.5	1.6	2.2	18.6	8.7	29.0	8.7	27.3	6.6	3.8	

長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか

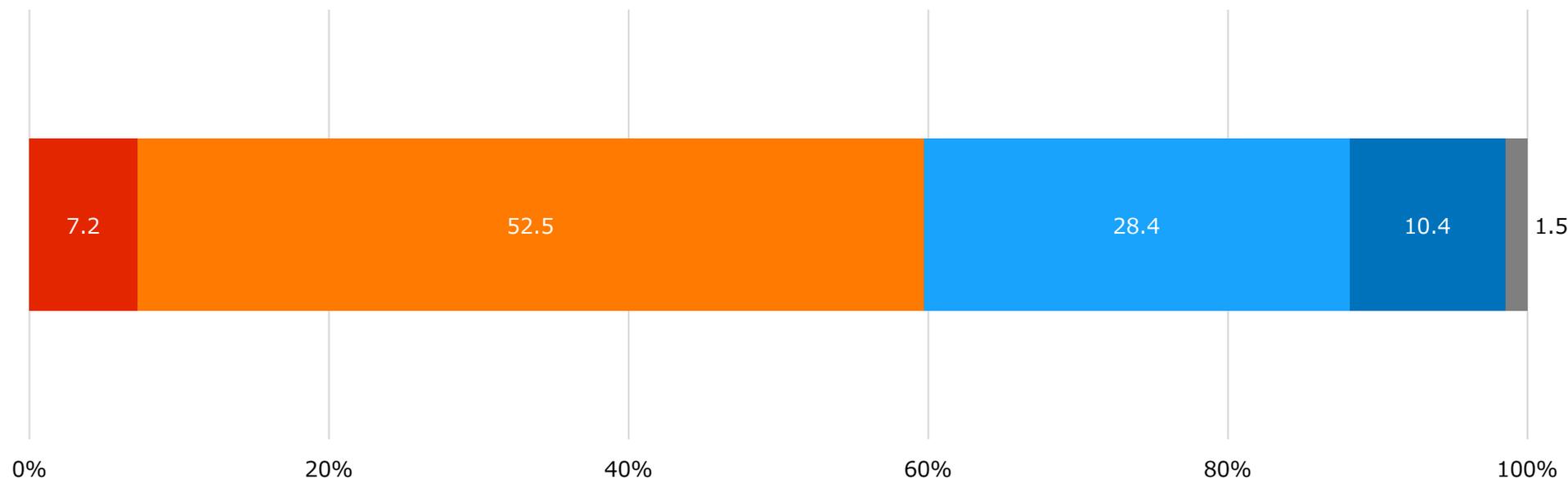
- 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めていると思うかについて質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計59.7%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計38.8%であり、住みやすいまちづくりの推進について実感できている市民の方が、実感できていない市民より20%程度多いことが分かった。

■ 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか

あなたは、長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めていると思いますか。（択一選択）

n=2,189

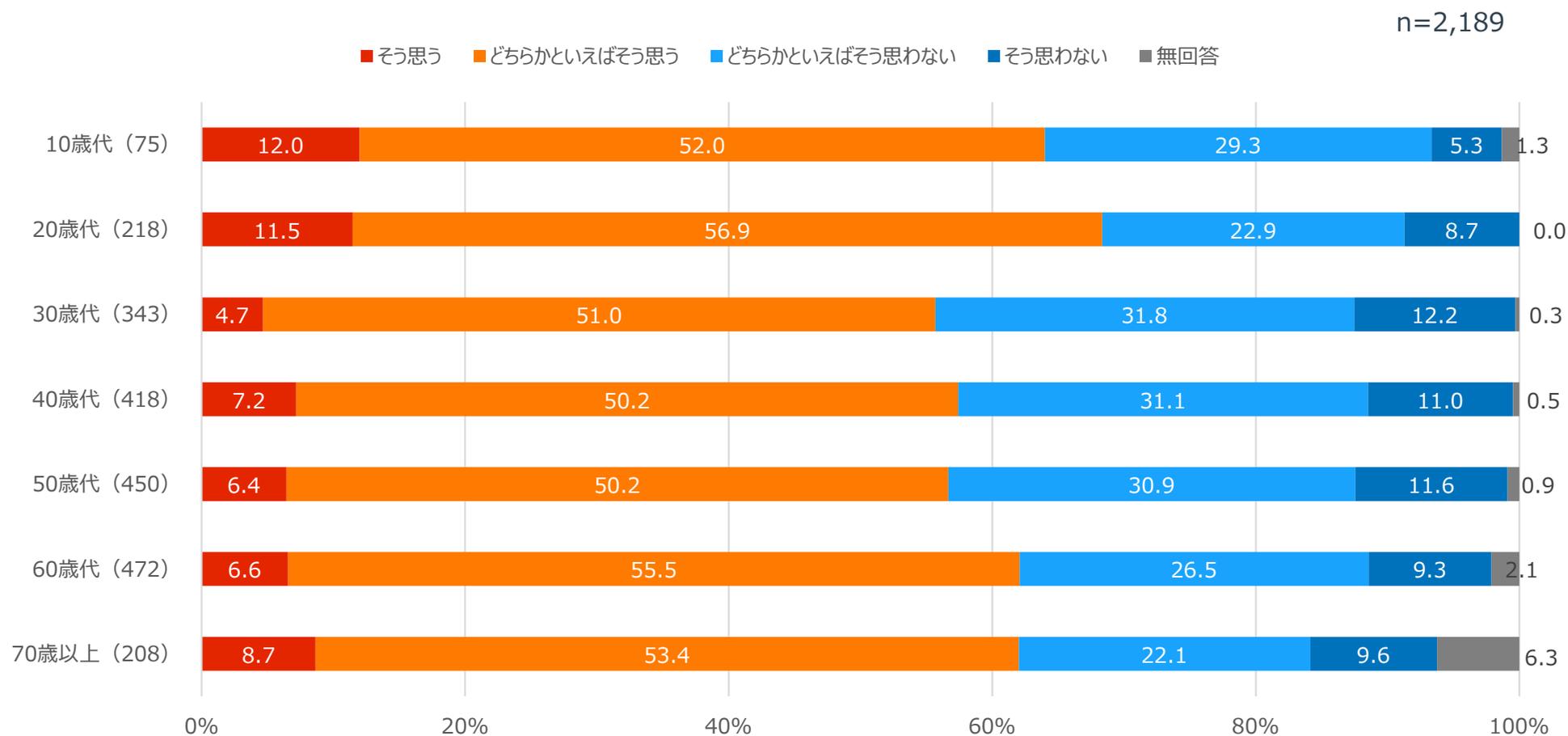
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか（年代別）

- 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について20歳代が最も高く68.4%であった。一方で、最も低かったのは30歳代で55.7%であった。

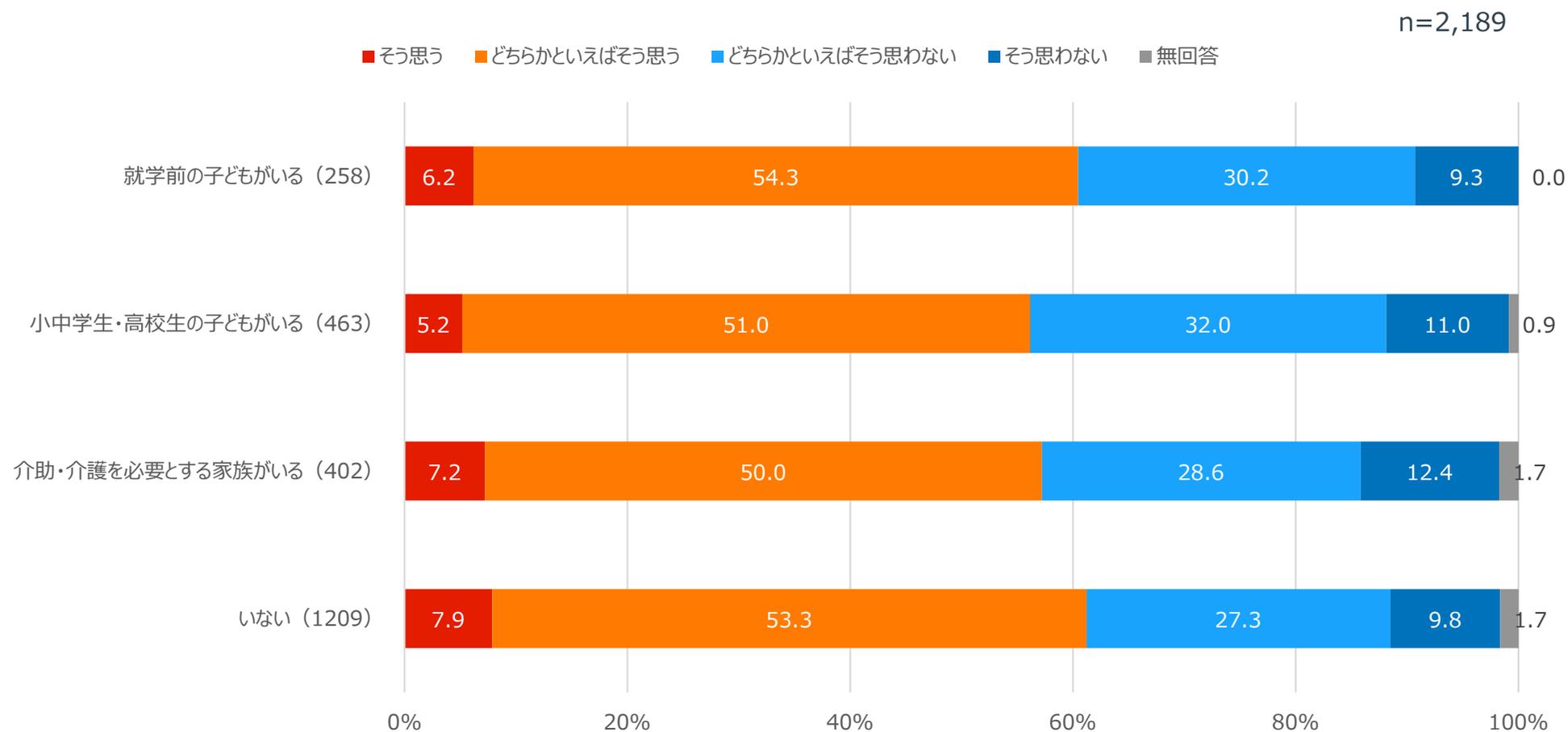
■ 年代別 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか



長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているかの回答について子育て・介護が必要な家族の有無別に確認した。
- その結果、小中学生・高校生の子どもがいる回答者では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が他に比べてやや低かった。

■ 子育て・介護が必要な家族の有無別 長岡市は快適で住みやすいまちづくりを進めているか



居住している地域のまちづくりに関わっていると思うか

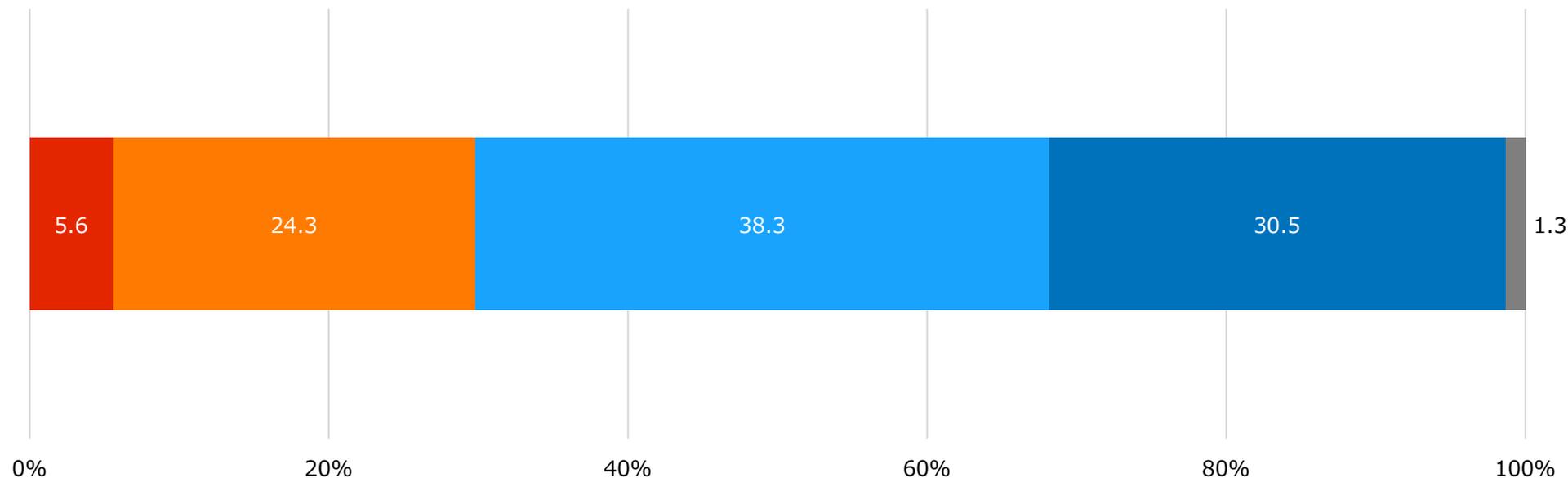
- 居住している地域のまちづくりに関わっていると思うかについて質問した。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計68.8%であるのに対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計は29.9%にとどまった。

■ 居住している地域のまちづくりに関わっていると思うか

あなたは、お住まいの地域のまちづくりに関わっていると思いますか。（択一選択）

n=2,189

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



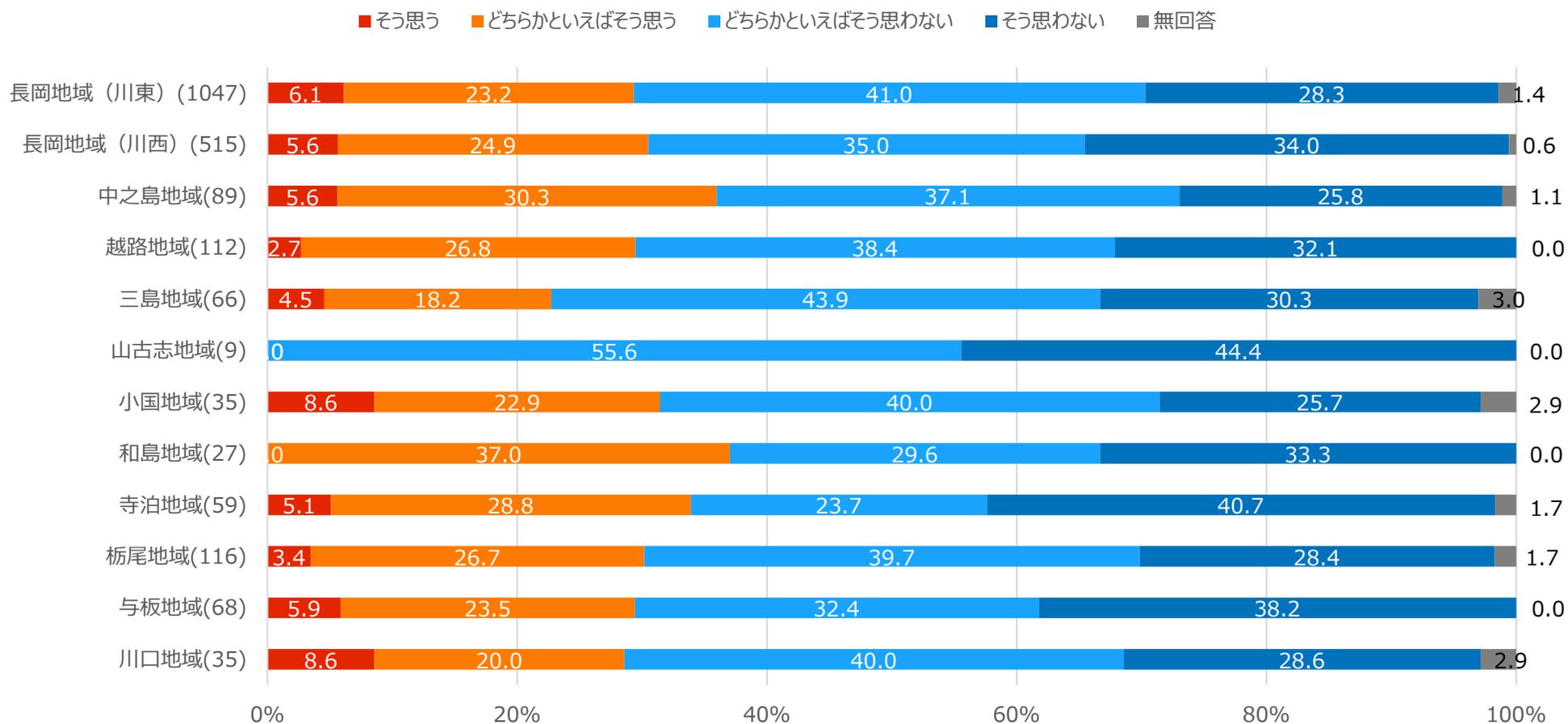
居住している地域のまちづくりに関わっていると思うか（居住地域別）

- 居住している地域のまちづくりに関わっていると思うか、地域別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について和島地域と中之島地域では35%を超えているが、一方で三島地域や山古志地域では25%を下回っており、地域差ごとの差が大きいことが分かった。

※山古志地域は特にn数が少ないため留意が必要

■ 居住地域別 居住している地域のまちづくりに関わっていると思うか

n=2,189



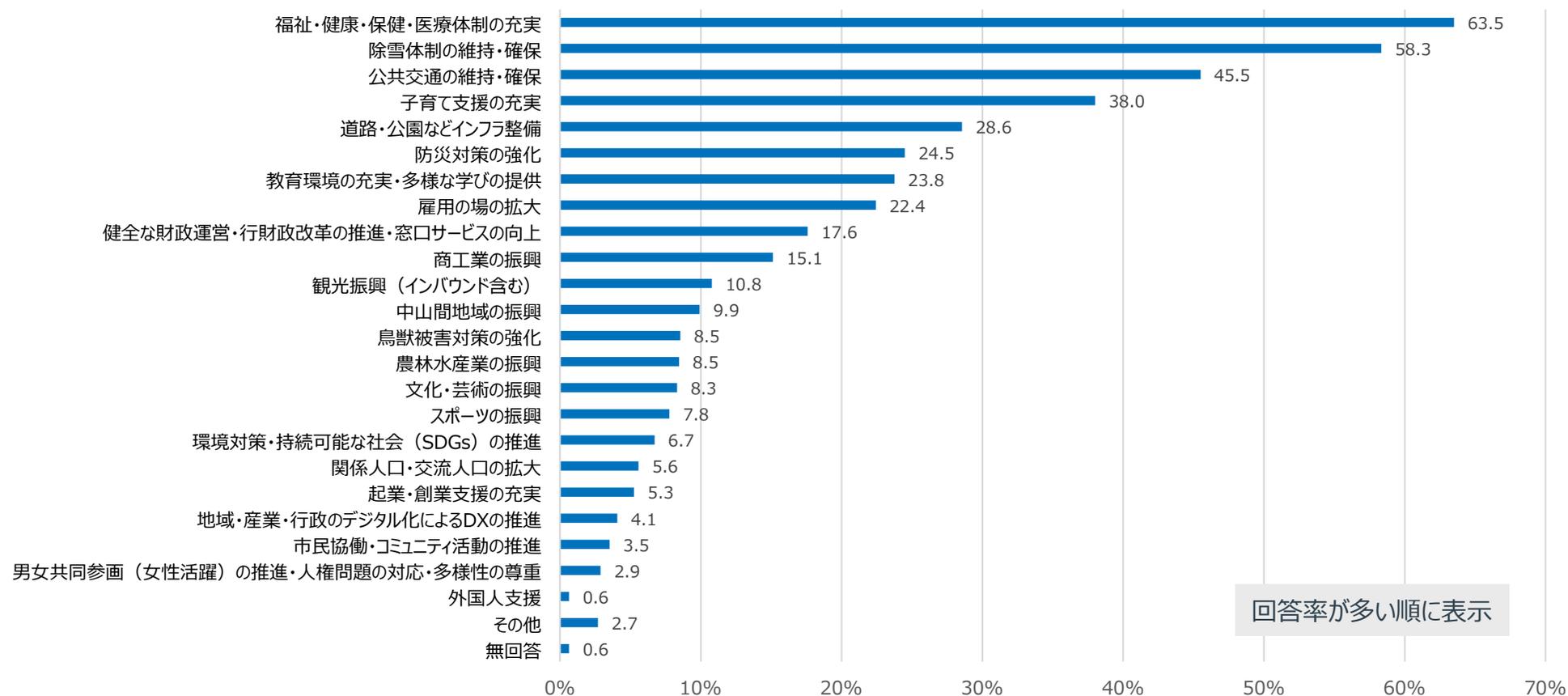
長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

- 長岡市に特に力を入れてほしい取り組みについて、最大5つまで選択できる形で質問した。
- その結果、「福祉・健康・医療体制の充実（63.5%）」、「除雪体制の維持・確保（58.3%）」、「公共交通の維持・確保（45.5%）」、「子育て支援の充実（38.0%）」といった取り組みが上位にあがった。

■ 長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

長岡市に特に力を入れてほしい取り組みは何ですか。(最大で5つまで選択)

n=2,189



特に力を入れてほしい取り組み (年代別)

- 特に力を入れてほしい取り組みについて年代別に確認したところ、60歳以上の年配層では「福祉・健康・保健・医療体制の充実」、20歳～30歳代では「子育て支援の充実」「教育環境の充実・多様な学びの提供」、10歳代では「商工業の振興」、「観光振興（インバウンド含む）」への関心が全体と比較して高いことが分かった。

■年代別 長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

※各年代のn数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）



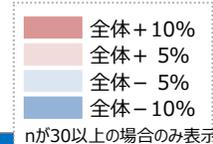
属性	n	福祉・健康・保健・医療体制の充実	公共交通の維持・確保	子育て支援の充実	教育環境の充実・多様な学びの提供	防災対策の強化	中山間地域の振興	鳥獣被害対策の強化	道路・公園などインフラ整備	除雪体制の維持・確保	商工業の振興	雇用の場の拡大	起業・創業支援の充実	農林水産業の振興	環境対策・持続可能な社会（SDGs）の推進	文化・芸術の振興	スポーツの振興	観光振興（インバウンド含む）	関係人口・交流人口の拡大	地域・産業・行政のデジタル化によるDXの推進	市民協働・コミュニティ活動の推進	男女共同参画（女性活躍）の推進・人権問題の対応・多様性の尊重	外国人支援	健全な財政運営・行政改革の推進・窓口サービスの向上	その他	
全体	2,189	63.5	45.5	38.0	23.8	24.5	9.9	8.5	28.6	58.3	15.1	22.4	5.3	8.5	6.7	8.3	7.8	10.8	5.6	4.1	3.5	2.9	0.6	17.6	2.7	0.6
10歳代	75	46.7	49.3	46.7	25.3	16.0	8.0	4.0	25.3	36.0	25.3	16.0	10.7	5.3	8.0	14.7	14.7	21.3	5.3	4.0	2.7	6.7	1.3	6.7	1.3	1.3
20歳代	218	46.8	40.4	50.9	29.4	17.9	7.8	8.3	33.0	50.0	20.6	17.9	8.7	11.5	6.4	9.6	9.2	11.5	3.7	6.0	2.3	4.6	0.0	11.5	1.8	0.5
30歳代	343	51.3	32.9	68.5	38.5	21.0	8.7	4.7	34.7	50.1	18.4	20.1	8.5	7.3	2.6	5.5	9.0	9.6	6.1	5.8	2.3	4.4	0.6	11.1	3.8	0.0
40歳代	418	56.9	40.9	43.5	32.8	23.2	7.7	5.7	28.5	62.4	17.5	22.2	6.5	8.6	6.0	6.9	8.4	10.8	6.2	4.5	2.4	1.4	1.0	16.0	2.4	0.5
50歳代	450	69.1	50.2	22.4	18.7	22.9	9.3	9.3	26.2	61.8	13.8	30.0	3.6	8.0	4.7	7.6	8.0	11.8	5.1	4.4	2.7	2.7	0.7	21.8	3.3	0.7
60歳代	472	76.1	52.1	25.2	12.5	31.1	11.9	10.2	26.3	64.4	10.6	23.9	2.1	7.6	9.5	11.2	5.3	11.2	6.6	2.3	4.0	1.9	0.6	21.8	2.5	0.6
70歳以上	208	79.3	54.3	23.1	12.0	30.8	16.3	17.3	24.5	58.7	8.7	13.9	2.9	11.1	13.0	7.2	5.8	5.3	4.3	1.4	10.1	2.9	0.5	23.1	1.9	1.4

特に力を入れてほしい取り組み（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- 特に力を入れてほしい取り組みについて地域別に確認したところ、「就学前の子どもがいる」及び「小中学生・高校生の子どもがいる」回答者では、「子育て支援の充実」「教育環境の充実・多様な学びの提供」への関心が全体比較して高い結果となった。

■子育て・介護が必要な家族の有無別 長岡市に特に力を入れてほしい取り組み

※各年代のn数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）



属性	n	福祉・健康・保健・医療体制の充実	公共交通の維持・確保	子育て支援の充実	教育環境の充実・多様な学びの提供	防災対策の強化	中山間地域の振興	鳥獣被害対策の強化	道路・公園などインフラ整備	除雪体制の維持・確保	商工業の振興	雇用の拡大	起業・創業支援の充実	農林水産業の振興	環境対策・持続可能な社会（SDGs）の推進	文化・芸術の振興	スポーツの振興	観光振興（インバウンド含む）	関係人口・交流人口の拡大	地域・産業・行政のデジタル化によるDXの推進	市民協働・コミュニティ活動の推進	男女共同参画（女性活躍）の推進・人権問題の対応・多様性の尊重	外国人支援	健全な財政運営・行政改革の推進・窓口サービスの向上	その他	
全体	2,189	63.5	45.5	38.0	23.8	24.5	9.9	8.5	28.6	58.3	15.1	22.4	5.3	8.5	6.7	8.3	7.8	10.8	5.6	4.1	3.5	2.9	0.6	17.6	2.7	0.6
就学前の子どもがいる	258	55.0	29.1	88.0	56.2	15.1	8.1	3.5	32.9	49.6	16.3	15.1	7.8	4.7	4.7	5.8	11.2	7.0	3.9	3.9	1.9	2.7	0.4	10.1	3.1	0.0
小中学生・高校生の子どもがいる	463	59.2	39.3	56.8	41.3	19.4	8.9	4.1	25.7	52.7	16.0	19.9	7.1	6.5	4.3	6.0	10.2	10.4	5.0	4.1	1.5	2.4	1.1	13.2	1.9	0.6
介助・介護を必要とする家族がいる	402	72.4	48.8	28.4	17.7	24.4	12.4	10.0	27.1	61.9	11.7	22.6	2.5	11.2	5.7	8.0	6.2	10.7	6.0	3.2	5.0	3.2	0.7	23.1	3.2	0.7
いない	1,209	63.9	49.1	28.0	16.3	27.4	10.3	10.3	28.6	60.2	15.2	24.3	5.3	8.9	8.1	9.5	6.9	11.3	5.7	4.3	4.1	3.1	0.5	18.9	2.6	0.6

4

政策・施策KPI

4-1

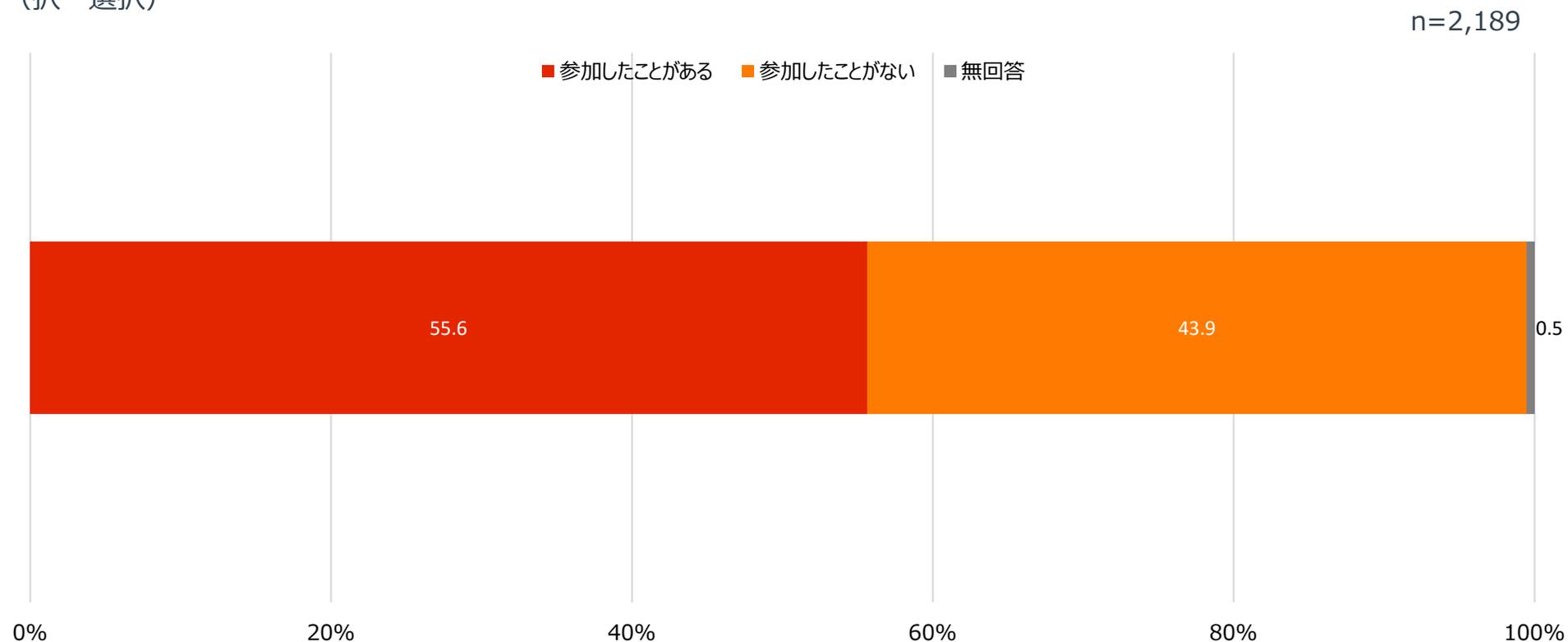
暮らしについて

地域活動

- 過去一年間の地域活動への参加状況を伺った。
- その結果、参加したことがある方（55.6%）が過半数以上いるものの、参加したことがない方（43.9%）も半数近くいることが分かった。

■ 地域活動への参加経験

あなたは、この1年間に、町内会や子ども会の活動、地域の祭りやイベント、清掃活動などの地域活動（※）に参加したことがありますか。
（択一選択）

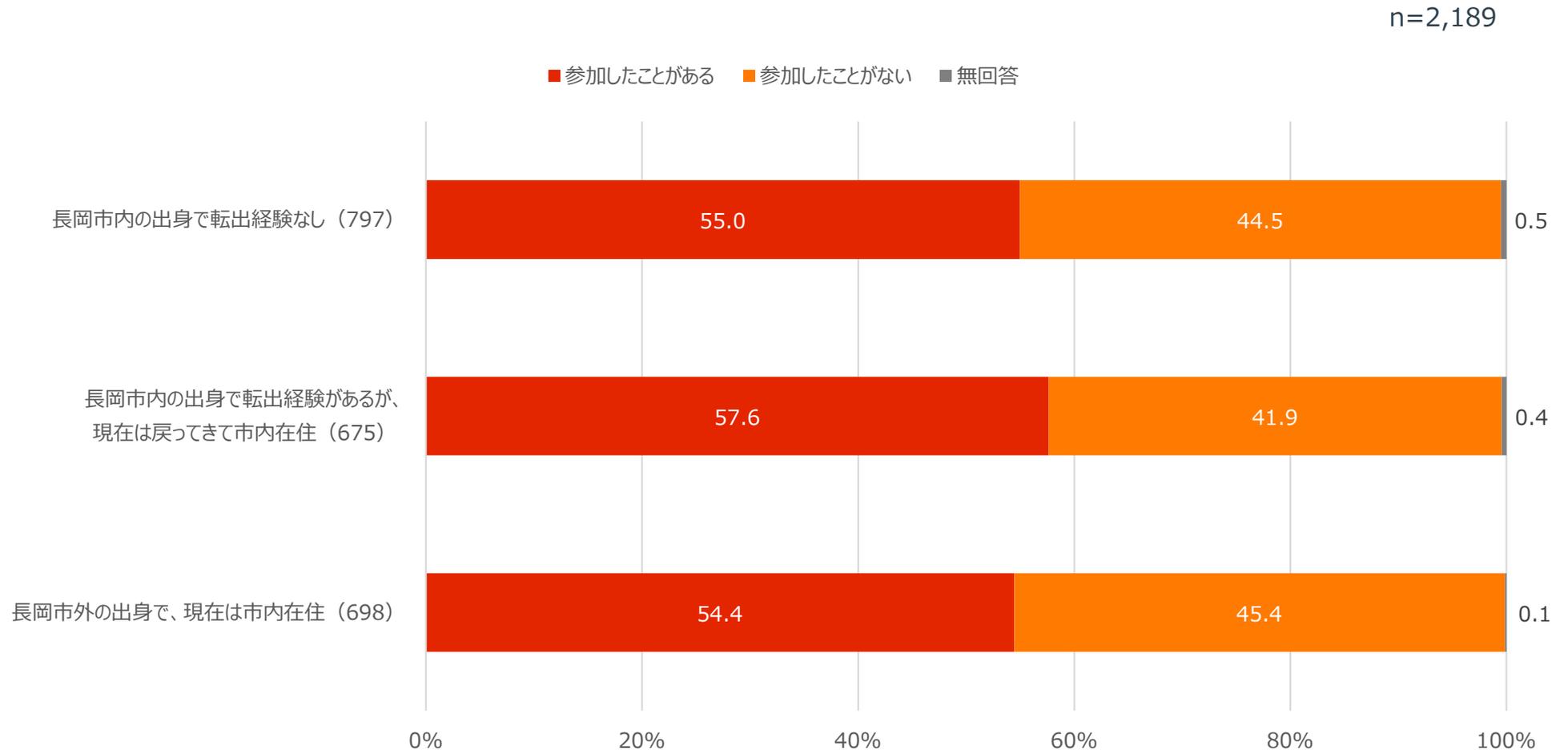


（※）地域活動：お住まいの地域で行われるイベントや清掃活動、防犯パトロールなど、地域の発展や安心安全などを目的とする活動のことを指します。

地域活動（転居経験別）

- 転居経験別に地域活動への参加経験を伺った。
- その結果、転居経験別では地域活動の参加有無に大きな違いは見られなかった。

■ 転居経験別 地域活動への参加経験

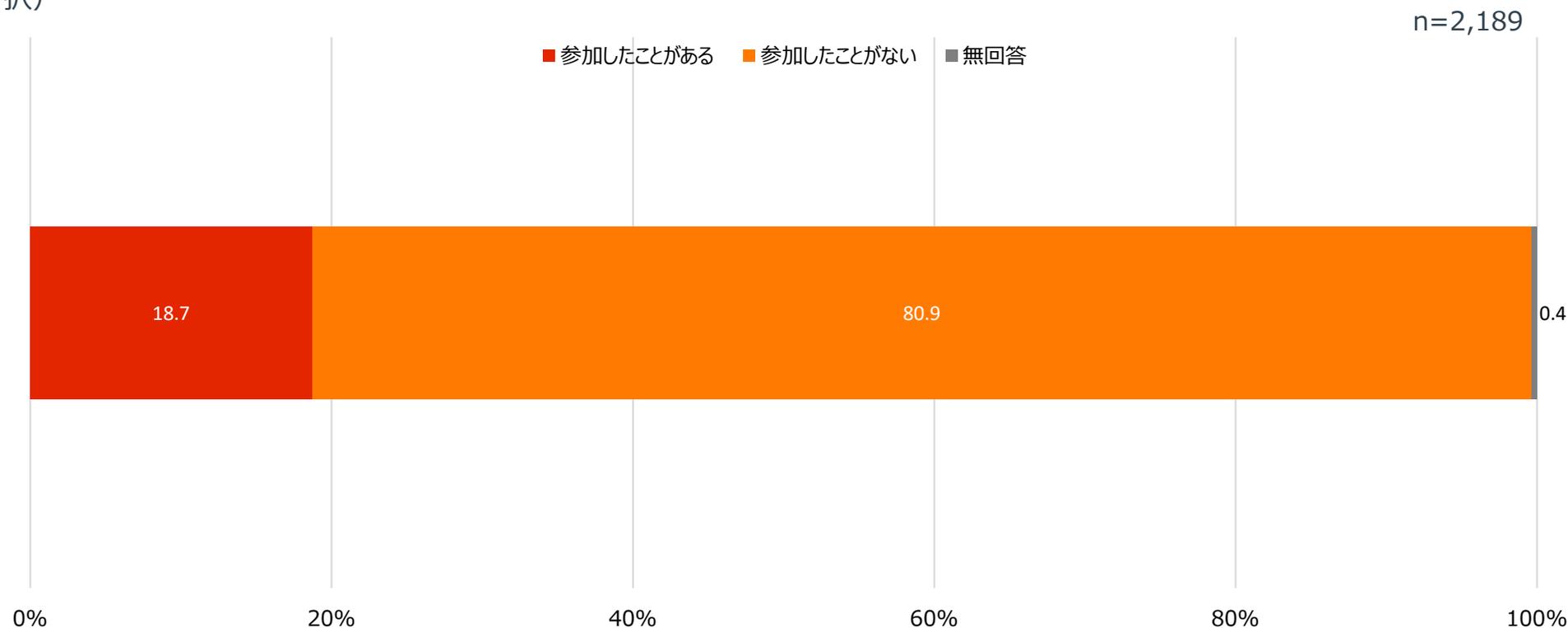


市民活動

- 過去一年間の市民活動への参加状況を伺った。
- その結果、参加したことがある方（18.7%）は、参加したことがない方（80.9%）の4分の1未満であることが分かった。

■ 市民活動への参加経験

あなたは、この1年間にボランティア活動など、より暮らしやすいまちをつくるための市民活動（※）に参加したことがありますか。（択一選択）



（※）市民活動：地域活動とは別に、「社会の役に立ちたい」、「みんなのために」という気持ちから取り組まれる公益的な活動のことを指します。

男女の地位

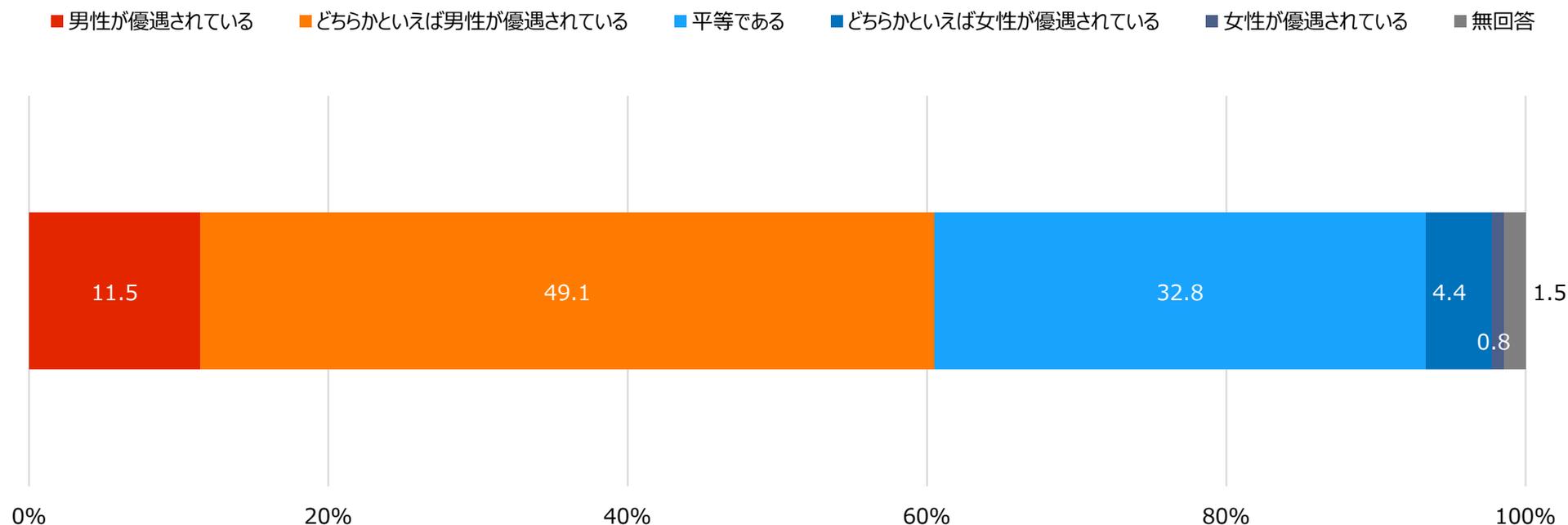
- 地域社会における男女の地位が平等になっていると思うかについて伺った。
- その結果、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせると、合計60.6%が男性優位と回答しており、男性が優遇されていると感じている人の割合が多いことが分かった。

■ 地域社会における男女の地位

あなたは、地域社会（家庭や職場、学校、政治の場や制度、慣習など）における男女の地位は平等になっていると思いますか。

（択一選択）

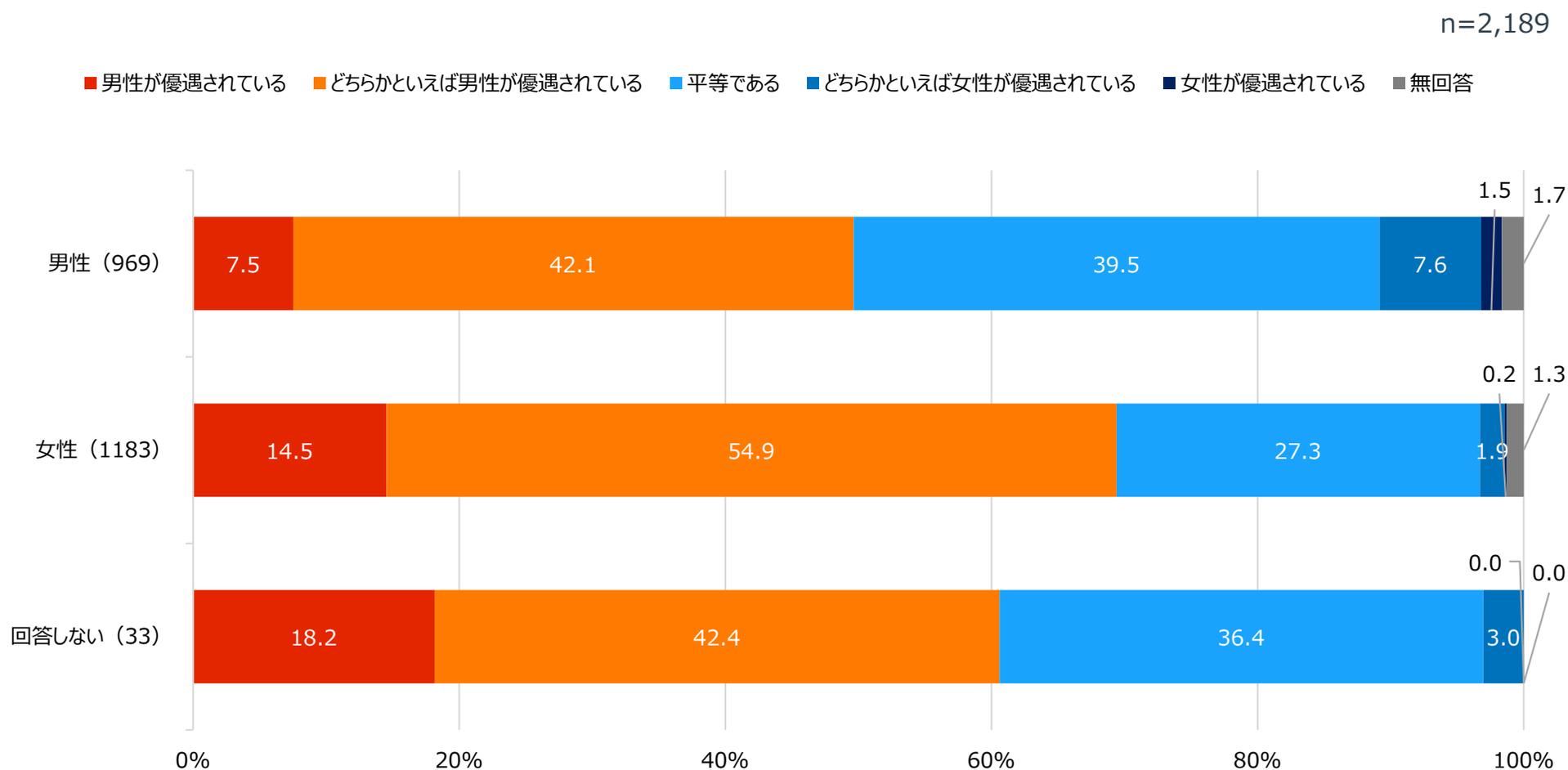
n=2,189



男女の地位（男女別）

- 男女の地位が平等だと思うかについて、男女別に確認したところ、女性において、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせると69.4%に達し、男性よりも女性のほうが男性優位と感じている傾向が強いことがわかった。
- また、「平等だと思う」は男性で39.5%、女性で27.3%と、男女間で10pt以上の差が見られた。

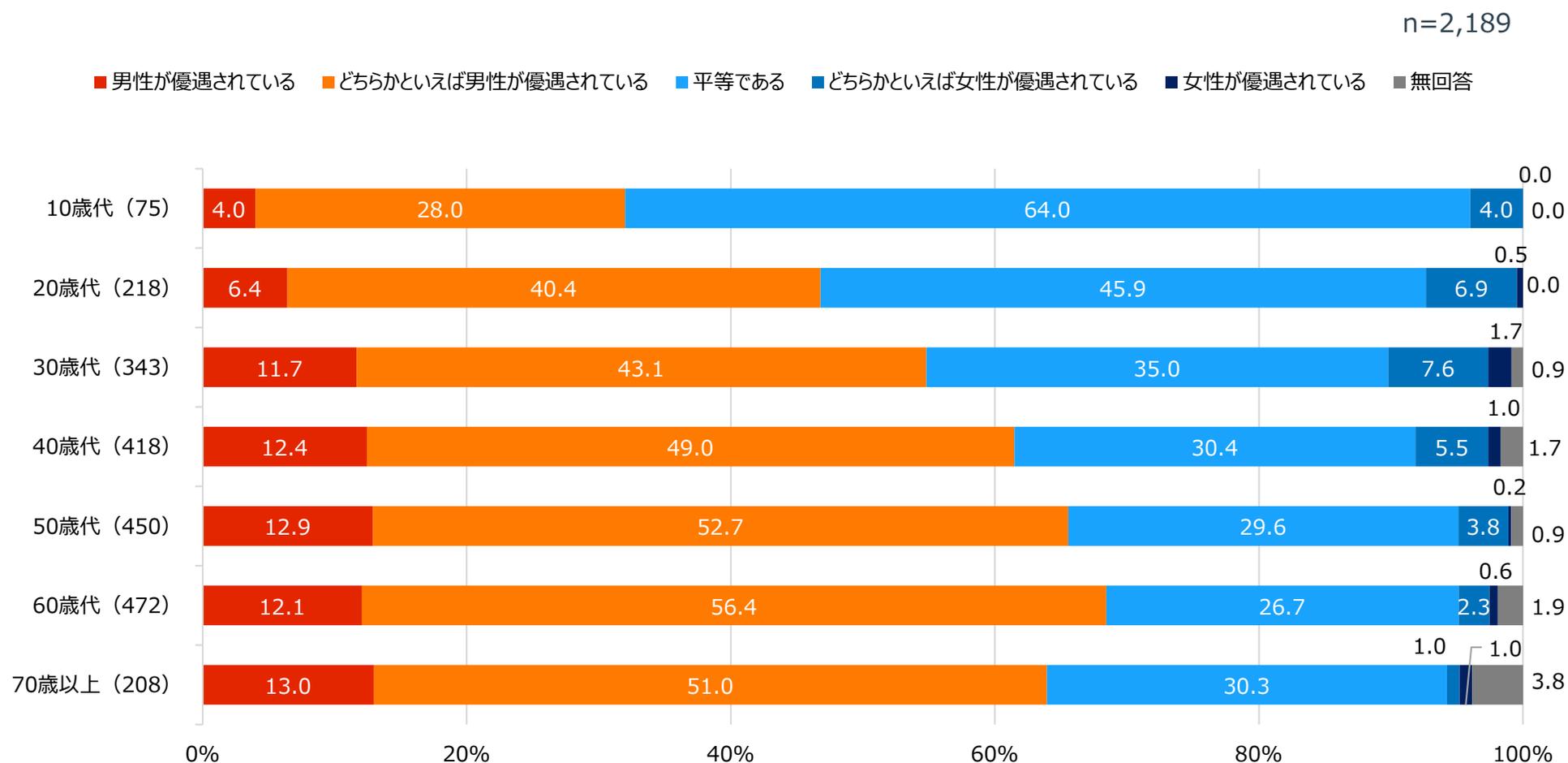
■ 男女別 地域社会における男女の地位



男女の地位（年代別）

- 男女の地位が平等だと思うか、年代別に確認したところ、10歳代では「平等である」の回答が64.0%と最も高くなっていた。
- 20歳代以降では「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた割合が増え、60歳代が68.5%と最も高くなっていた。

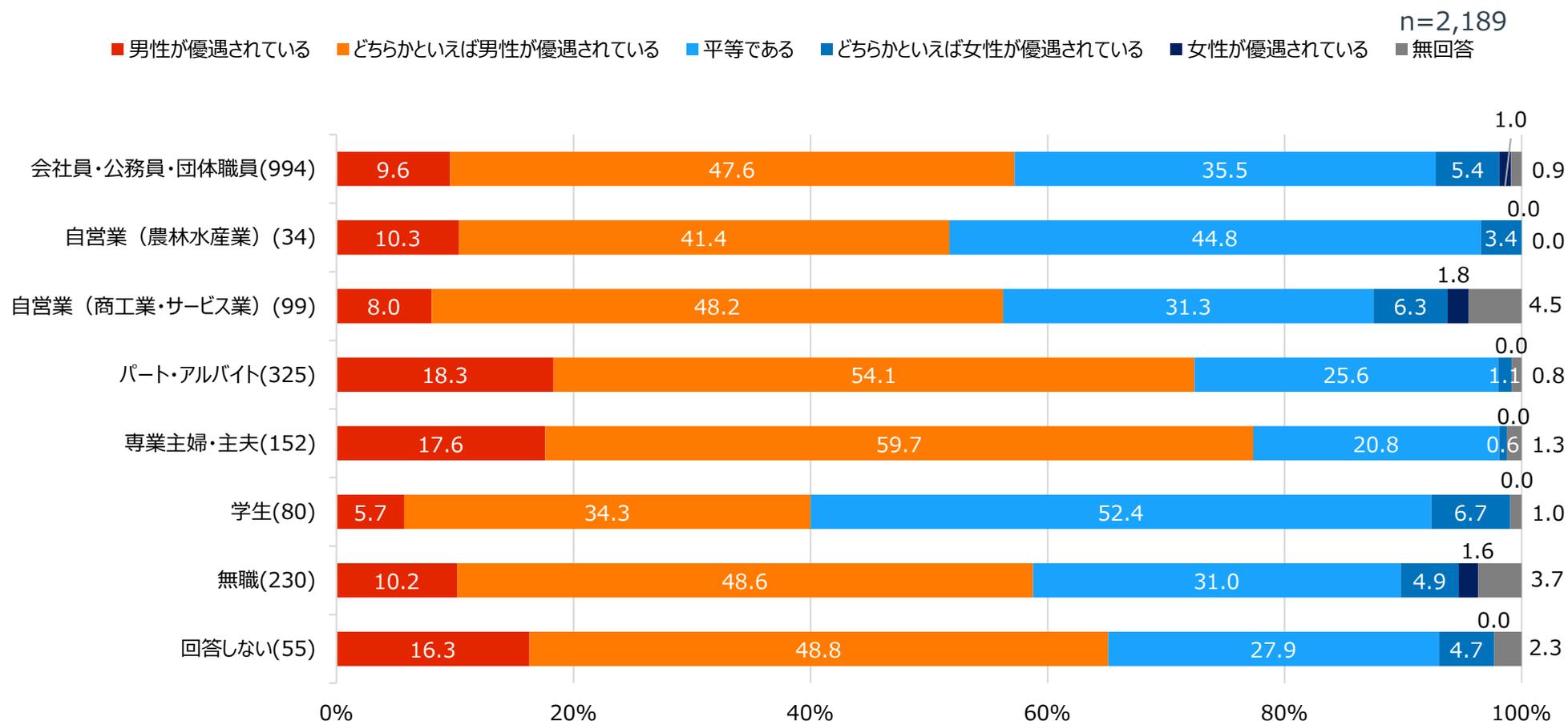
■年代別 地域社会における男女の地位



男女の地位（職業別）

- 男女の地位が平等だと思うか、職業別に確認したところ、専業主婦・主夫において、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が77.3%と、最も高い割合を示していることが分かった。
- 学生では「平等である」が52.4%と最も高く、男女の地位が平等だと感じている割合が他の属性と比較して高いことが分かった。

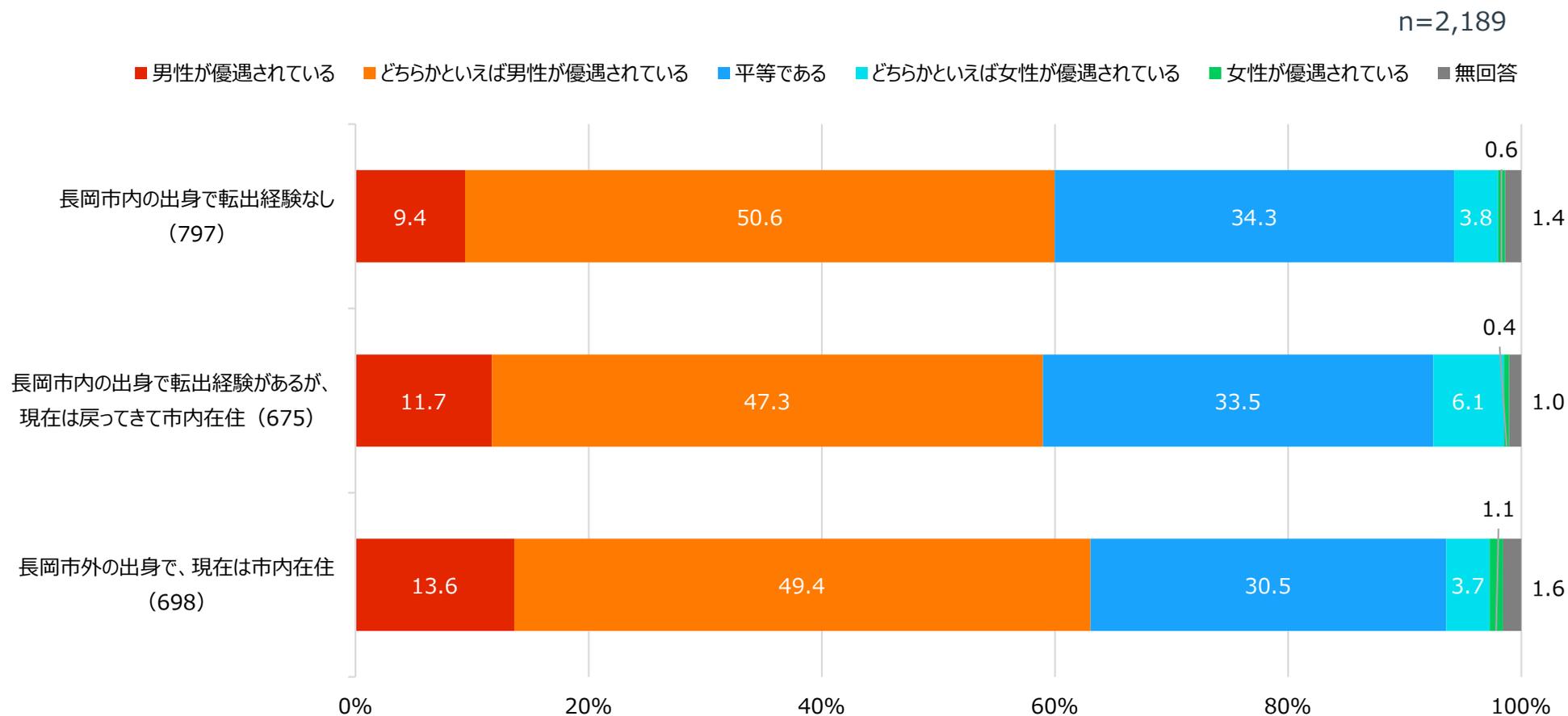
■ 職業別 地域社会における男女の地位



男女の地位（転居経験の有無別）

- 男女の地位が平等だと思うか、転居経験の有無別に確認した。
- その結果、長岡市外の出身で、現在は市内在住の方において、「男性が優遇されている」と、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が63.0%と、最も高いことが分かった。

■ 転居経験の有無別 地域社会における男女の地位



ワーク・ライフ・バランス

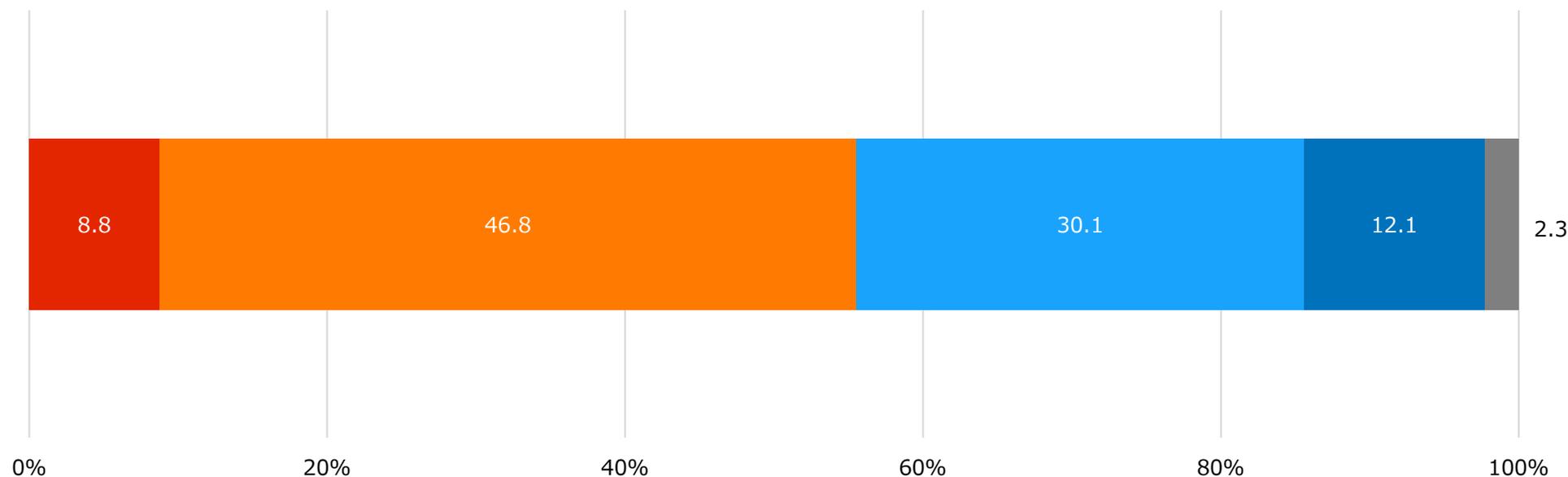
- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかどうかを質問した。
- その結果、「実現している」と「概ね実現している」を合わせると55.6%であり、半数以上は比較的実現できているとの考えを持っていることが分かった。

■ワーク・ライフ・バランスの実現

あなたは、自分が望むワーク・ライフ・バランス※を実現できていますか。（択一選択）

n=2,189

■ 実現している ■ 概ね実現している ■ あまり実現していない ■ 実現していない ■ 無回答

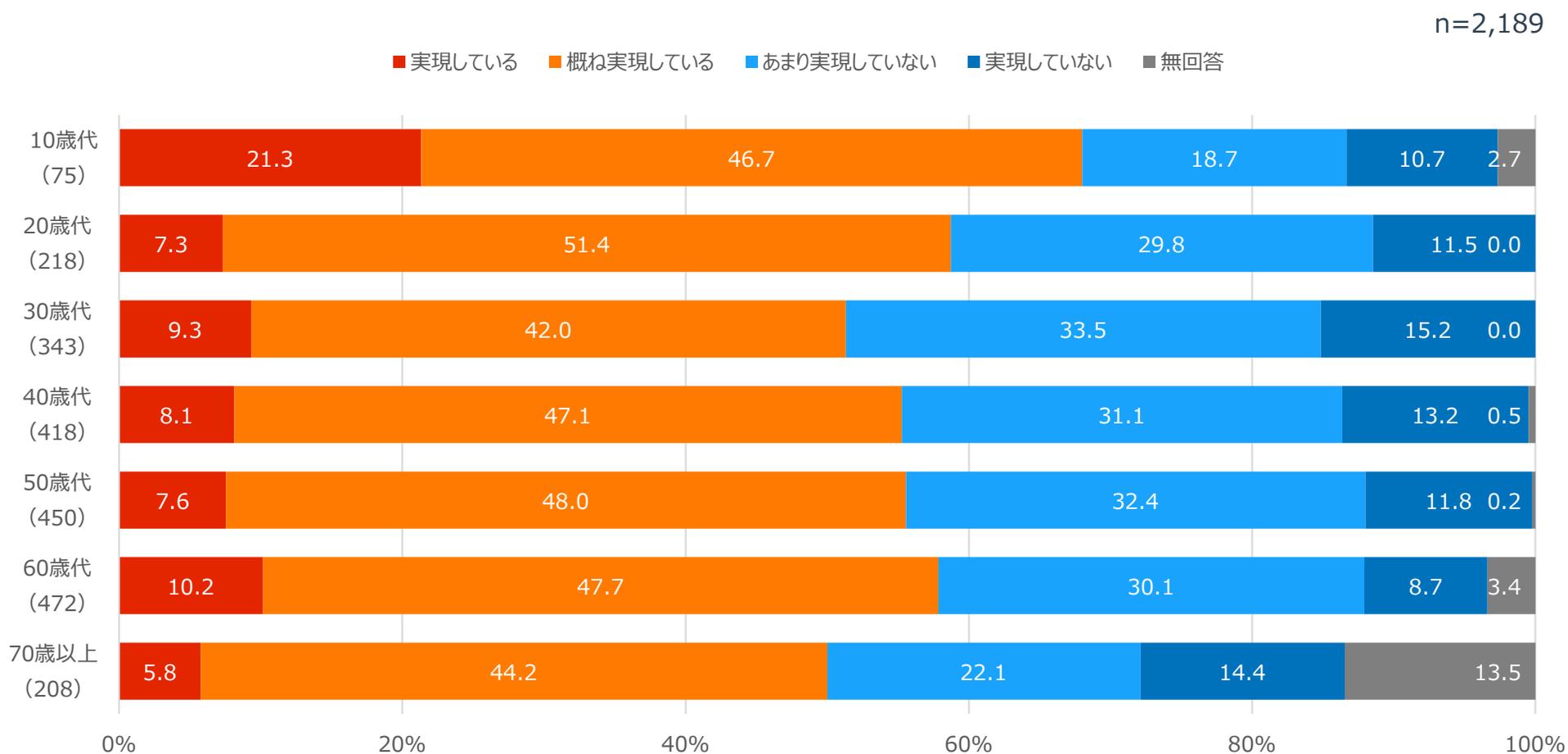


(※) ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和をとり、両方を充実させる働き方や生き方

ワーク・ライフ・バランス（年代別）

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかどうかを年代別に伺ったところ、10歳代では「実現している」と「概ね実現している」を合わせて68.0%と、最も実現できていると考える方の割合が高くなっていた。
- 30歳代では「実現している」と「概ね実現している」を合わせて51.3%となり、最も少ない割合であった。

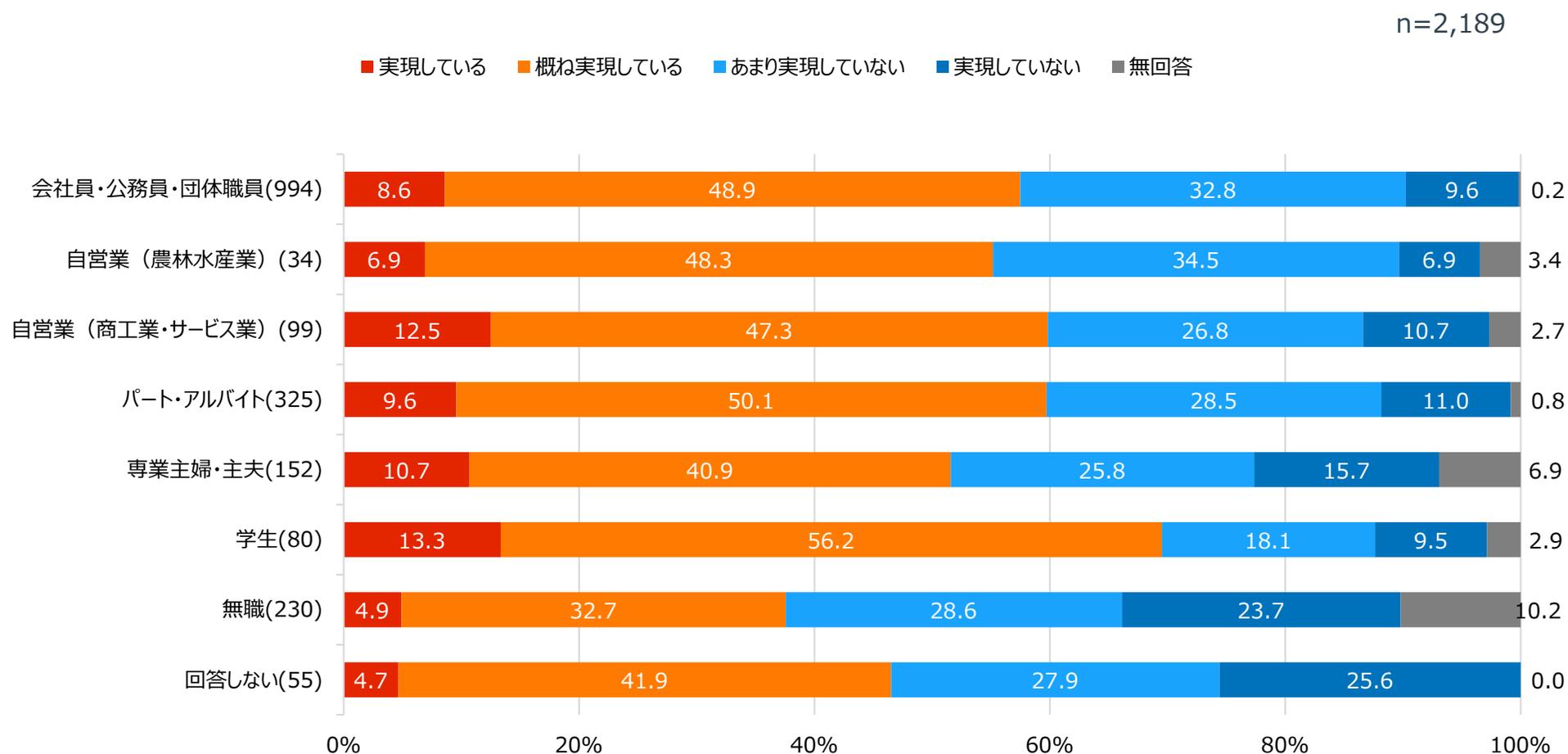
■年代別 ワーク・ライフ・バランスの実現



ワーク・ライフ・バランス（職業別）

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかどうか、職業別に伺ったところ、学生において、ワーク・ライフ・バランスが「実現している」と「概ね実現している」と答える方の割合が69.5%と最も多くなっていた。

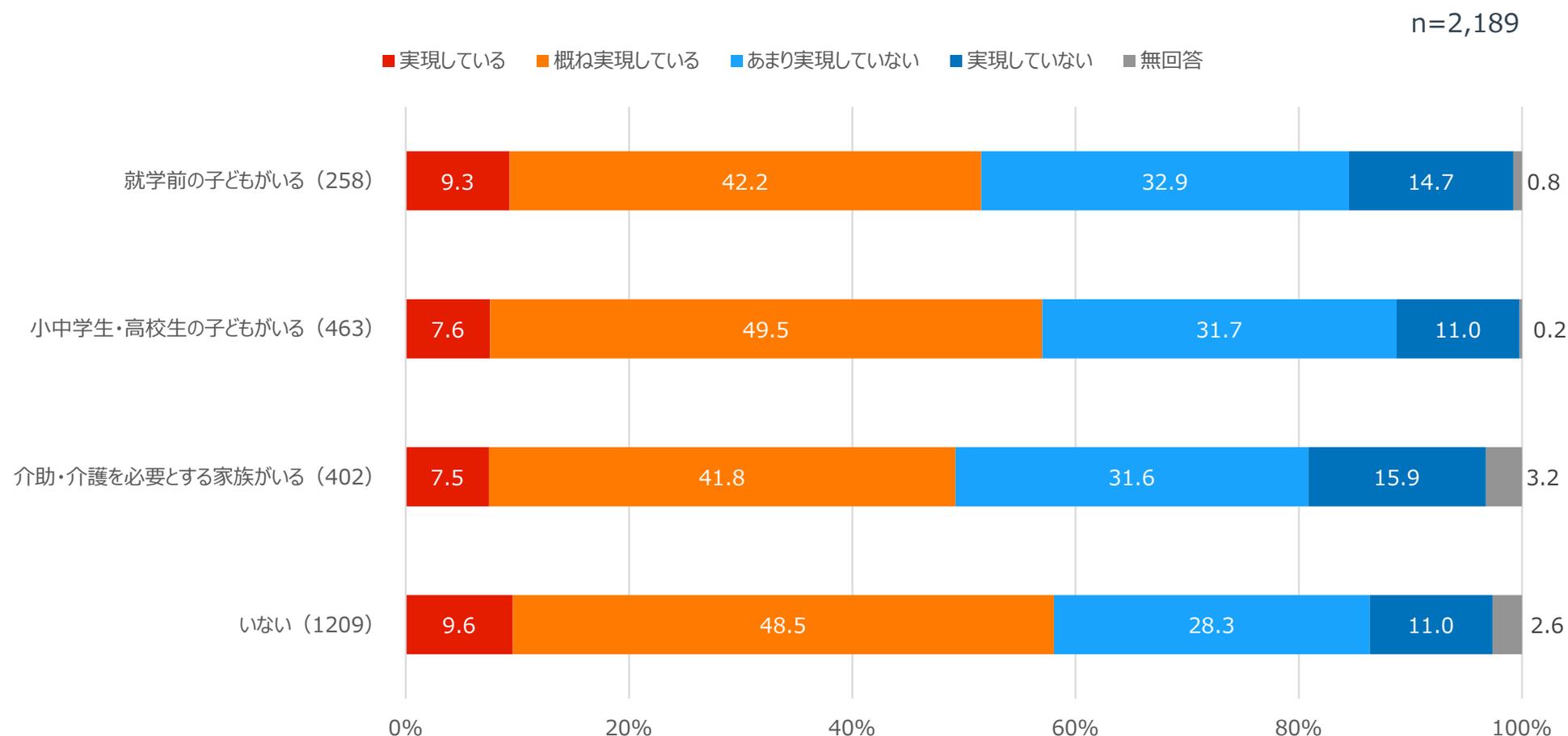
■ 職業別 ワーク・ライフ・バランスの実現



ワーク・ライフ・バランス（子育てや介護が必要な家族の有無別）

- 自分の望むワーク・ライフ・バランスを実現できているかを、子育てや介護が必要な家族の有無別に伺ったところ、「子育てや介護が必要な家族がない」と回答した方において、ワーク・ライフ・バランスが「実現している」と「概ね実現している」に回答する方の割合が最も少なくなっていた。

■ 子育てや介護が必要な家族の有無別 ワーク・ライフ・バランスの実現



人権

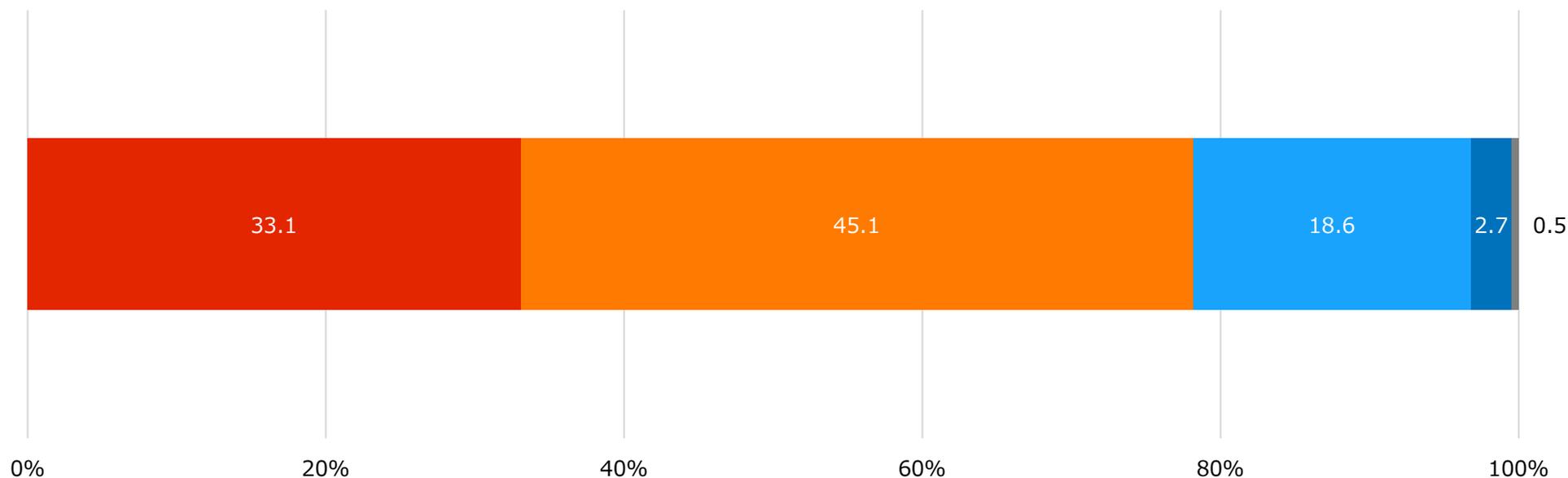
- 自分や周りの人の人権を意識しながら生活しているか伺った。
- その結果、「時々意識することがある」と回答した方が45.1%と最も多く、「いつも意識している」と回答した方を合わせると合計78.2%の方が概ね意識しているということが分かった。

■ 人権への意識

あなたは日頃、自分や周りの人の人権を意識しながら生活していますか。（択一選択）

n=2,189

■ いつも意識している ■ 時々意識することがある ■ あまり意識することはない ■ まったく意識していない ■ 無回答



4-2

子育て・教育・歴史文化などについて

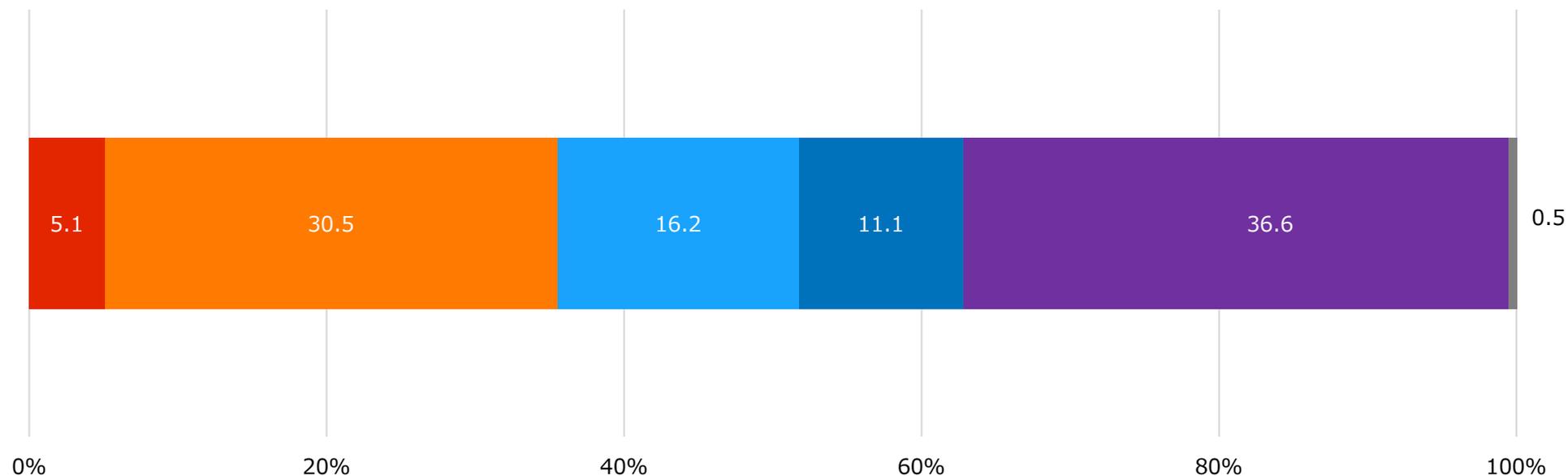
主体的な学び

- 公共施設で実施している生涯学習や子ども向けの講座など学校教育以外の主体的な学びの機会が充実しているか伺った。
- その結果、「充実している」と「やや充実している」を合わせた35.6%において概ね充実しているということが分かり、「やや充実していない」と「充実していない」を合わせた27.3%を上回った。

■ 主体的な学びの機会

あなたは、学校教育以外の主体的な学びの機会が充実していると思いますか。（例：公共施設で実施している生涯学習や子ども向けの講座）（択一選択） n=2,189

■ 充実している ■ やや充実している ■ やや充実していない ■ 充実していない ■ わからない ■ 無回答



運動・スポーツ

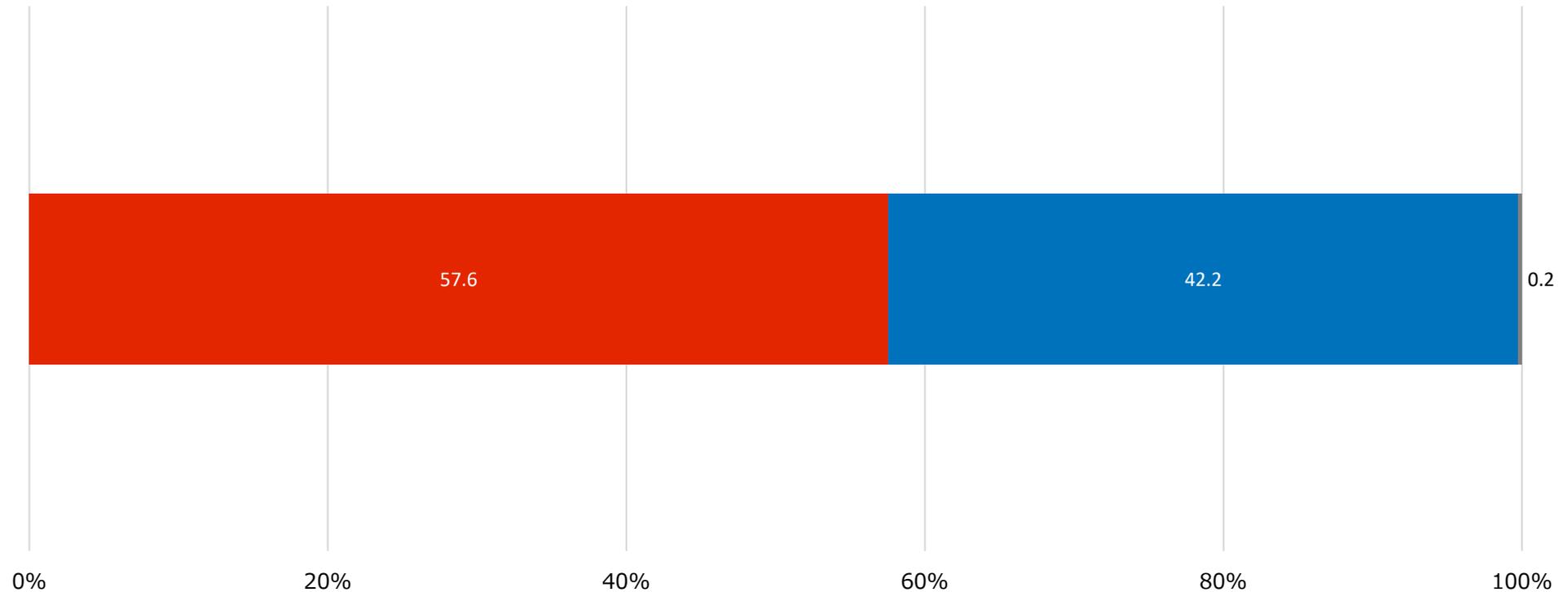
- 運動、スポーツ観戦、スポーツイベントのサポートなど、何らかの形で運動やスポーツに関わっているかを伺った。
- その結果、「関わったことがある」と回答した方が57.6%と、「関わっていない(42.2%)」と回答した方を上回ることが分かった。

■ 運動・スポーツへの関わり

あなたは、この1年間に何らかの形（する・みる・ささえる）で運動やスポーツに関わりましたか。（択一選択）

n=2,189

■ 関わったことがある ■ 関わっていない ■ 無回答



文化芸術

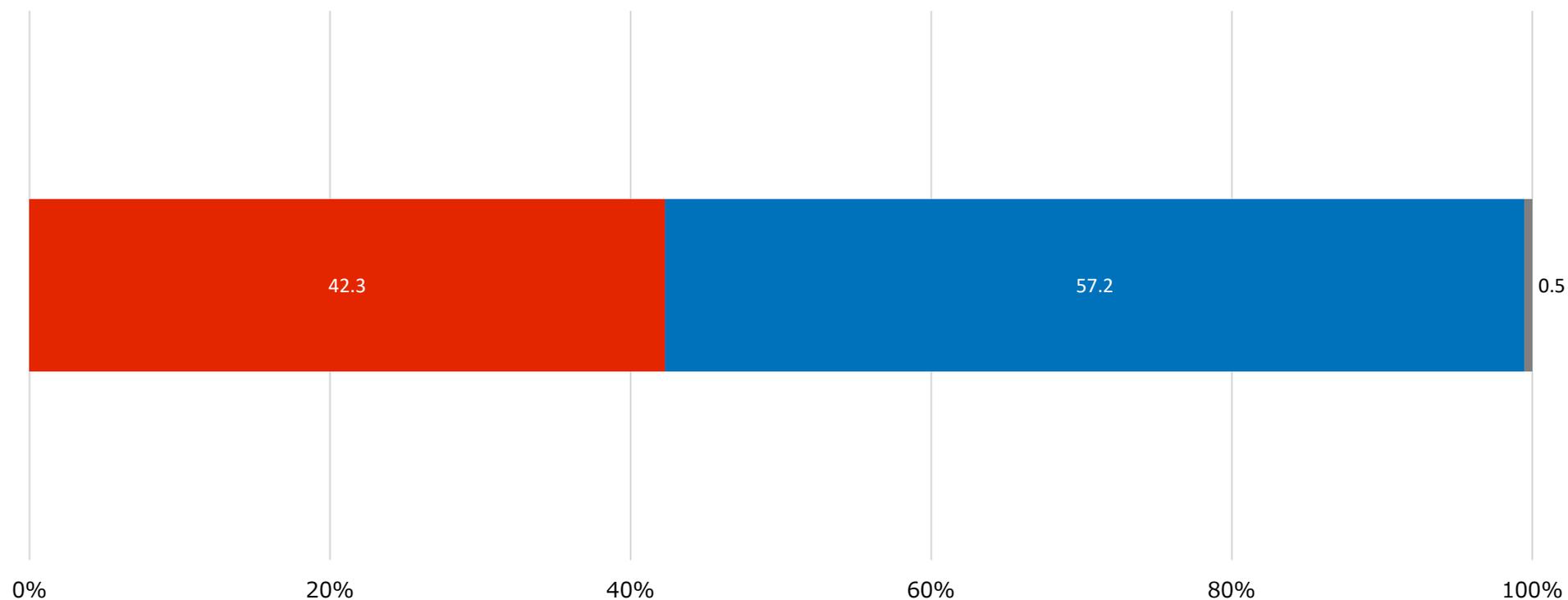
- 創作、鑑賞など、何らかの形で文化芸術に関わっているかを伺った。
- その結果、「関わっていない」と回答した方が57.2%と、「関わったことがある（42.3%）」と回答した方を上回ることが分かった。

■文化芸術への関わり

あなたは、この1年間に何らかの形（する・鑑賞する）で文化芸術に関わりましたか。（択一選択）

n=2,189

■ 関わったことがある ■ 関わっていない ■ 無回答



(※) ここでの文化芸術は、音楽、美術、演劇、舞踊、茶道、華道、書道

戦争・平和

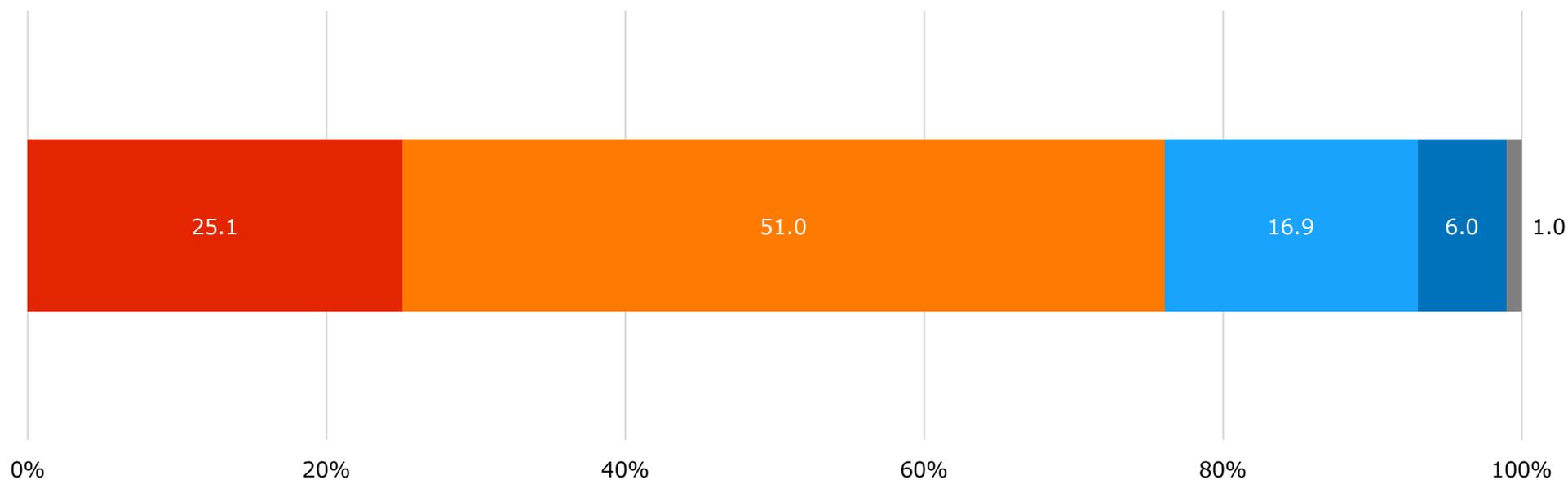
- 戦争や平和について考えたり、祈ったりする取り組みに参加できる機会が提供されているかを伺った。
- その結果、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が合わせて76.1%と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した方を合わせた22.9%を大きく上回った。

■戦争・平和についての取り組み

長岡市では、戦争や平和について考えたり、祈ったりする取り組みに参加できる機会が提供されていると思いますか。（択一選択）

n=2,189

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



歴史・文化

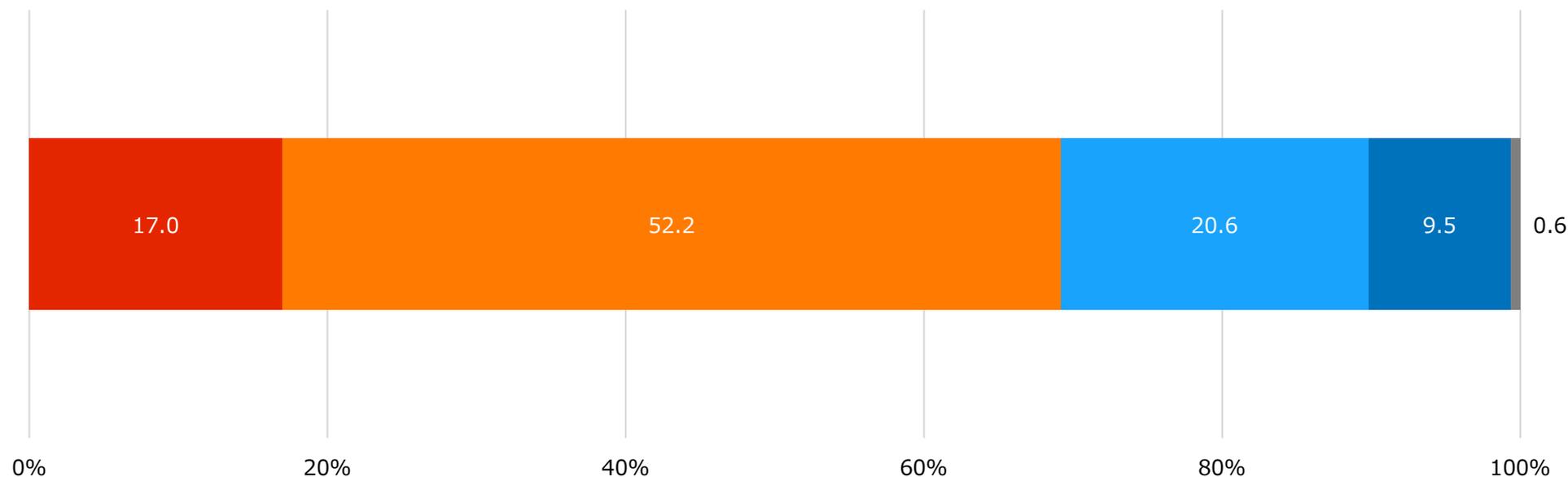
- 長岡市の歴史や文化に愛着を感じているかを伺った。
- その結果、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が合わせて69.2%と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した方の30.1%を大きく上回った。

■ 歴史や文化への愛着

あなたは長岡市の歴史や文化に愛着を感じていますか。（択一選択）

n=2,189

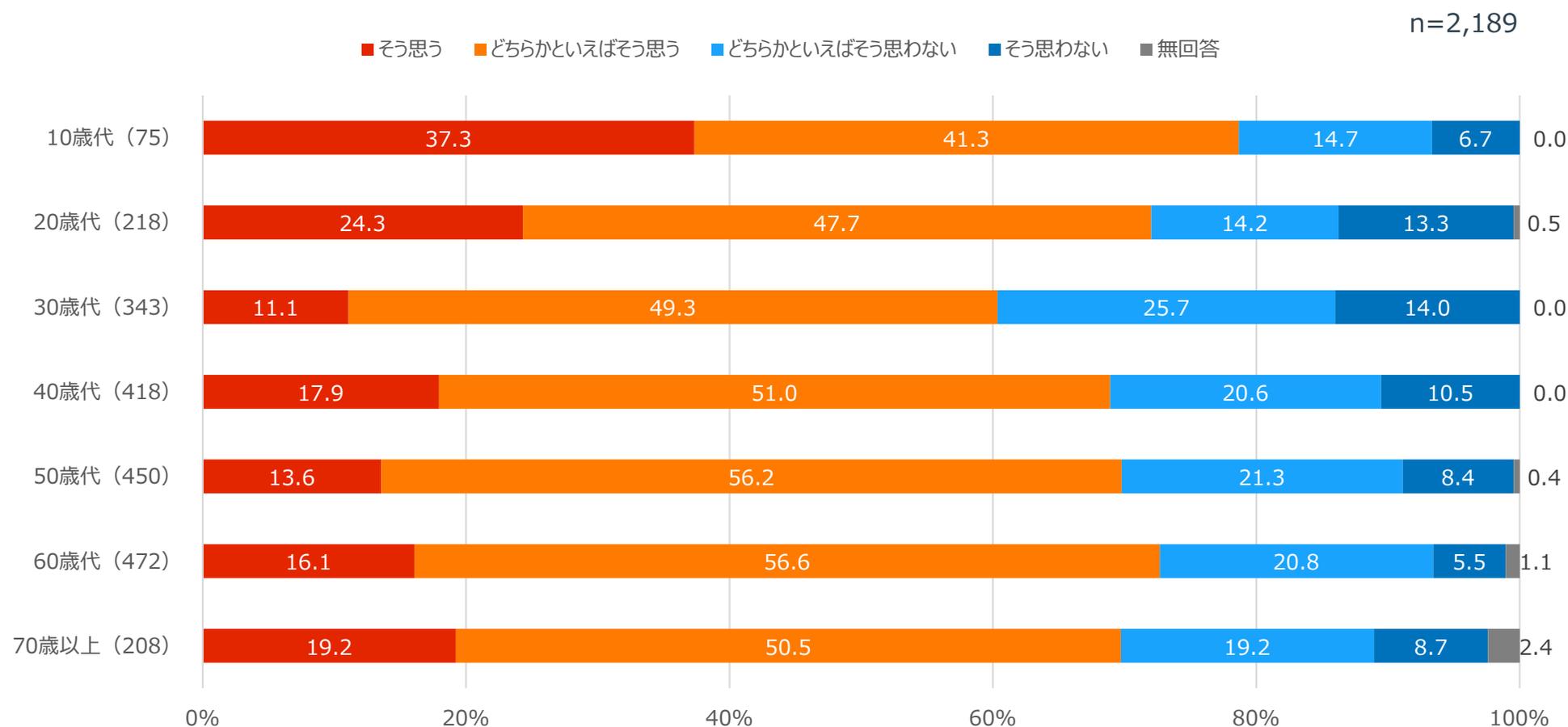
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



歴史・文化（年代別）

- 長岡市の歴史や文化に愛着を感じているかを年代別に伺った。
- その結果、10歳以上において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した方が合わせて78.6%と最も多く、30歳代においては60.4%と最も少ないことが分かった。

■年代別 歴史や文化への愛着



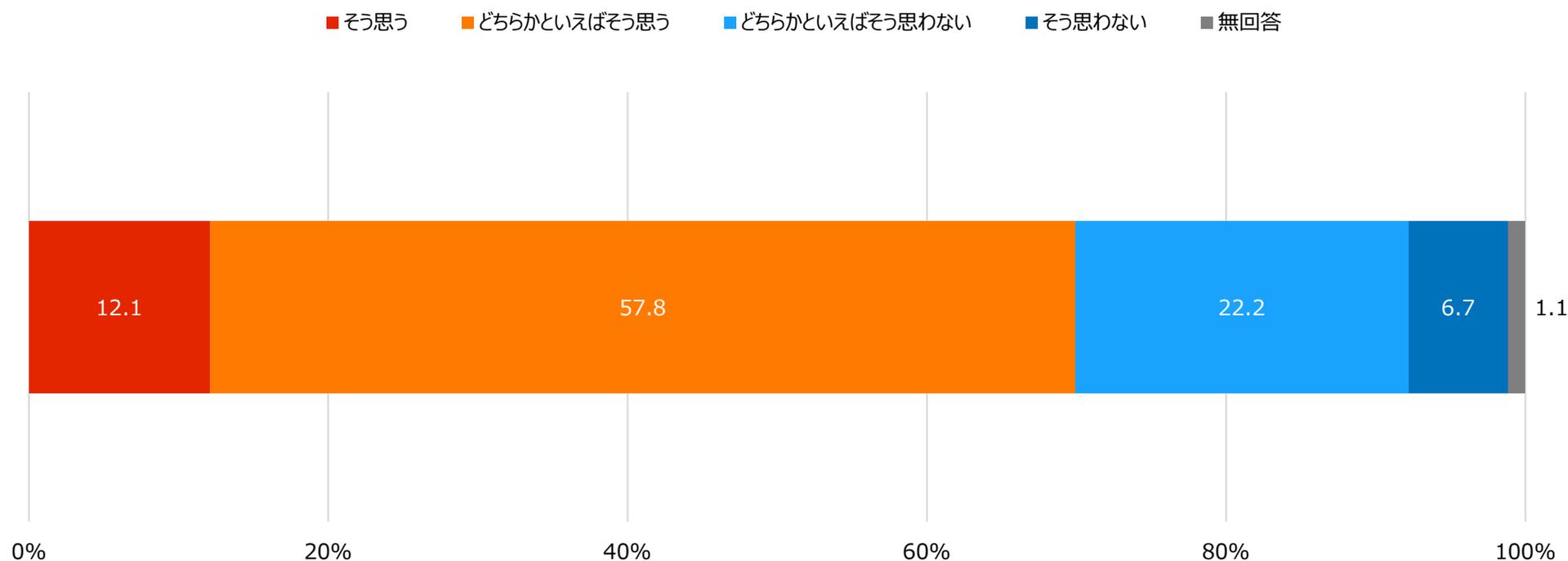
子育て・見守りの状況

- 自分の住む地域について、地域みんなでの子育てや児童の見守りが行われていると感じるか質問した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が69.9%と、過半数以上が子育て・教育環境に前向きな印象を持っていることが分かった。

■ 子育て・教育環境

あなたは、自分の住む地域について、地域みんなでの子育てや児童の見守りが行われていると感じますか。（択一選択）

n=2,189



4-3

福祉や健康などについて

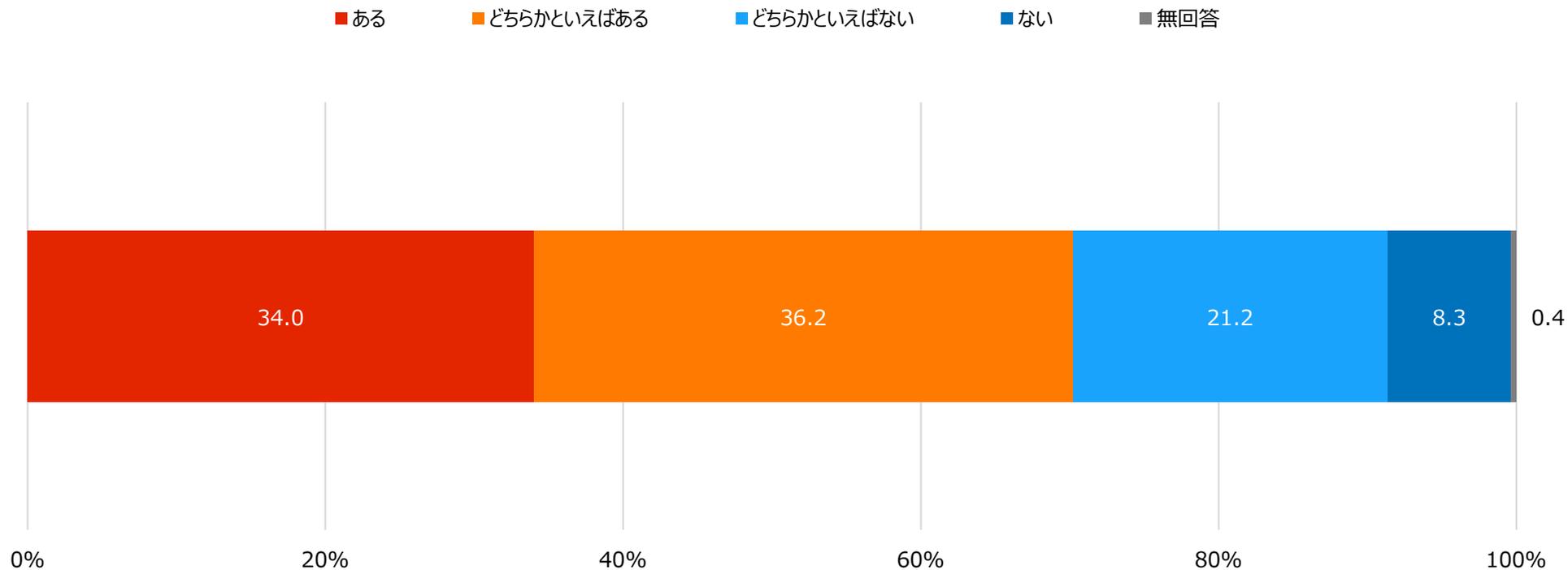
経済的な不安

- 現在、経済的な不安があるか質問した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計が70.2%と、過半数以上が経済的な不安を感じている結果となった。

■ 経済的な不安

あなたは現在、経済的な不安がありますか。（択一選択）

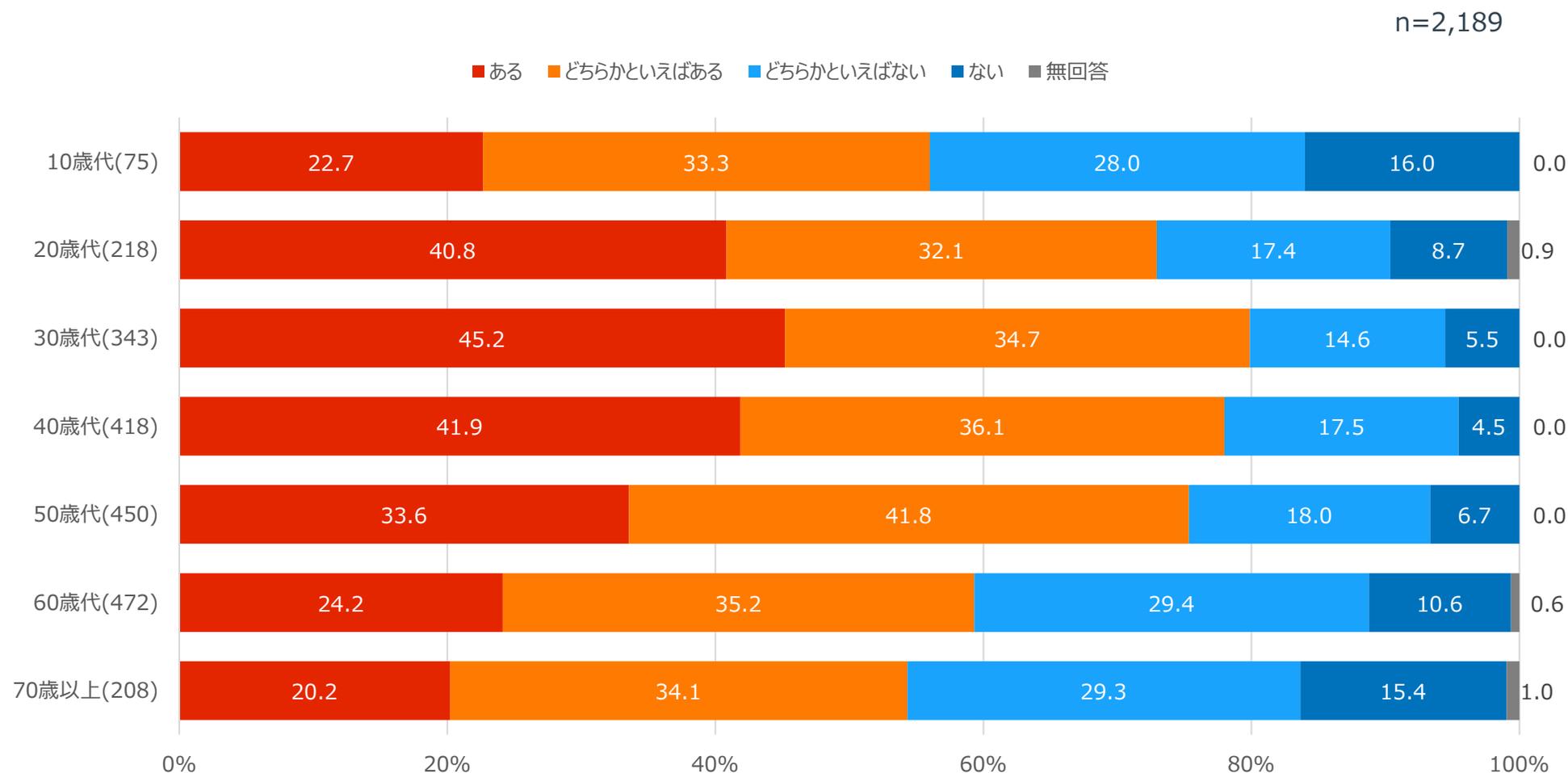
n=2,189



経済的な不安（年代別）

- 現在、経済的な不安があるかの回答について年代別に確認した。
- その結果、どの年代でも「ある」「どちらかといえばある」の合計が過半数を超える結果となった。「ある」「どちらかといえばある」の合計が最も高かったのは30歳代で、79.9%だった。

■年代別 経済的な不安

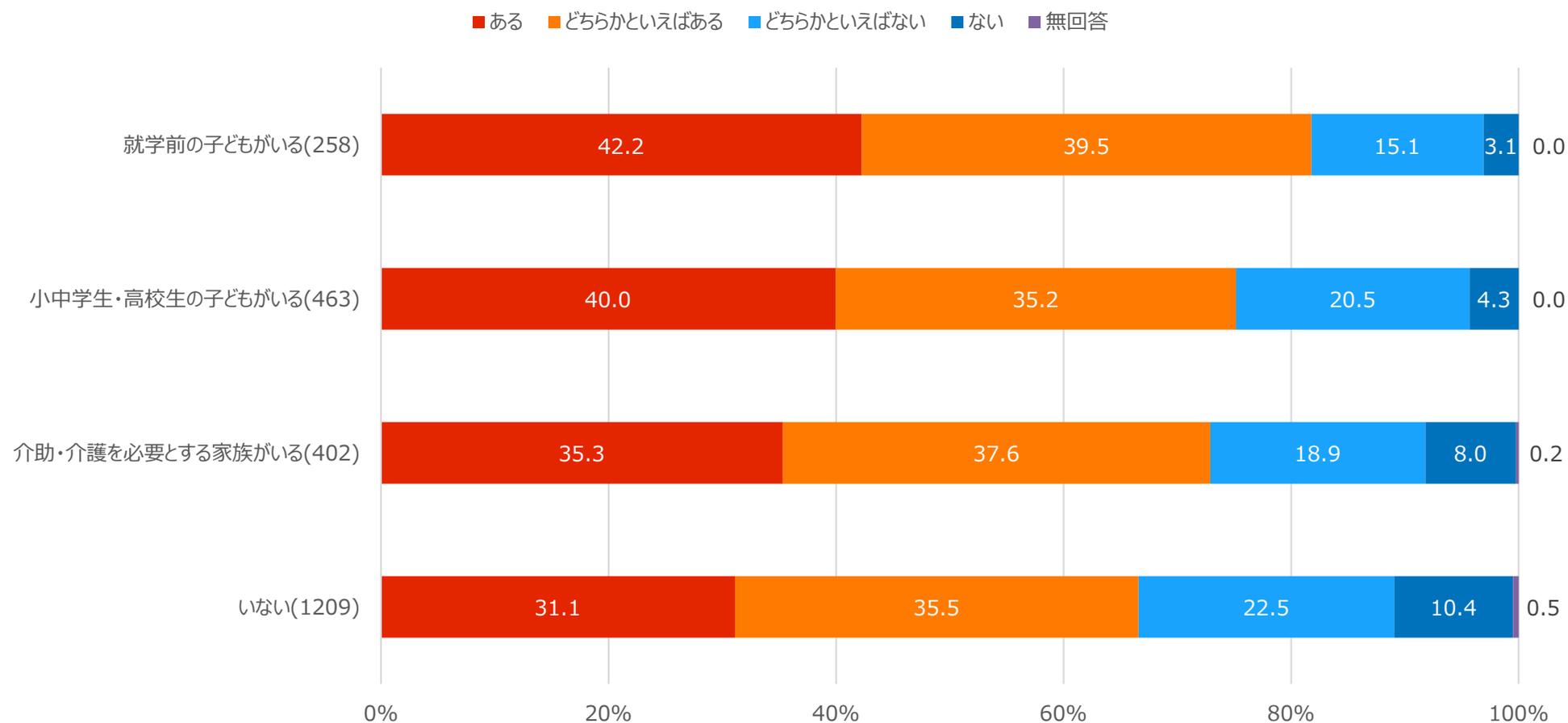


経済的な不安（子育て・介護が必要な家族の有無別）

- 現在、経済的な不安があるかの回答について、子育て・介護が必要な家族の有無別に確認した。
- その結果、就学前の子どもがいる、小中学生・高校生の子どもがいる世帯の「ある」「どちらかといえばある」の割合は、介助・介護を必要とする家族がいる世帯、いない世帯よりやや高い結果となった。

■ 子育て・介護が必要な家族の有無別 経済的な不安

n=2,189



助け合える関係性があるか

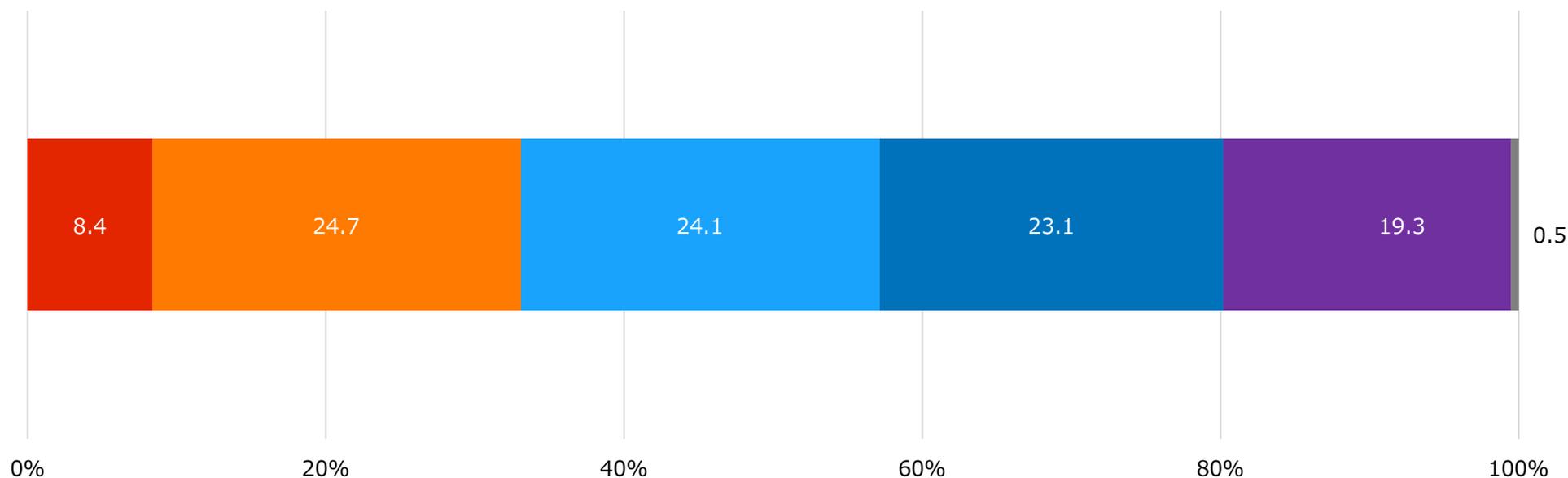
- 生活で困ったことがあった際に気軽に相談できる場所や機関があるかについて質問した。
- その結果、「ない」「どちらかといえばない」の合計が47.2%と、「ある」「どちらかといえばある」の合計33.1%を上回る結果となった。

■ 助け合える関係性があるか

あなたは、生活で困ったことがあった際に気軽に相談できる場所や機関がありますか。（択一選択）

n=2,189

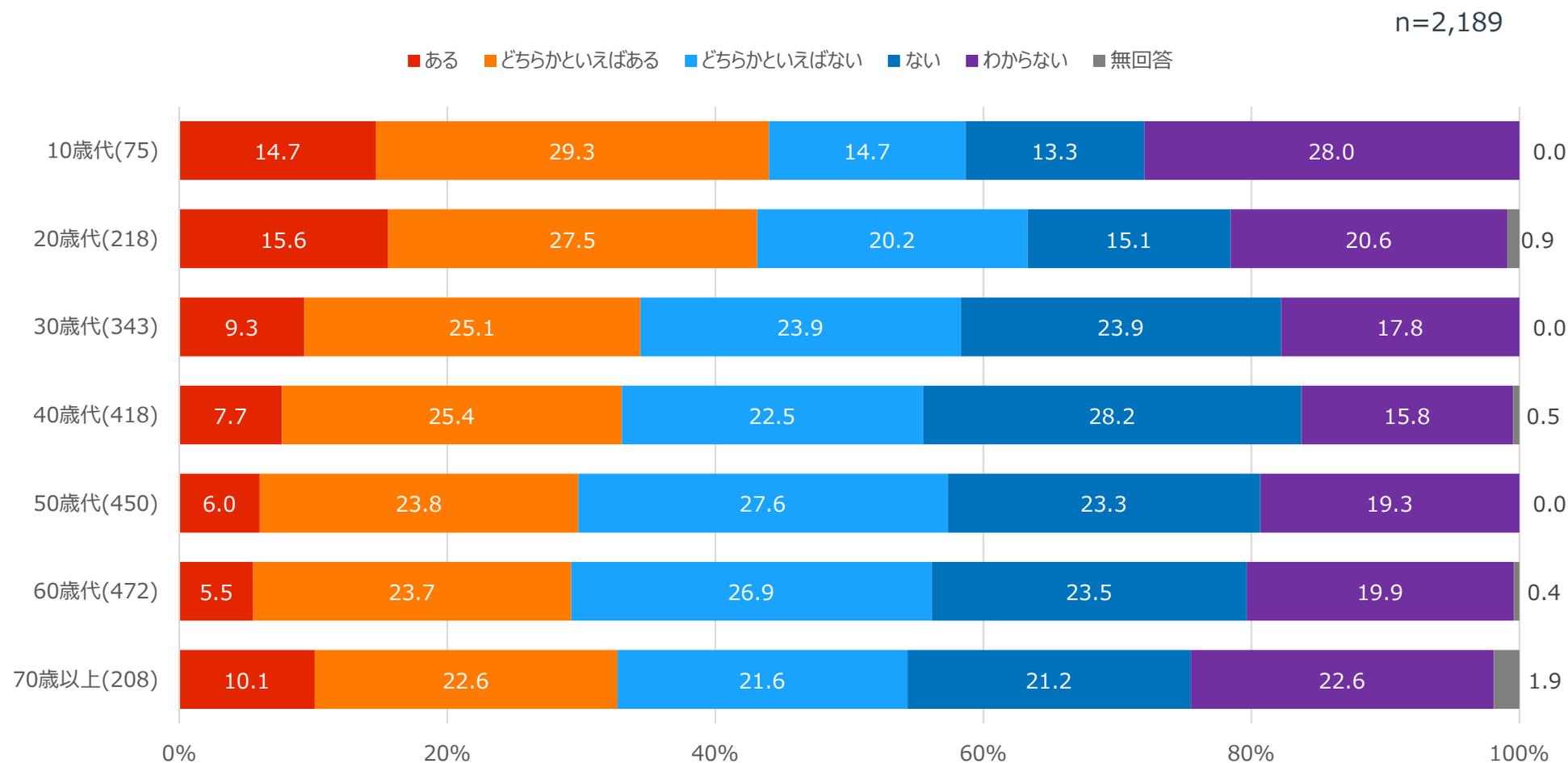
■ ある ■ どちらかといえばある ■ どちらかといえばない ■ ない ■ わからない ■ 無回答



助け合える関係性があるか（年代別）

- 生活で困ったことがあった際の相談場所や機関があるかの回答について、年代別に確認した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計が「ない」「どちらかといえばない」の合計を上回ったのは10歳代と20歳代のみで、30歳代以上では、「ない」「どちらかといえばない」の合計が「ある」「どちらかといえばある」の合計を上回る結果となった。

■年代別 助け合える関係性があるか

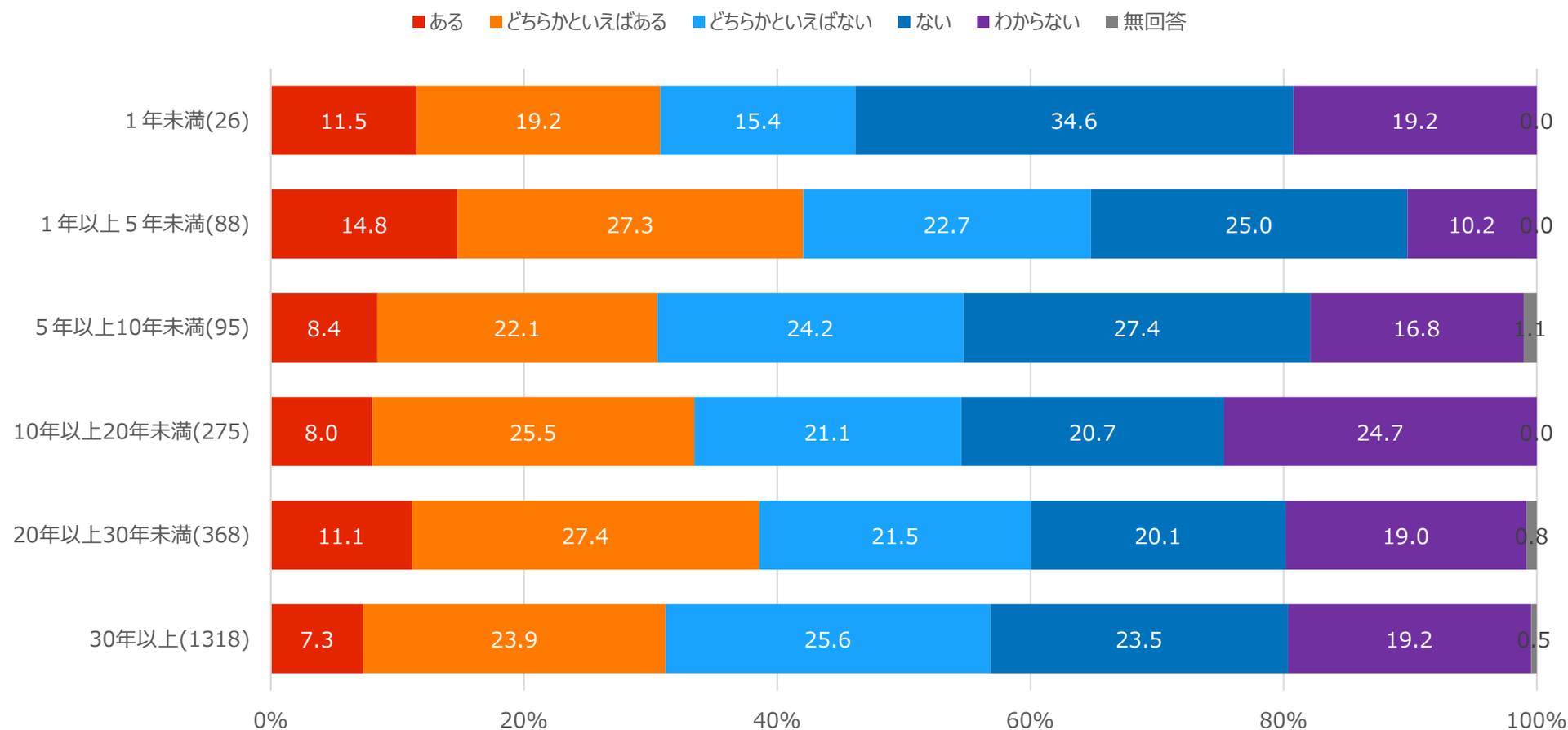


助け合える関係性があるか（居住年数別）

- 生活で困ったことがあった際の相談場所や機関があるかの回答について、居住年数別に確認した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計が「1年以上5年未満」は42.1%であるのに対し、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「30年以上」は3割程度であり、居住年数によって差が生じている。

■ 居住年数別 助け合える関係性があるか

n=2,189

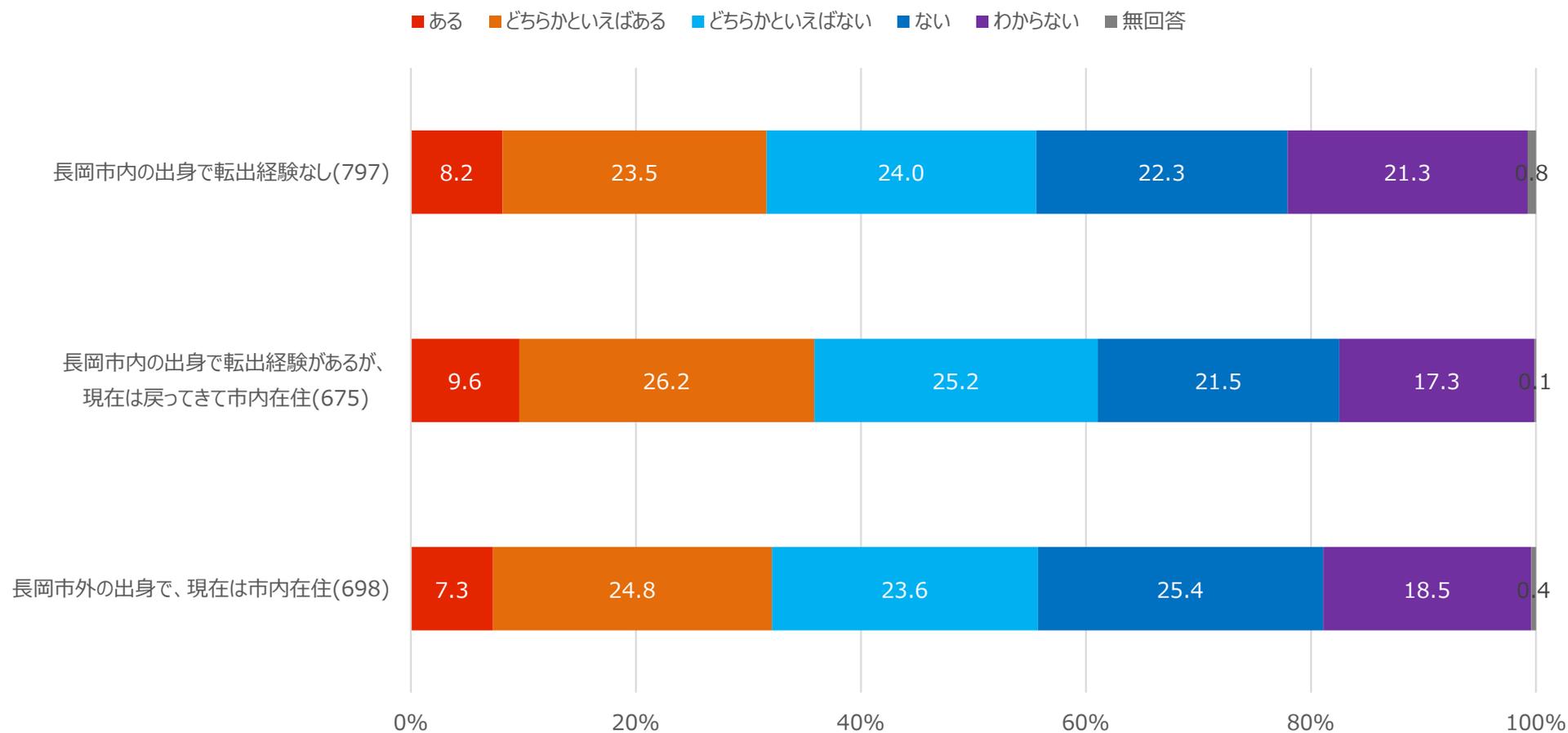


助け合える関係性があるか（転居経験別）

- 生活で困ったことがあった際の相談場所や機関があるかの回答について、転居経験別に確認した。
- その結果、転居経験に関係なく、「ない」「どちらかといえばないの合計が、「ある」「どちらかといえばある」の合計を上回る結果となった。

■ 転居経験別 助け合える関係性があるか

n=2,189



地域でのボランティア活動への協力・参加への関心

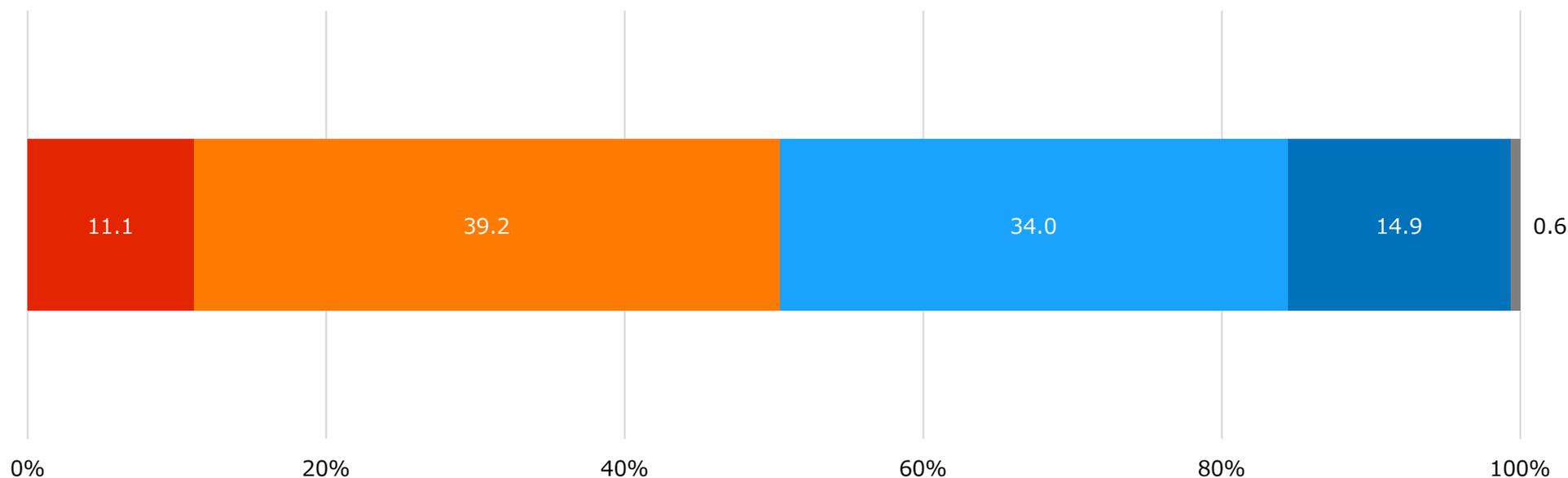
- 地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加に関心があるかについて質問した。
- 「ある」「どちらかといえばある」の合計が50.3%、「ない」「どちらかといえばない」の合計が48.9%と、関心ありとなしはほぼ同割合であった。

■ 地域でのボランティア活動への協力・参加への関心

あなたは、地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加などに関心がありますか。（択一選択）

n=2,189

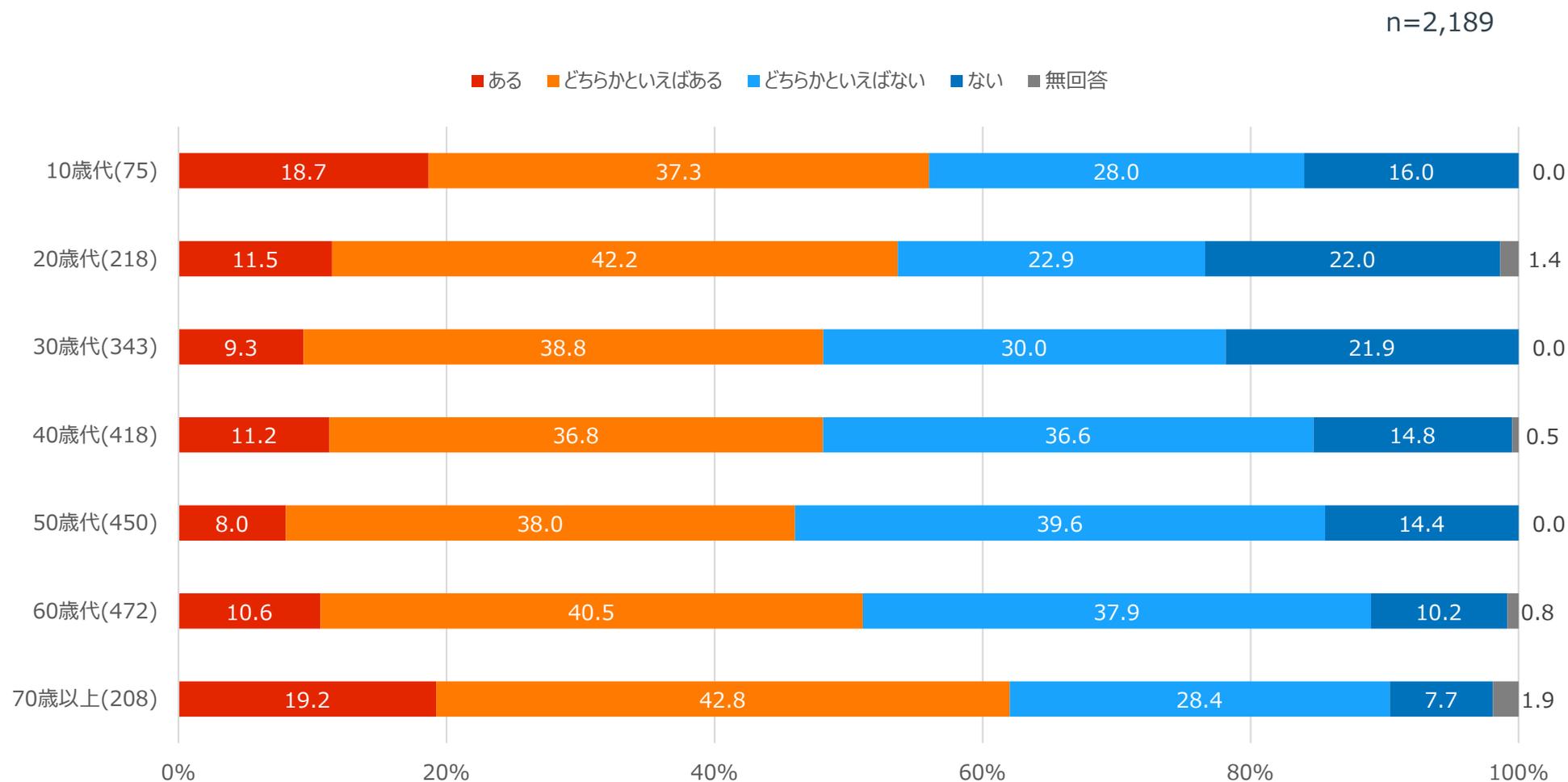
■ ある ■ どちらかといえばある ■ どちらかといえばない ■ ない ■ 無回答



地域でのボランティア活動への協力・参加への関心（年代別）

- 地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加に関心があるかの回答について、年代別に確認した。
- その結果、「ある」「どちらかといえばある」の回答については、70歳以上、10歳以上、60歳代の順に多い結果となった。一方、「ない」「どちらかといえばない」の回答については、50歳代、40歳代、30歳代の順に多い結果となった。

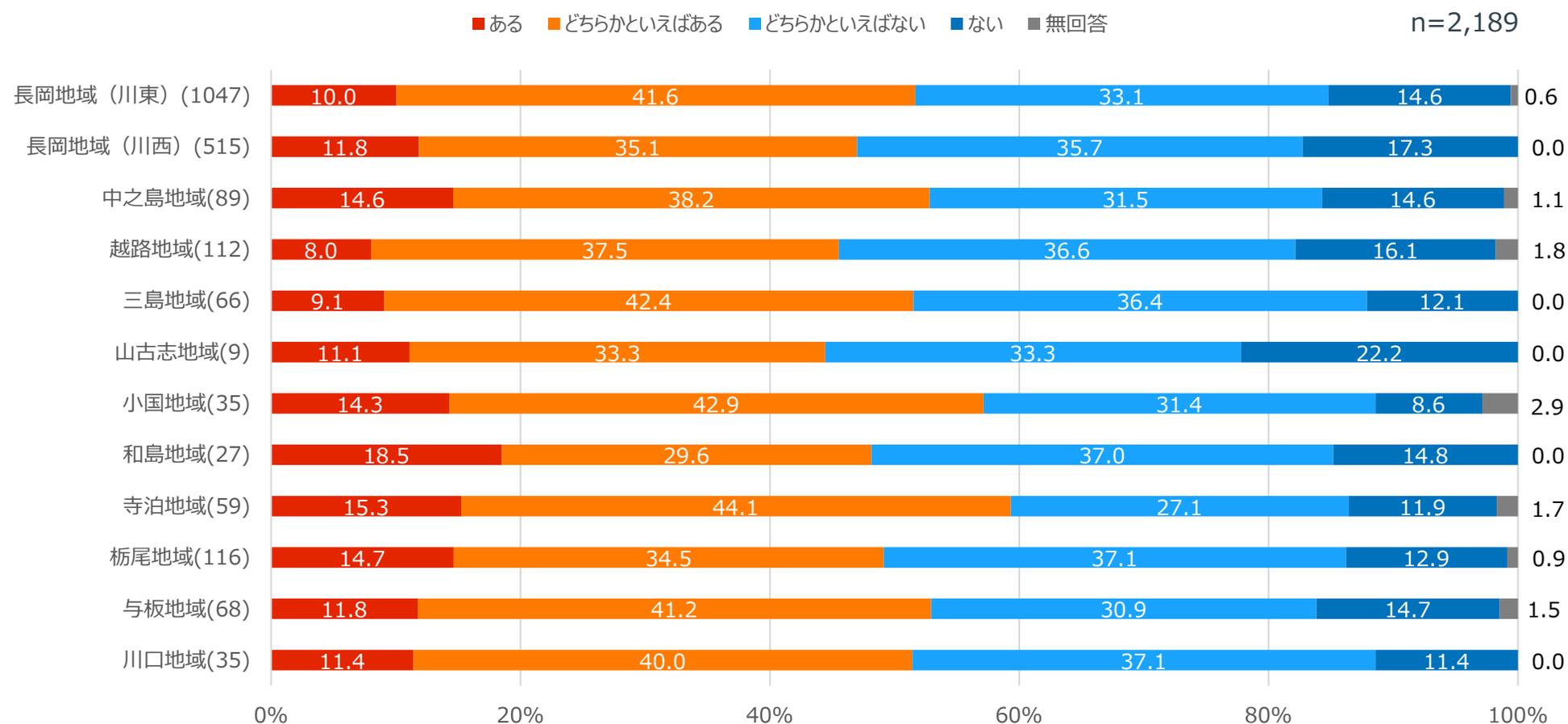
■年代別 地域でのボランティア活動への協力・参加への関心



地域でのボランティア活動への協力・参加への関心（居住地域別）

- 地域での助け合いやボランティア活動への協力・参加に関心があるかの回答について、居住地域別に確認した。
 - その結果、「ある」「どちらかといえばある」の合計は、寺泊地域、小国地域、与板地域の順に高かった。一方、「ない」「どちらかといえはない」の合計は、山古志地域、長岡地域（川西）、越路地域の順に高かった。
- ※山古志地域は特にn数が少ないため留意が必要

■居住地域別 地域でのボランティア活動への協力・参加への関心



居住地で高齢になっても安心して生活し続けられるか

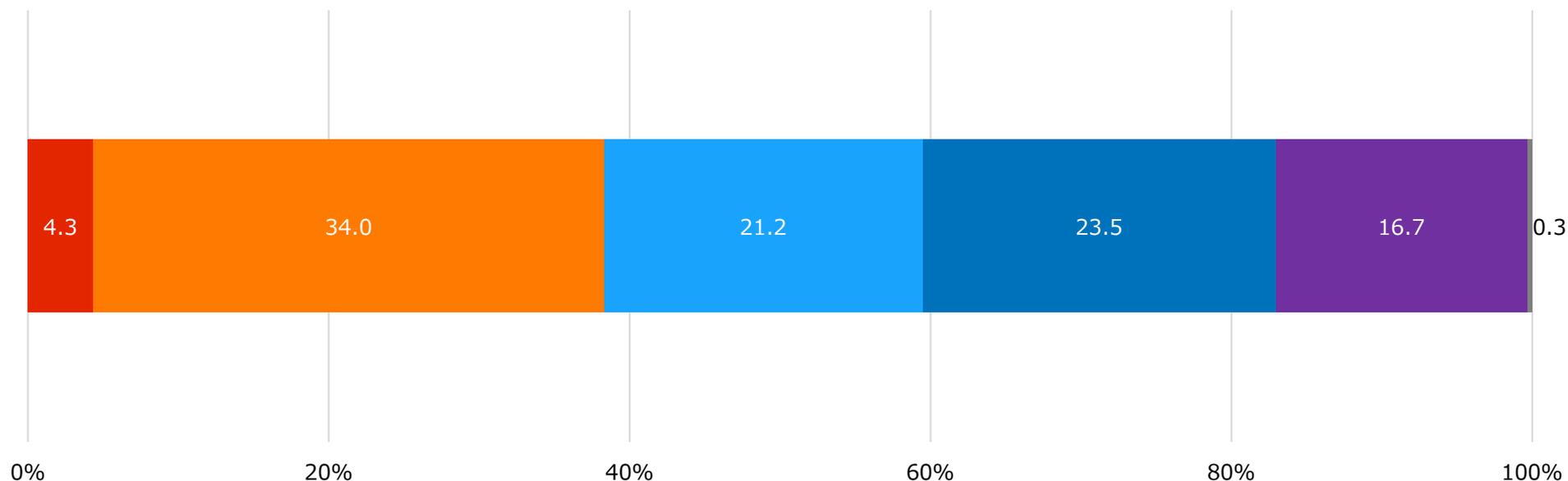
- 現在住んでいる地域で高齢になっても安心して生活し続けられるかについて質問した。
- その結果、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が44.7%、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が38.3%を若干上回り、少し不安や懸念があることが見受けられた。

■居住地で高齢になっても安心して生活し続けられるか

あなたは、今お住いの住居、地域において、高齢になっても安心して生活し続けられると思いますか。（択一選択）

n=2,189

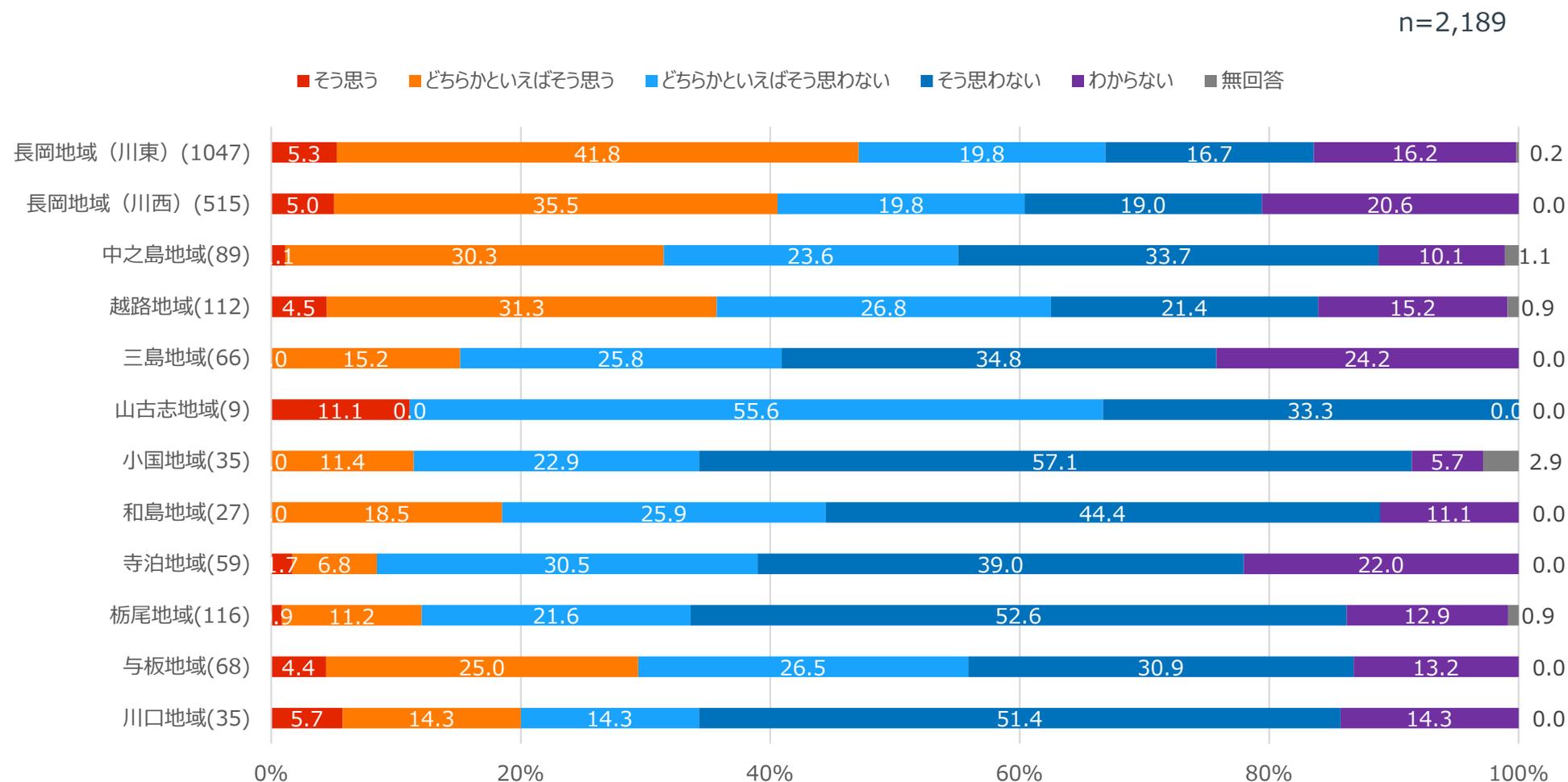
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



居住地域で高齢になっても安心して生活し続けられるか（居住地域別）

- 現在住んでいる地域で高齢になっても安心して生活し続けられるかについて、居住地域別に確認した。
 - その結果、長岡地域では「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計が最も高かったのは長岡地域（川東）であった。一方、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」の合計は、小国地域、栃尾地域、山古志地域が高かった。
- ※山古志地域は特にn数が少ないため留意が必要

■居住地域別 居住地域で高齢になっても安心して生活し続けられるか



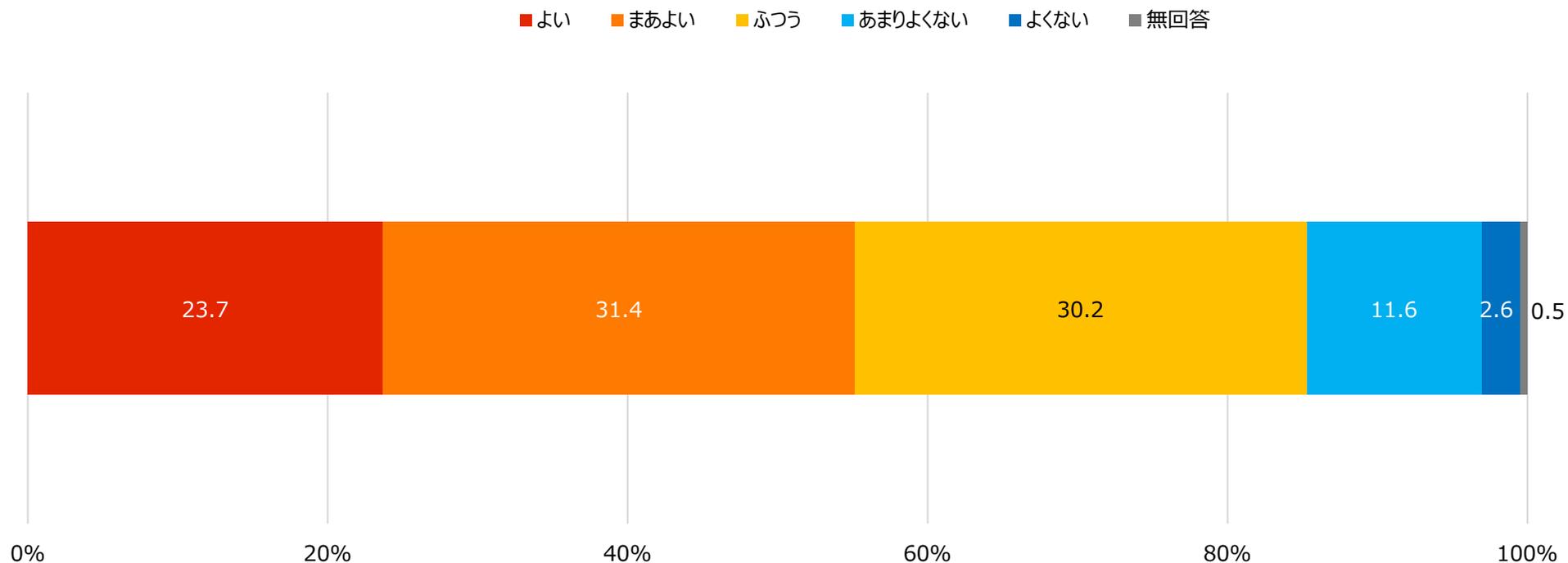
現在の健康状況

- 現在の健康状況について質問した。
- その結果、「よい」、「まあよい」、「ふつう」の合計が85.3%であり、比較的健康状態がよいことが分かった。

■現在の健康状況

あなたの現在の健康状況はいかがですか。（択一選択）

n=2,189

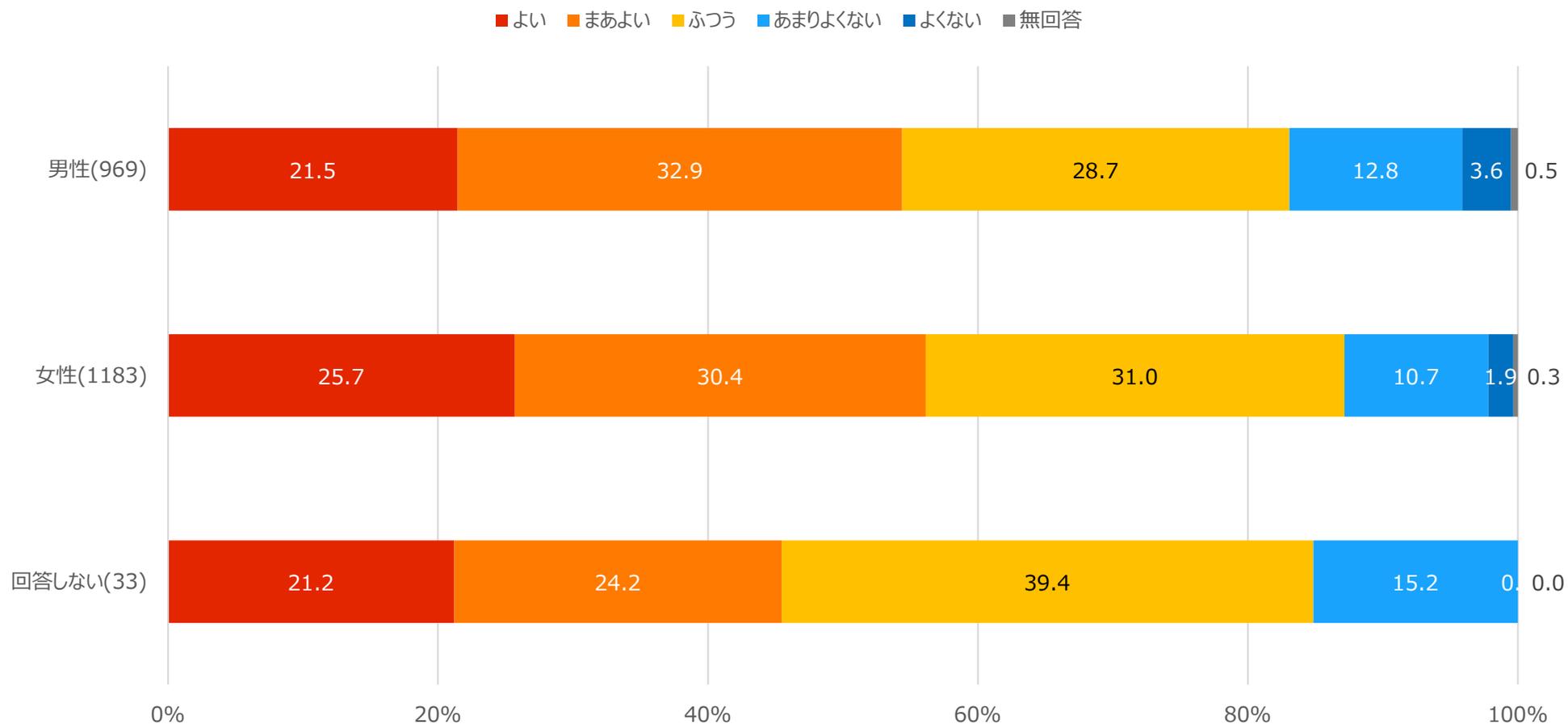


現在の健康状況（性別）

- 現在の健康状況の回答について性別に確認した。
- その結果、男女ともに「よい」「まあよい」の合計が「よくない」「あまりよくない」の合計を上回る結果となった。

■性別 現在の健康状況

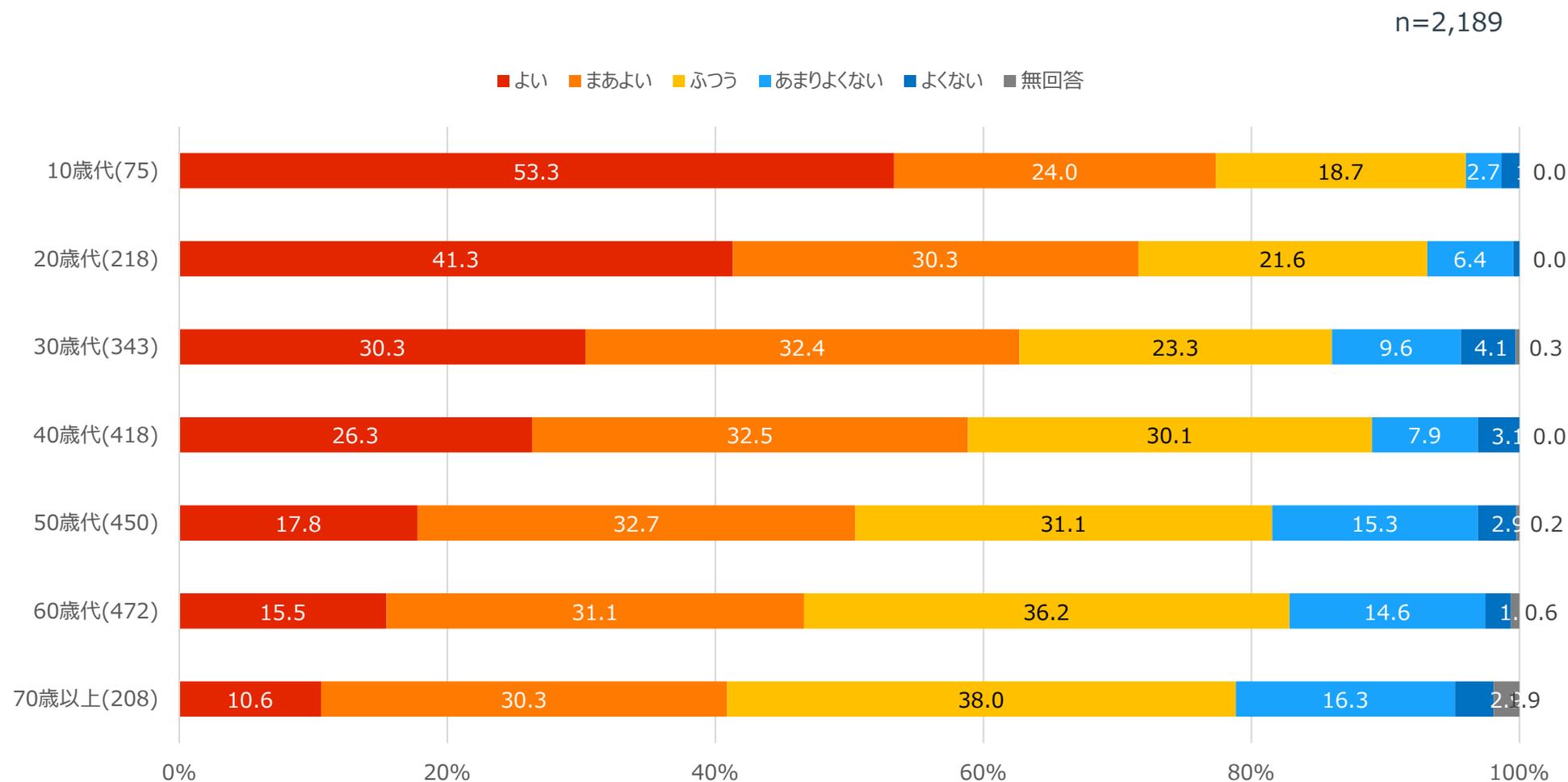
n=2,189



現在の健康状況（年代別）

- 現在の健康状況の回答について年代別に確認した。
- その結果、「よい」「まあよい」の合計は10歳代、20歳代、30歳代の順に多く、年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向であった。

■年代別 現在の健康状況



4-4

環境について

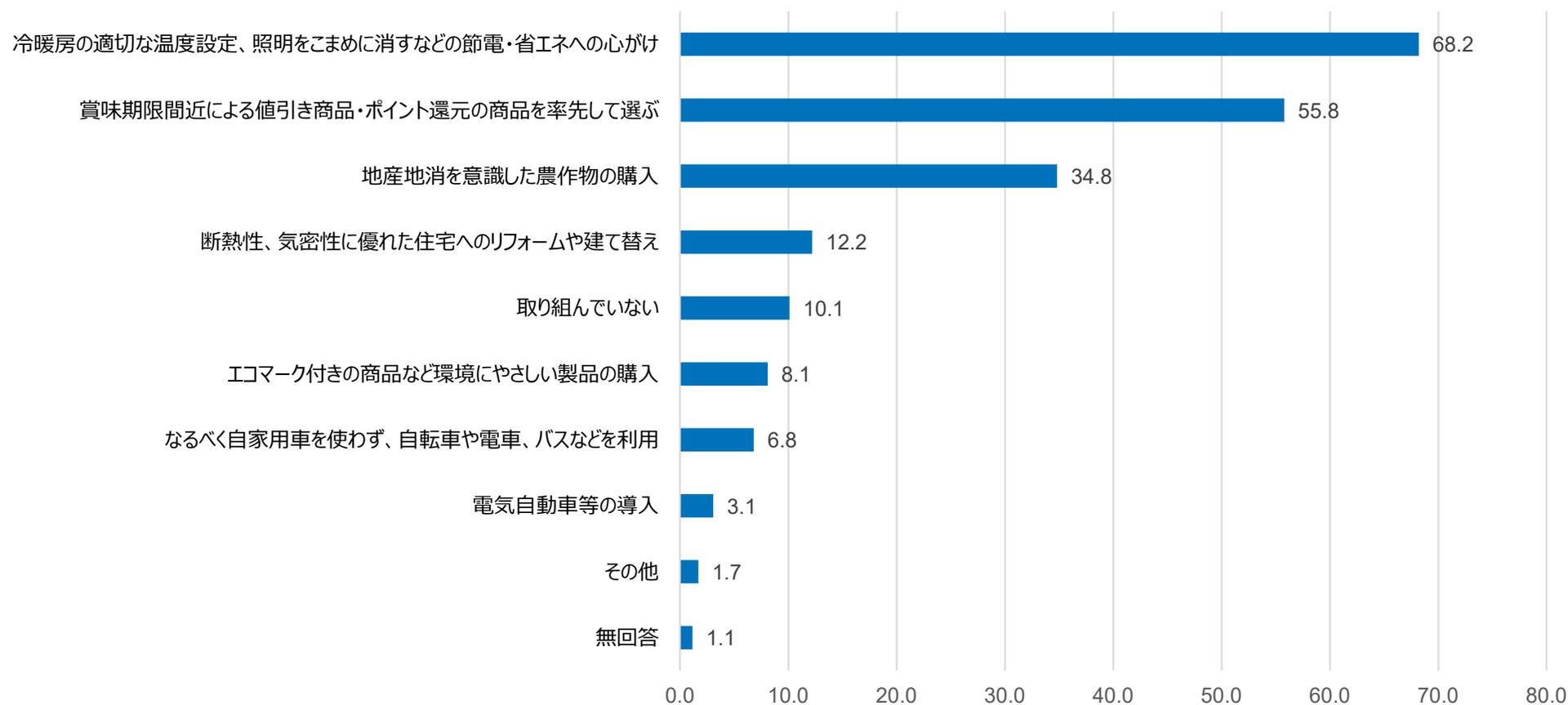
日常生活における脱炭素社会に向けた取組

- 回答者の日常生活における脱炭素社会に向けた取組について、複数回答で質問した。
- その結果、「節電・省エネへの心がけ（68.2%）」、「賞味期限の近い商品やポイント還元のある商品の選択（55.8%）」、「地産地消を意識した農作物の購入（34.8%）」といった取組が上位にあがった。

■ 日常生活における脱炭素社会に向けた取組

日常生活の中における脱炭素社会に向けた取り組みについて、あなたに当てはまるものを選択してください。（複数選択）

n=2,189



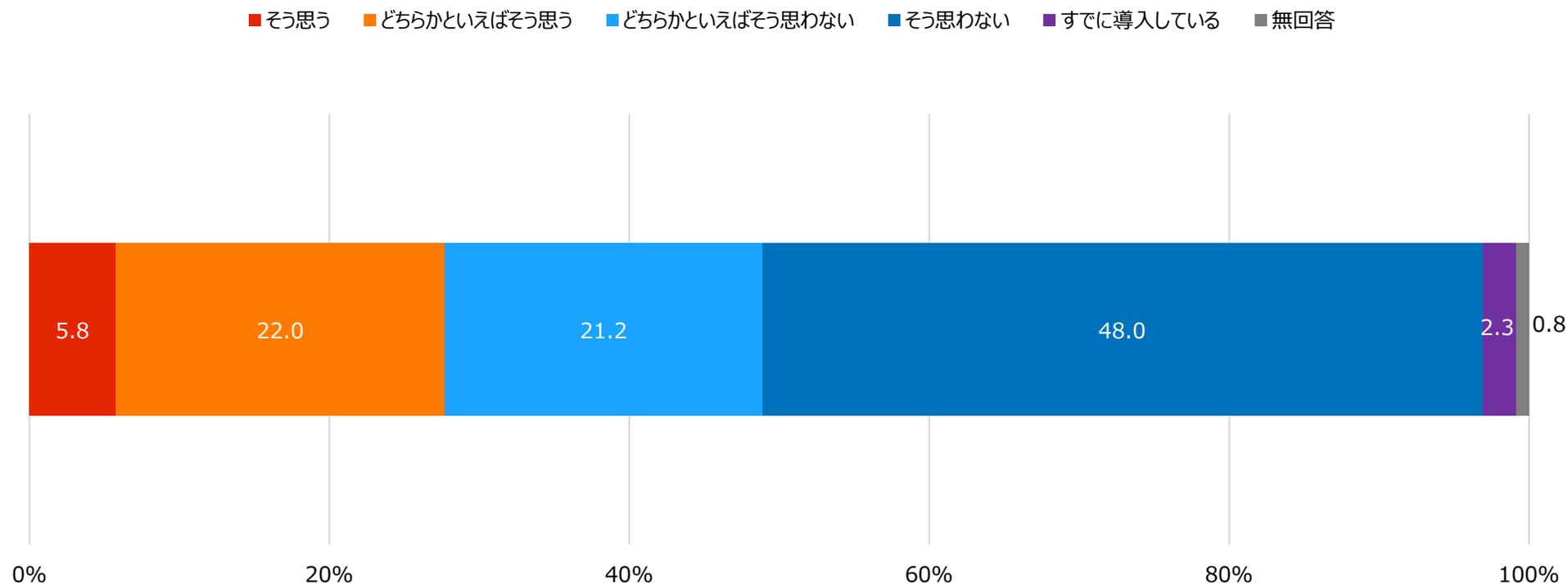
太陽光発電設備を導入したいと思うか

- 太陽光発電設備を導入したいと思うかについて質問した。
- その結果、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が69.2%で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計27.8%を大きく上回る結果となった。

■ 太陽光発電設備を導入したいと思うか

あなたは、太陽光発電設備を導入したいと思いますか。（択一選択）

n=2,189



4-5

交通や住環境について

市内の高速道路や幹線道路へのアクセス

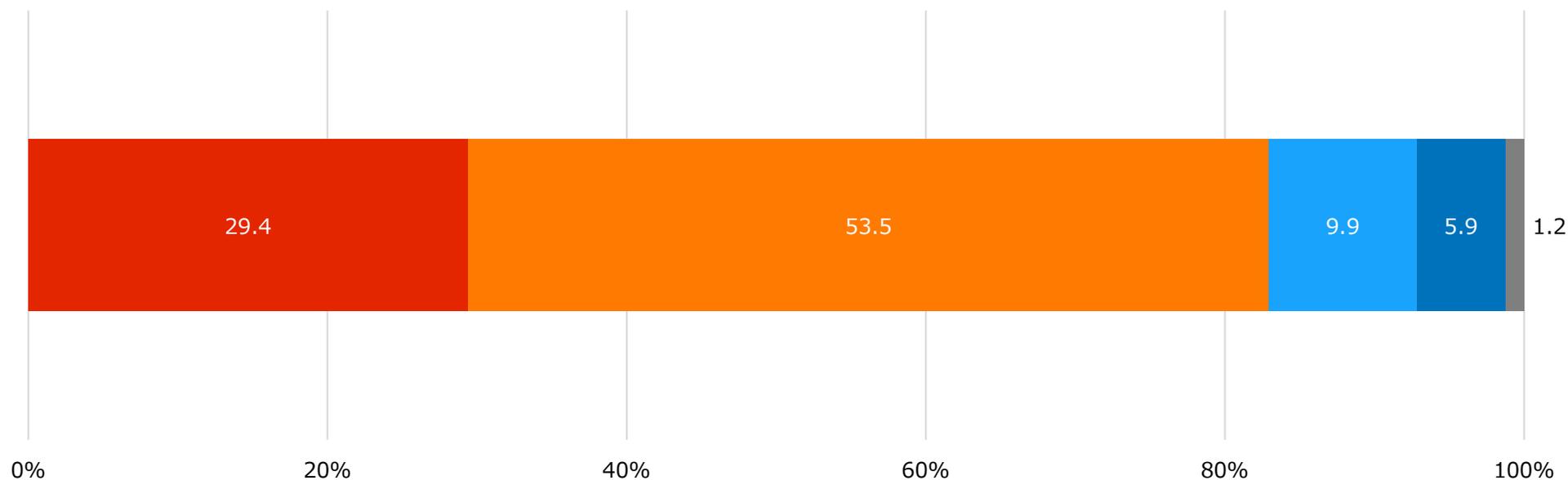
- 市内において高速道路へのアクセスや、国道や県道及び左岸バイパスなどの幹線道路を使った移動はしやすいと感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計82.9%であり、市民の8割以上が移動しやすいと感じていることが分かった。

■ 市内の高速道路や幹線道路へのアクセス

あなたは、市内において高速道路へのアクセスや、国道や県道及び左岸バイパスなどの幹線道路を使った移動はしやすいと思いますか。
(択一選択)

n=2,189

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

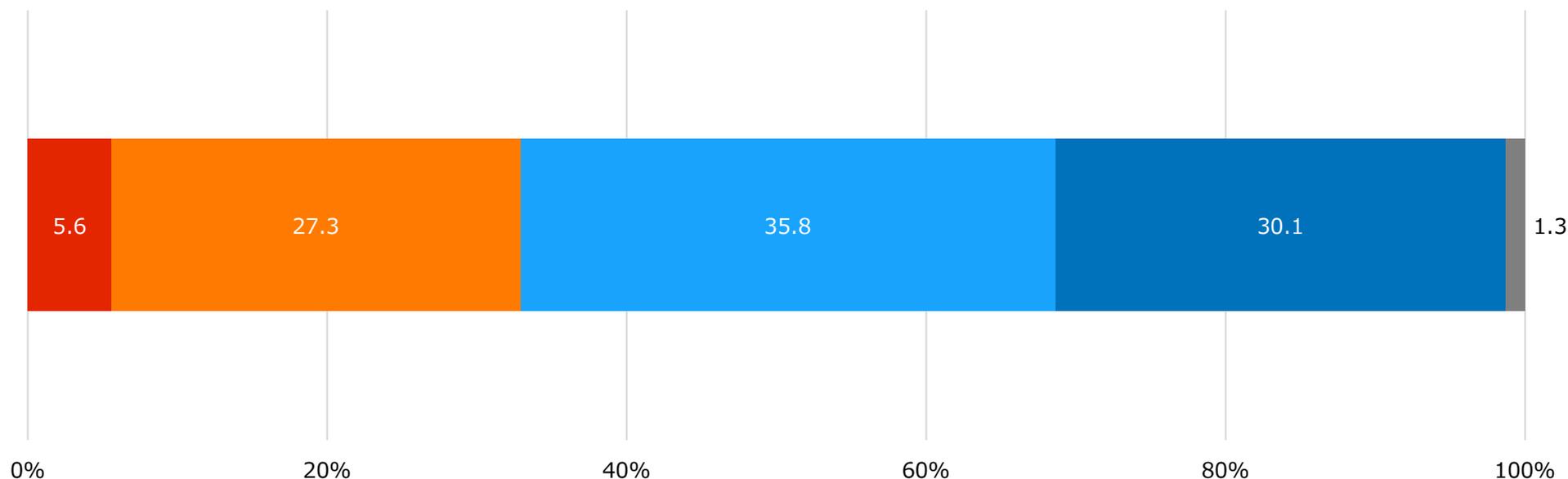
- 市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が合計32.9%に対し、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が合計65.9%であり、市民の6割以上が移動し難いと感じていることが分かった。

■ 市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

あなたは、市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと思いますか。（択一選択）

n=2,189

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

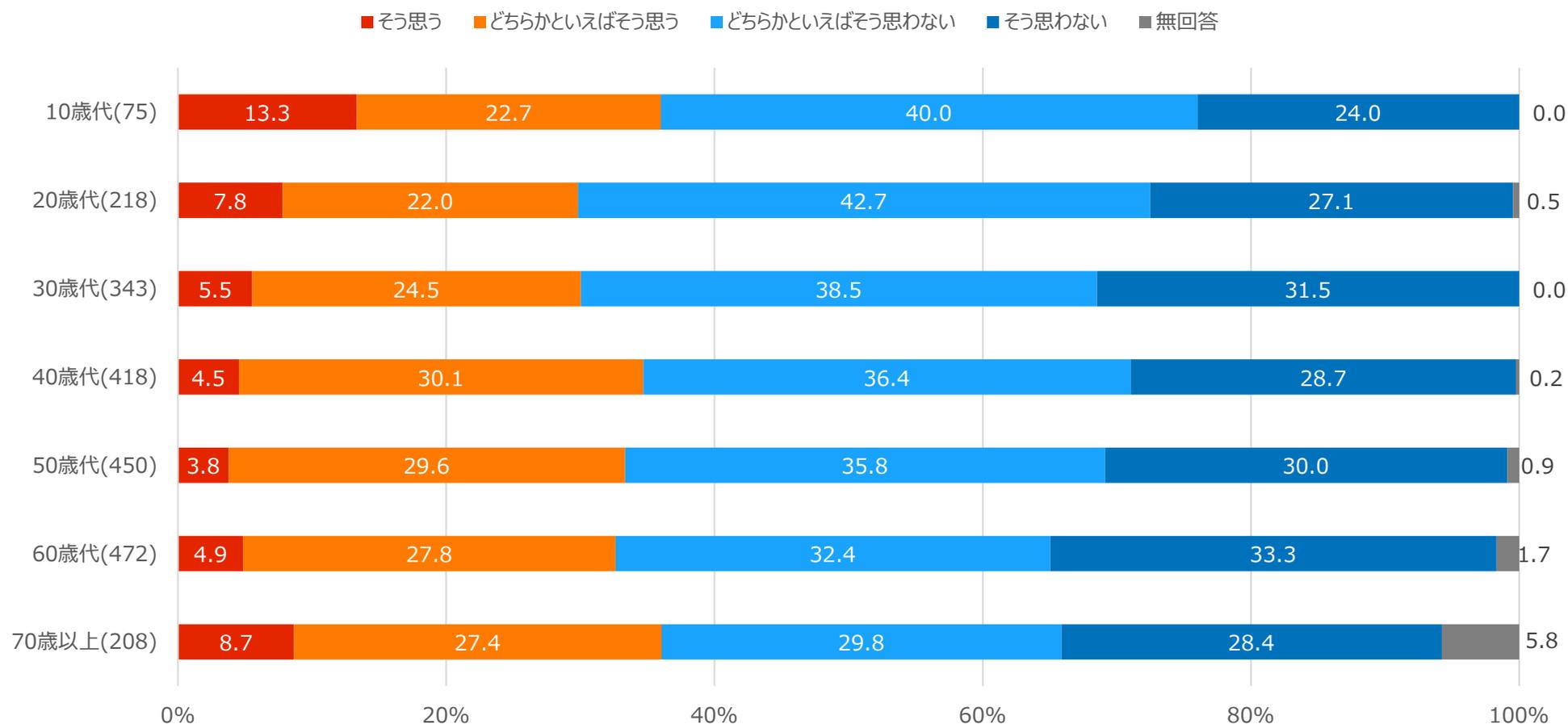


市内での鉄道やバスなど公共交通による移動（年代別）

- 市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について70歳代が最も高く36.1%で、次いで10歳代が36.0%であった。一方で、低かったのは30歳代や20歳代で30%程度であった。

■ 年代別 市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

n=2,189

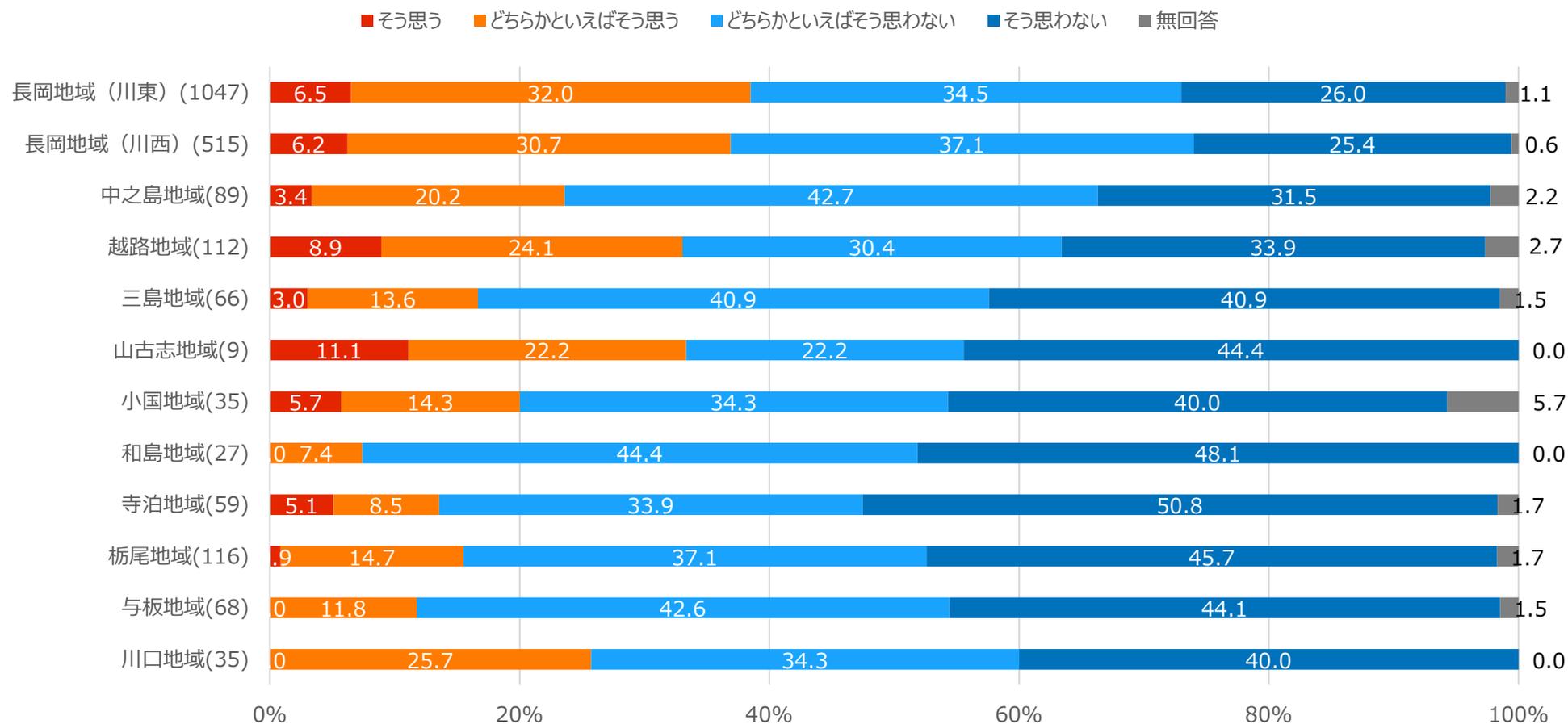


市内での鉄道やバスなど公共交通による移動（居住地域別）

- 市内での鉄道やバスなど公共交通を使った移動はしやすいと感じているかの回答について地域別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について長岡地域（川東、川西）では35%を超えているが、一方で、和島地域、寺泊地地域、与板地域では15%を下回っており、地域差ごとの差が大きいことが分かった。

■ 居住地域別 市内での鉄道やバスなど公共交通による移動

n=2,189



住環境（景観、公園などの周辺環境）の快適性

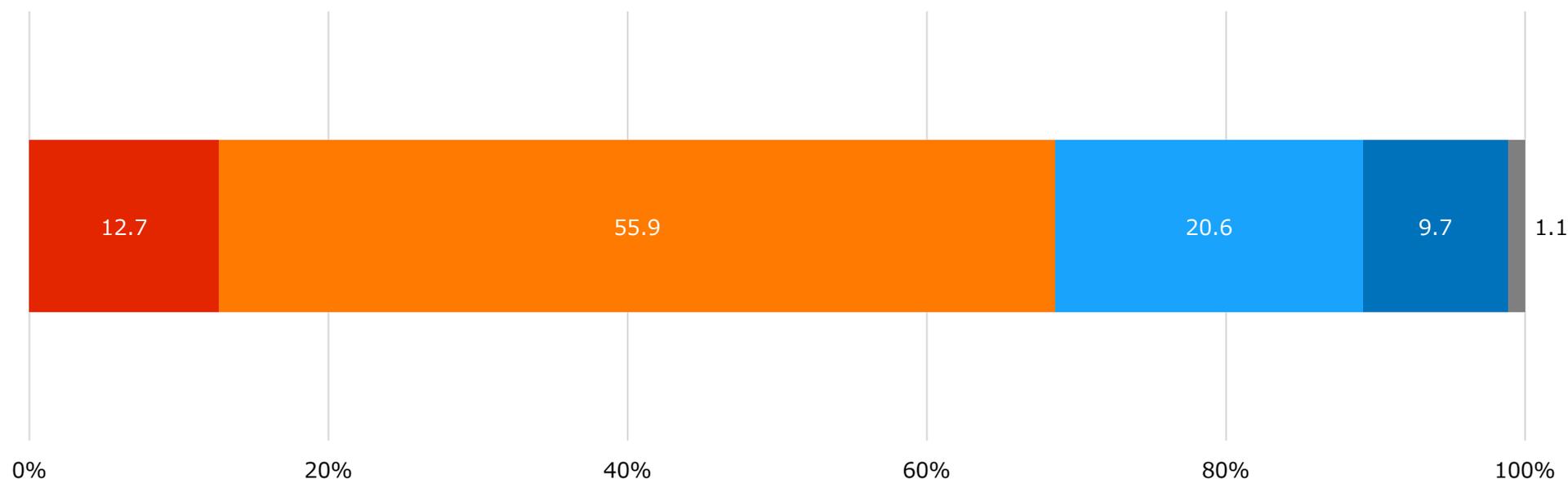
- 現在の住環境（景観、公園などの周辺環境）の快適性について質問した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が計68.6%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が計30.3%であり、市民の7割弱が現在の住環境は快適であると感じていることが分かった。

■ 住環境（景観、公園などの周辺環境）の快適性

あなたの現在の住環境（景観、公園などの周辺環境）は快適だと思いますか。（択一選択）

n=2,189

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答



4-6

中山間地域について

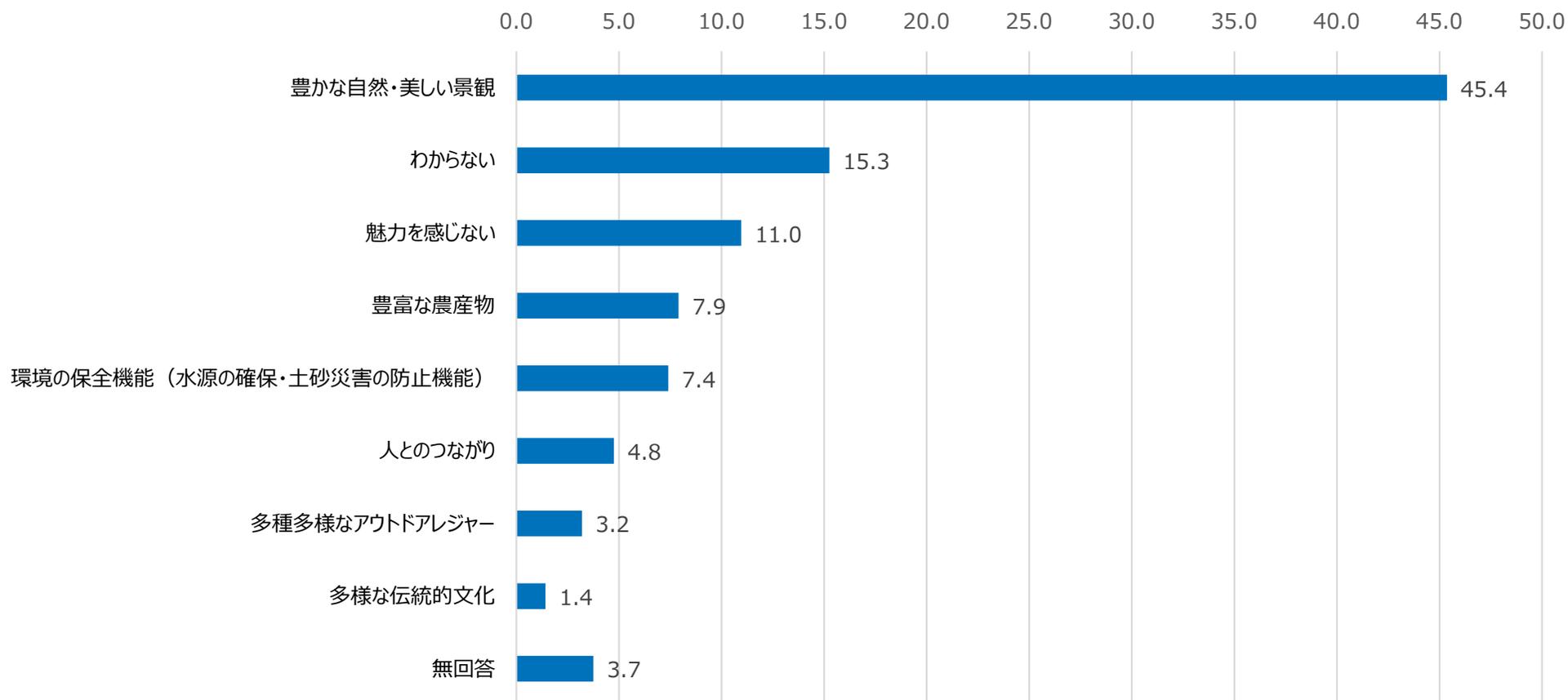
中山間地域の魅力

- 中山間地域の魅力について質問したところ、「豊かな自然・美しい景観」を選んだ人が45.4%と、全体の中で半数近くを占めた。
- 一方で、次いで多いのが「わからない」15.3%、「魅力を感じない」11%となっており、中山間地域に関心が無かったり魅力を感じない人も一定数いることが分かった。

■ 中山間地域の魅力

中山間地域のどのような点に魅力を感じますか。（択一選択）

n=2,189



中山間地の魅力（居住地域別）

- 中山間地の魅力について地域別に確認したところ、全体で最も回答割合が高かった「豊かな自然・美しい景観」については、川口地域と三島地域が5割以上と高い一方、中之島地域、与板地域、小国地域、山古志地域は4割以下であり、地域によって差があることが分かった。（※山古志地域は特にn数が少ないため留意が必要）

■ 居住地域別 中山間地の魅力

※各年代のn数は表中に表記 / 値は%（複数選択のため、各年代の合計は100%を超える）

属性	n	環境の保全機能（水源の確保・土砂災害の防止機能）	豊かな自然・美しい景観	豊富な農産物	多様な伝統的文化	多種多様なアウトドアレジャー	人とのつながり	魅力を感じない	わからない	
全体	2,189	7.4	45.4	7.9	1.4	3.2	4.8	11.0	15.3	3.7
長岡地域（川東）	1,047	8.0	46.3	8.4	1.6	3.0	3.6	11.1	15.0	3.0
長岡地域（川西）	515	6.6	46.4	6.8	1.2	3.9	3.3	10.5	17.1	4.3
中之島地域	89	4.5	36.0	7.9	0.0	5.6	4.5	12.4	20.2	9.0
越路地域	112	9.8	42.0	11.6	0.0	4.5	5.4	8.0	16.1	2.7
三島地域	66	4.5	51.5	6.1	0.0	1.5	6.1	10.6	15.2	4.5
山古志地域	9	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1
小国地域	35	11.4	40.0	5.7	0.0	0.0	20.0	11.4	5.7	5.7
和島地域	27	3.7	48.1	0.0	3.7	11.1	3.7	11.1	18.5	0.0
寺泊地域	59	3.4	44.1	5.1	1.7	0.0	6.8	8.5	23.7	6.8
栃尾地域	116	7.8	47.4	6.9	4.3	0.0	7.8	13.8	10.3	1.7
与板地域	68	7.4	36.8	8.8	0.0	5.9	11.8	11.8	11.8	5.9
川口地域	35	2.9	54.3	14.3	0.0	0.0	11.4	14.3	2.9	0.0

■ 全体+10%
■ 全体+5%
■ 全体-5%
■ 全体-10%
nが30以上の場合のみ表示

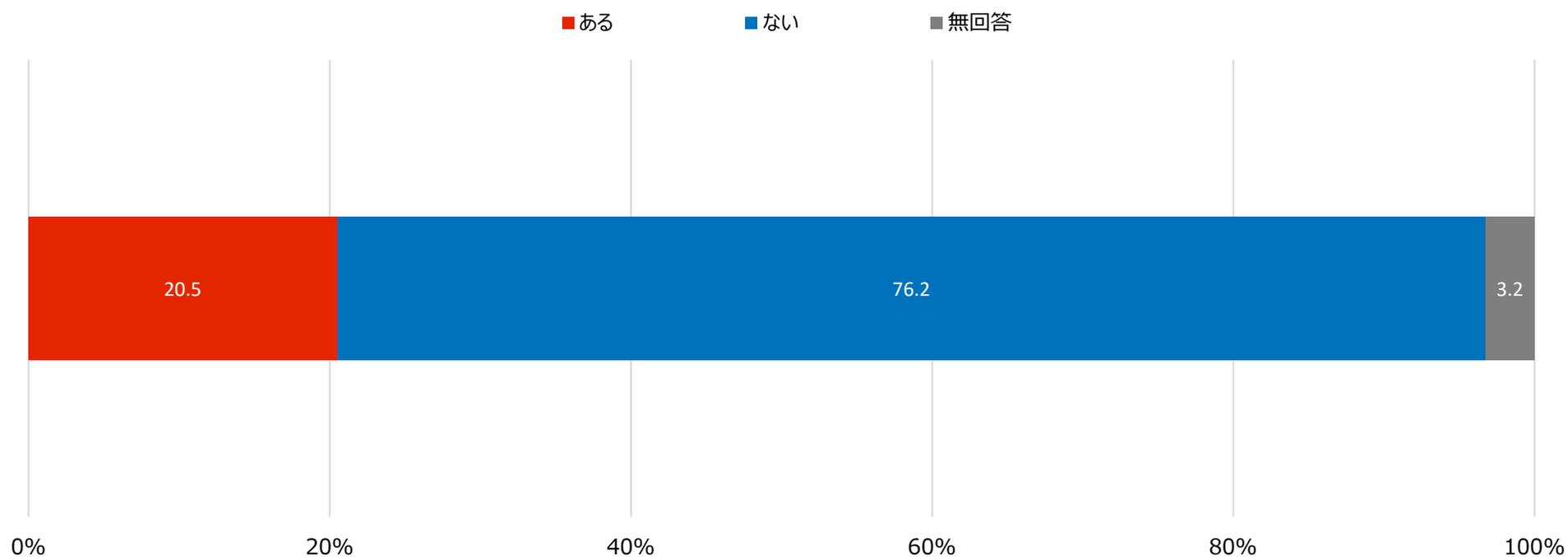
中山間地域への訪問の有無

- 過去1年間に、まつり、イベント、自然体験等で、中山間地域への訪問の有無について質問した。
- 「ある」と答えた方の割合は20.5%であり、「ない」と答えた方（76.2%）の4分の1程度であった。

■ 中山間地域への訪問の有無

過去1年間に、市内の中山間地域で開催するまつり・イベントへの参加や、自然体験等で市内の中山間地域を訪れたことがありますか。
(択一選択)

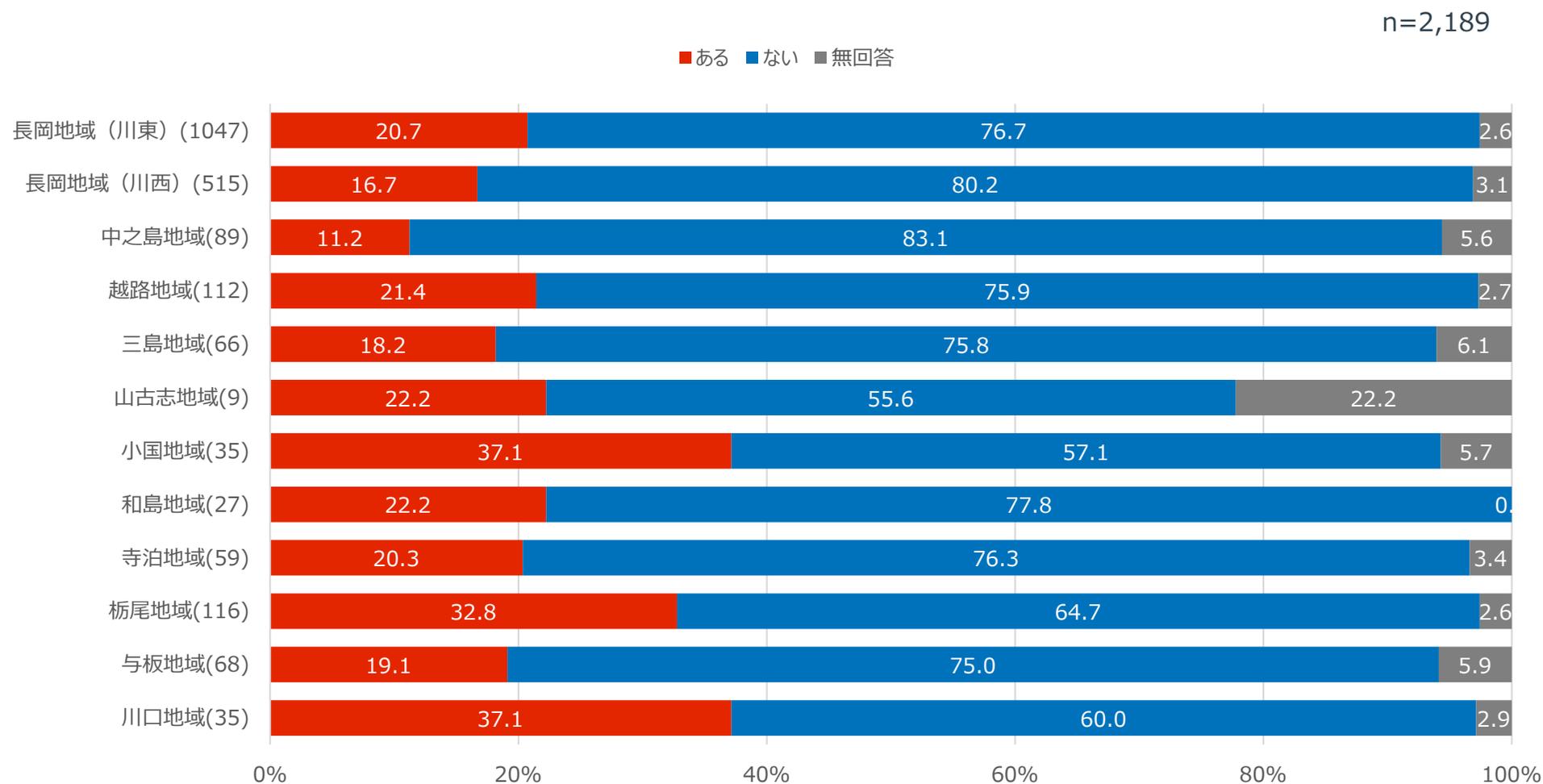
n=2,189



中山間地域への訪問の有無（居住地域別）

- 中山間地域への訪問の有無について地域別に確認した。
- その結果、「ある」について小国地域と川口地域では37.1%である一方で、中之島地域では11.2%であり、地域によって差があることが分かった。

■ 居住地域別 中山間地域への訪問の有無



4-7

土地の管理について

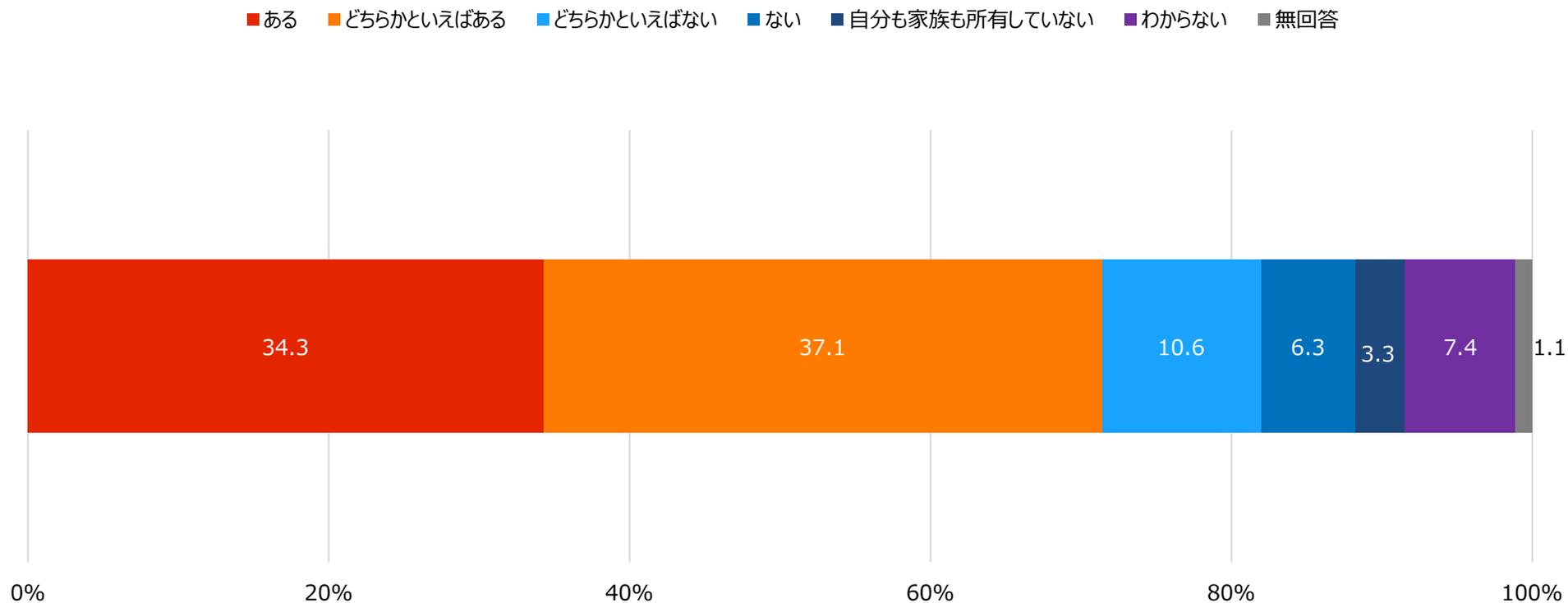
所有している土地や建物の将来の管理への不安

- 所有している土地や建物の将来の管理への不安について質問した。
- 「ある」「どちらかといえばある」の合計は71.4%であり、「どちらかといえばない」「ない」の合計16.9%を大きく上回った。

■ 所有している土地や建物の将来の管理への不安

あなたやあなたの家族が所有している土地や建物について、将来の管理に不安を感じていますか。（択一選択）

n=2,189



美しい景観や安全・安心な暮らしを守るための土地の管理

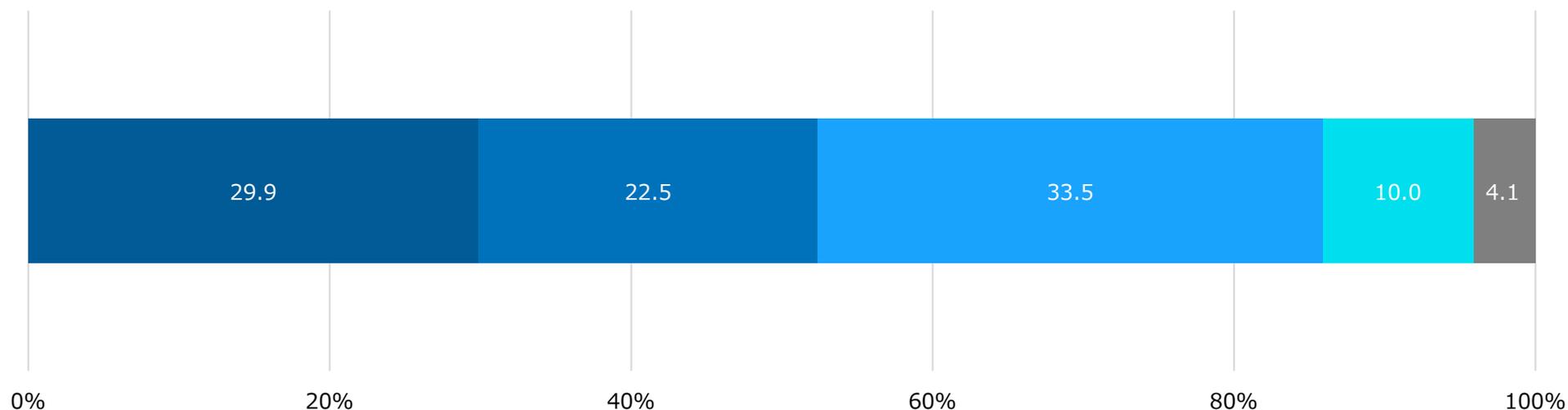
- 森林や農地の荒廃を防ぎ、これまでの美しい景観や安全・安心な暮らしを守るためには、土地の管理についてどのような取組みが必要だと考えているか質問した。
- 「地域外の人の手助けによる管理（33.5%）」、「土地所有者による管理（29.9%）」の順で多い結果となった。

■ 美しい景観や安全・安心な暮らしを守るための土地の管理

あなたは、森林や農地の荒廃を防ぎ、これまでの美しい景観や安全・安心な暮らしを守るためには、土地の管理についてどのような取組みが必要だと考えますか。（択一選択）

n=2,189

■ 土地所有者による管理 ■ 周辺住民や町内会による管理 ■ 地域外の人の手助けによる管理 ■ その他 ■ 無回答



4-8

行政サービスについて

市民にとって必要な行政サービスや政策

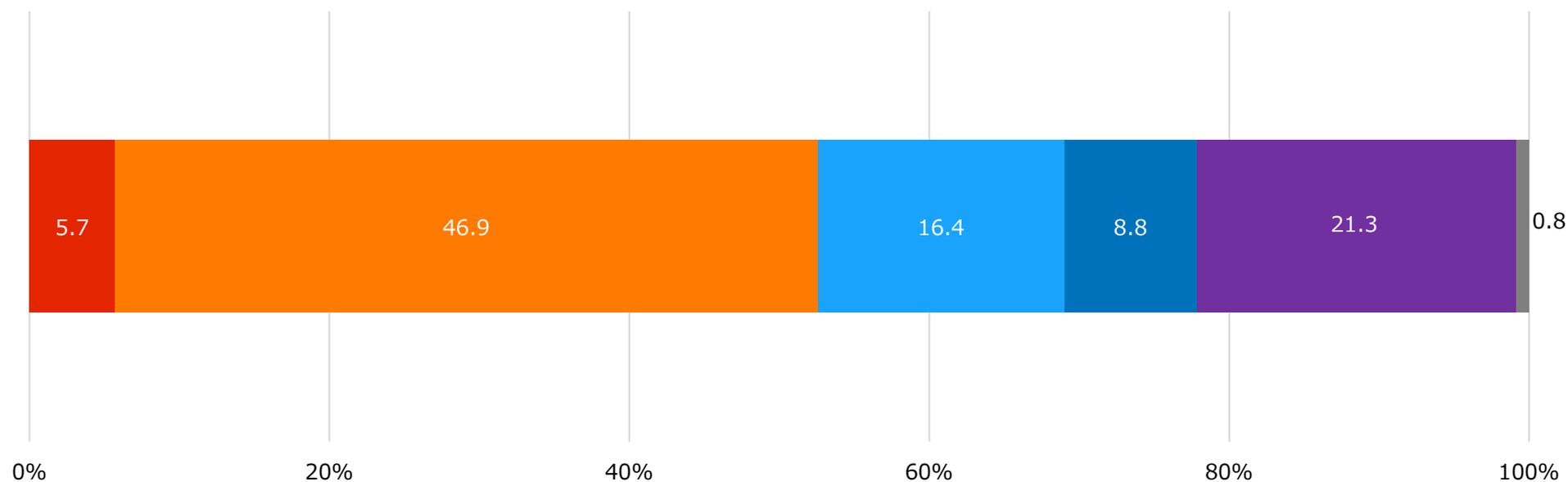
- 長岡市において、市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が52.6%であり、市民の半数以上が市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されていると感じていることが分かった。

■市民にとって必要な行政サービスや政策

長岡市では、市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されていると思いますか。（択一選択）

n=2,189

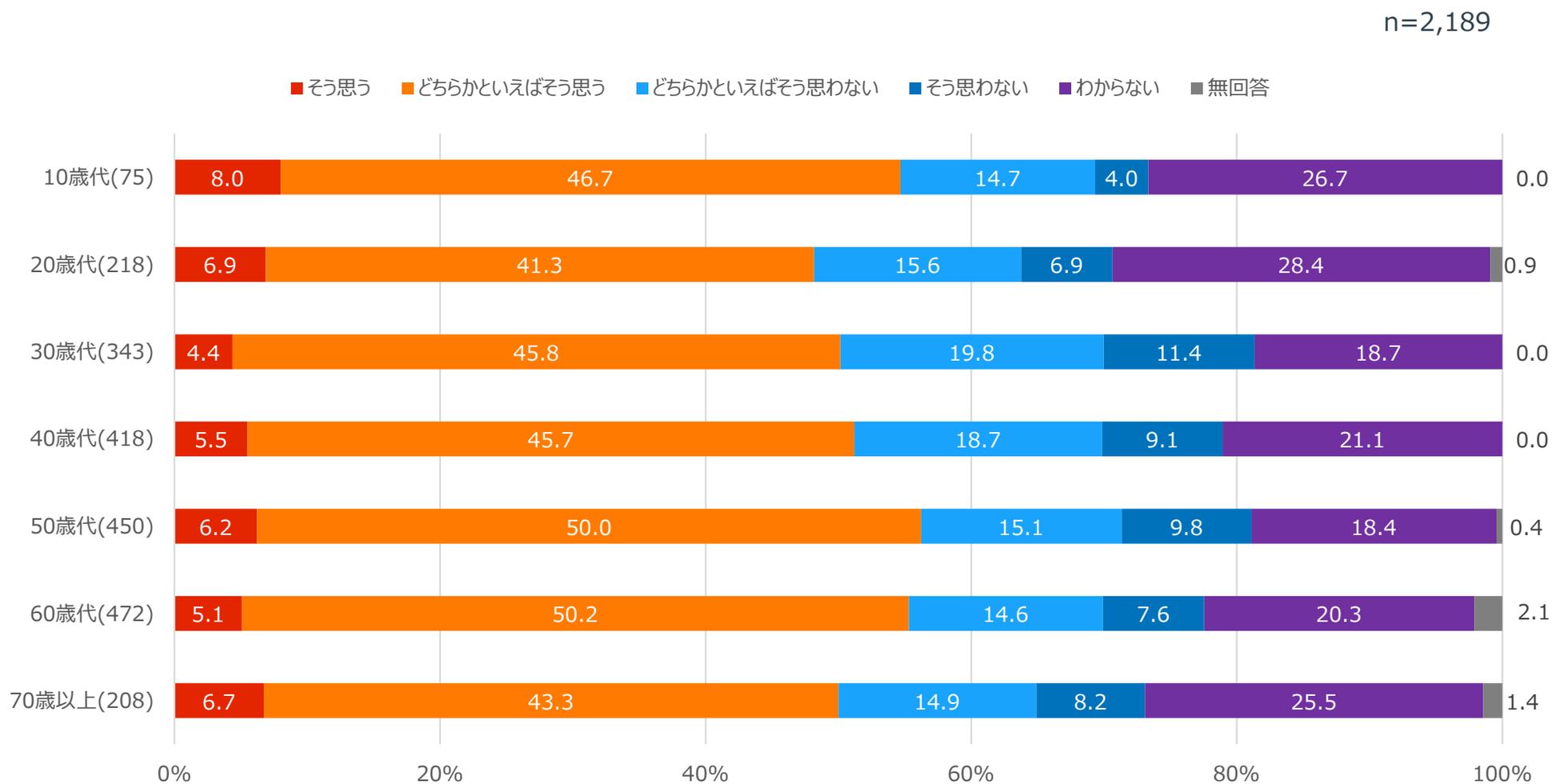
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



市民にとって必要な行政サービスや政策（年代別）

- 長岡市において、市民にとって必要な行政サービスや政策が実施されているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について50歳代が最も高く56.2%であった。一方で、最も低かったのは20歳代で48.2%であった。

■年代別 市民にとって必要な行政サービスや政策



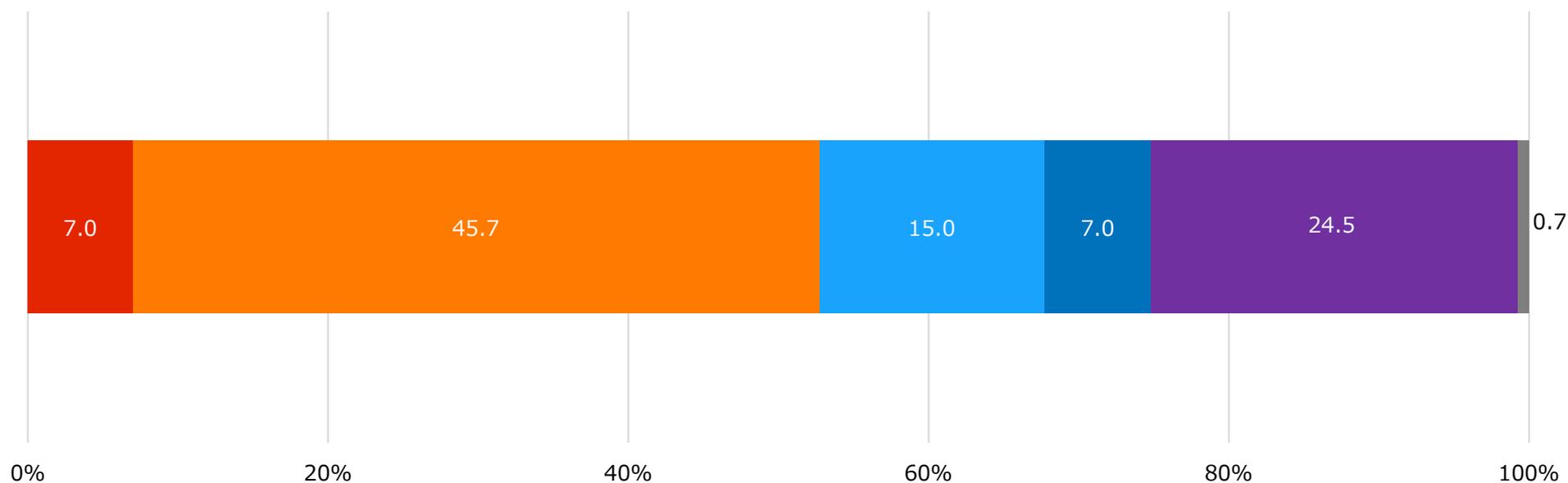
利便性の高い行政サービスの提供

- 長岡市では、各種手続きのオンライン化やキャッシュレス決済など、利便性の高い行政サービスが提供されていると感じているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の合計は52.7%であり、市民の半数以上が利便性の高い行政サービスが提供されていると感じていた。一方で、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「わからない」と回答した人の合計は46.5%であり、約半数の市民が利便性の高い行政サービスが提供されているとは感じていないことも分かった。

■ 利便性の高い行政サービスの提供

長岡市では、各種手続きのオンライン化やキャッシュレス決済など、利便性の高い行政サービスが提供されていると思いますか。（択一選択）
n=2,189

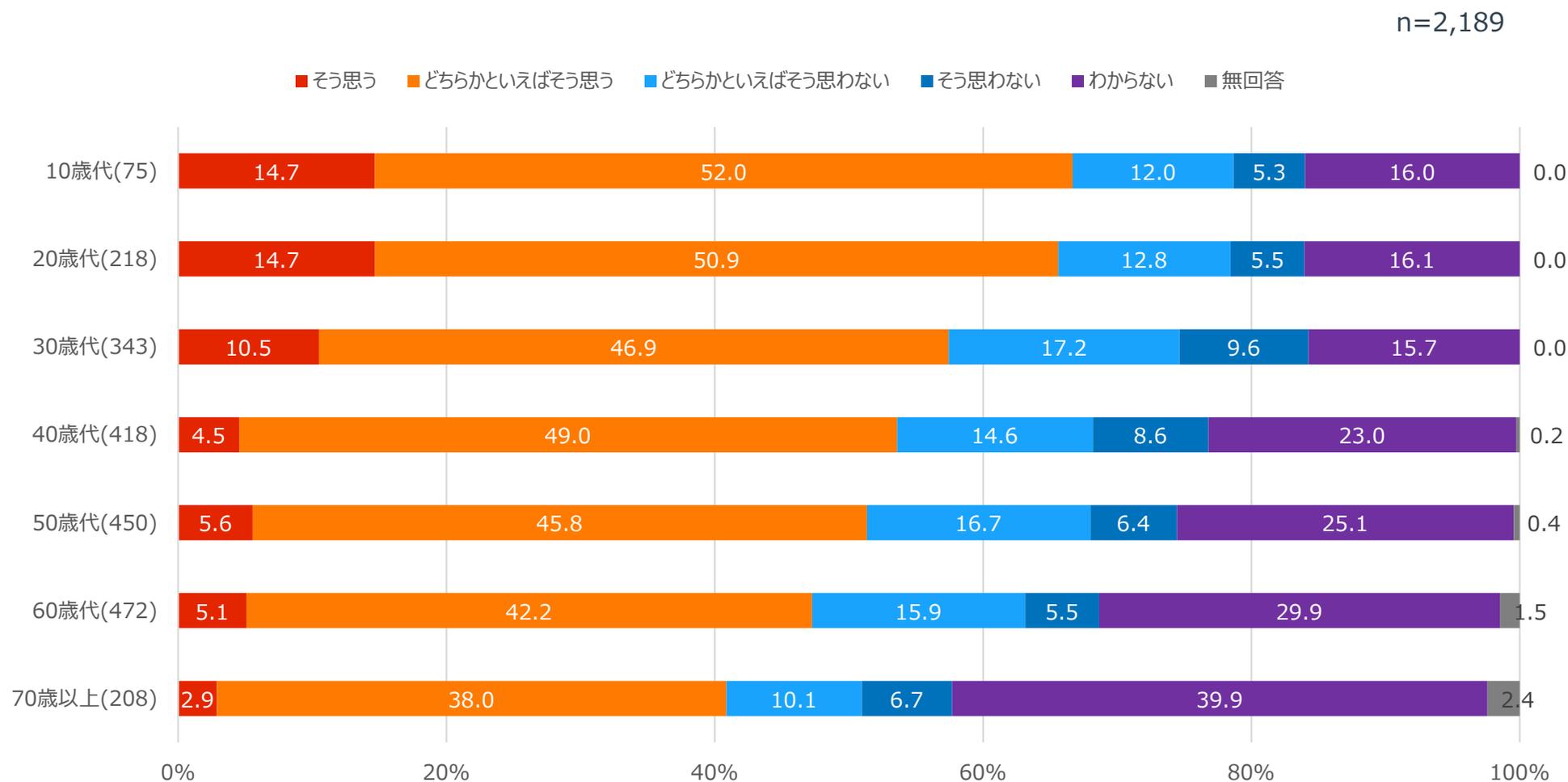
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



利便性の高い行政サービスの提供（年代別）

- 長岡市では、各種手続きのオンライン化やキャッシュレス決済など、利便性の高い行政サービスが提供されていると感じているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について10歳代が最も高く64.7%であり、以後年代が高くなるにつれて割合が減る傾向にあり、最も低かったのは70歳以上で40.9%であった。

■年代別 利便性の高い行政サービスの提供



必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得

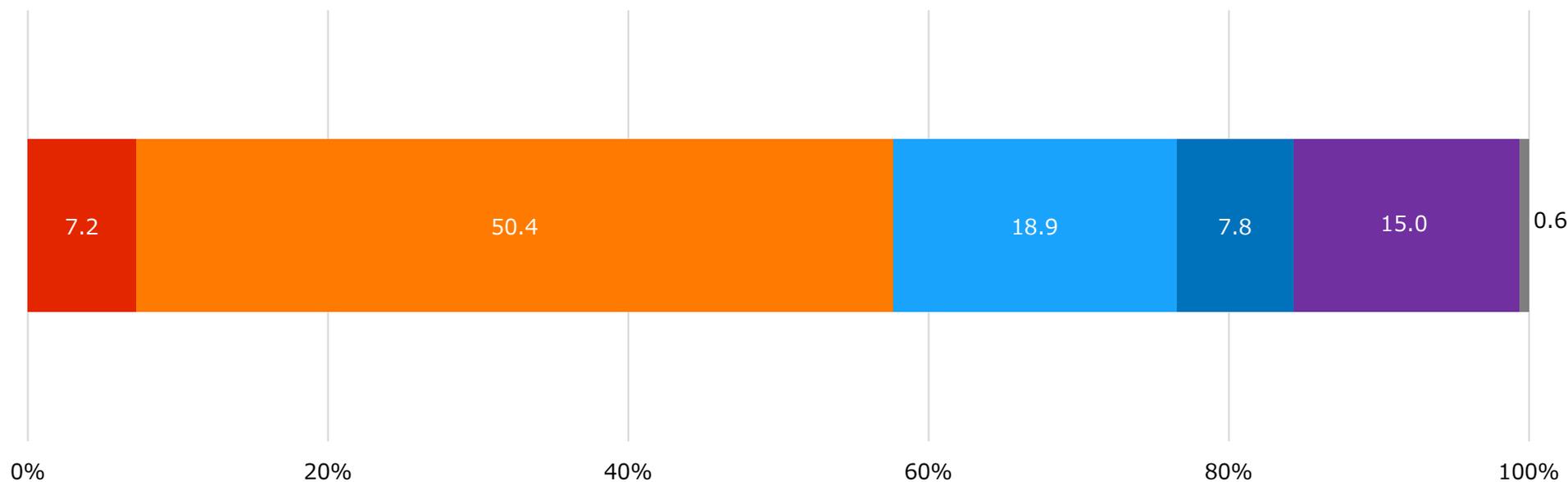
- 自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）を十分に得られているか質問した。
- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が52.6%であり、市民の半数以上が自分にとって必要な市民情報を十分に得られていると感じていることが分かった。

■ 必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得

あなたは、自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）を十分に得られていると思いますか。（択一選択）

n=2,189

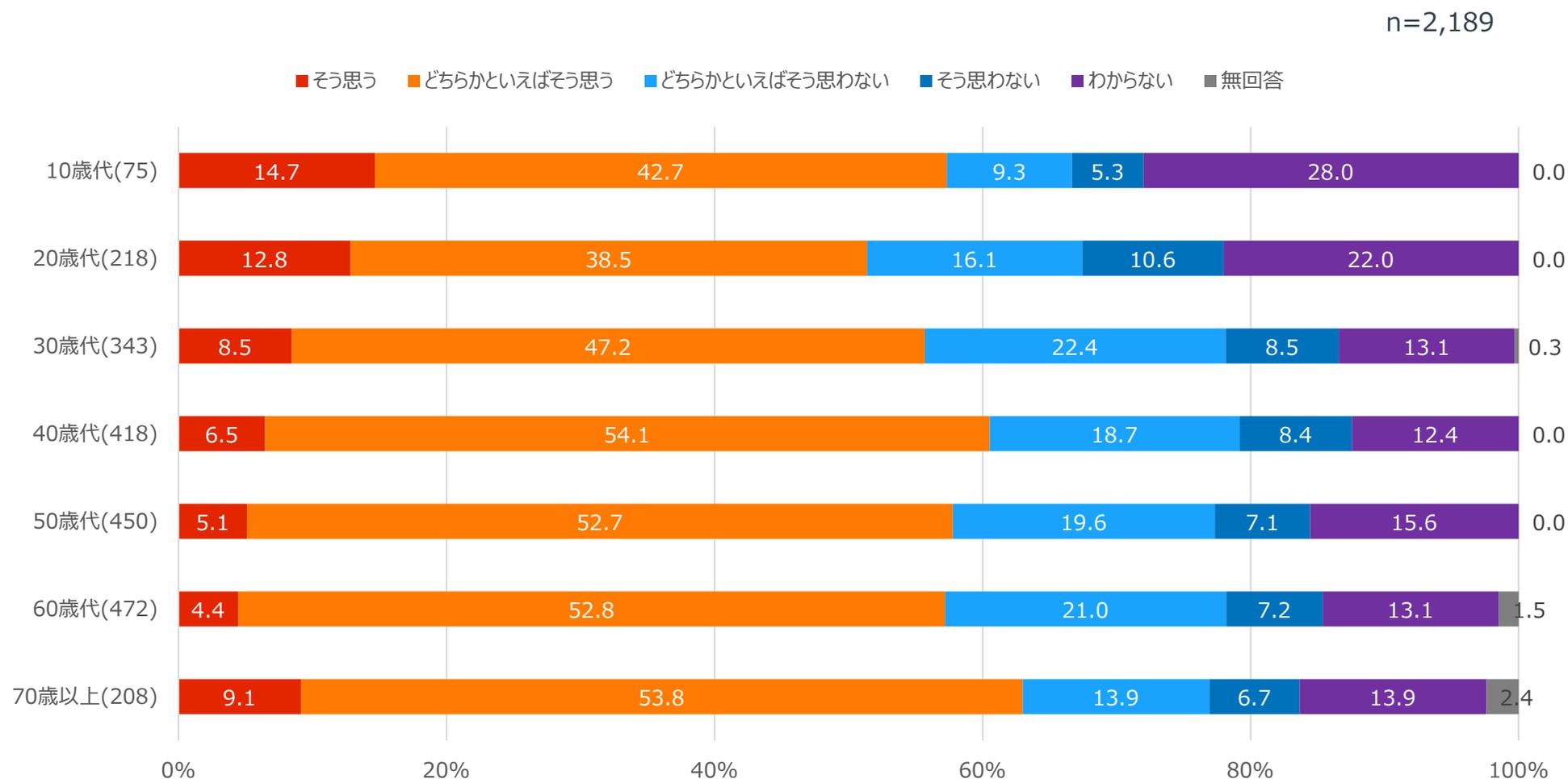
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答



必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得（年代別）

- 自分にとって必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）を十分に得られているかの回答について年代別に確認した。
- その結果、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計について70歳以上が最も高く62.9%であった。一方で、最も低かったのは20歳代で51.3%であった。

■年代別 必要な市政情報（くらし、健康、イベントなど）の取得



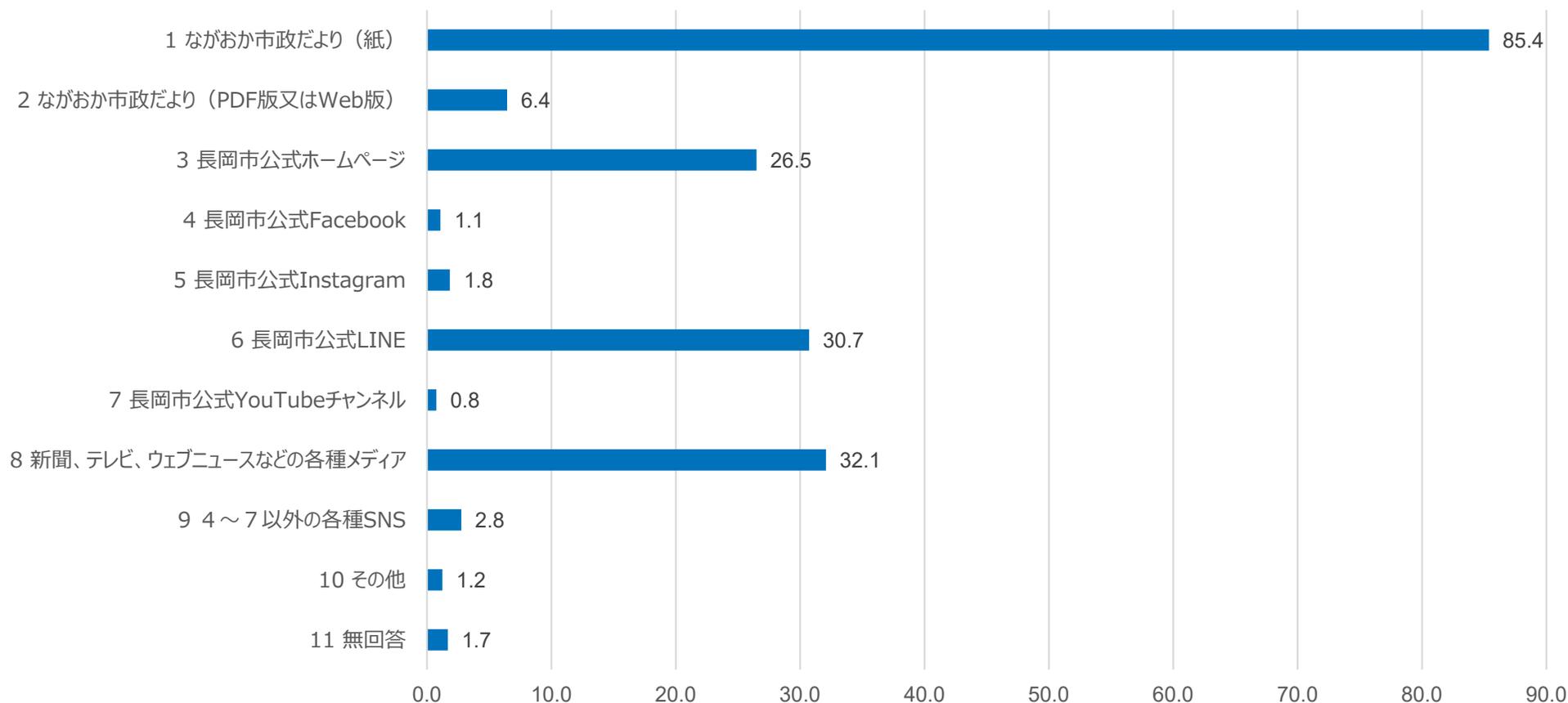
市政情報の取得方法

- 自分にとって必要な市政情報（暮らし、健康、イベントなど）について「わからない」以外の選択肢を選んだ回答者に対して、どのような方法で市政情報を得ているか質問した。
- その結果、「ながおか市政だより（85.4%）」、「新聞、テレビ、ウェブニュースなどの各種メディア（32.1%）」、「長岡市公式LINE（30.7%）」の順で回答割合が高いことが分かった。

■ 市政情報の取得方法

あなたは、どのような方法で市政情報を得ていますか。（上位3つまでに○）

n = 1,846



4-9

その他ご意見

その他ご意見（一部抜粋）

- アンケートの最終設問として、その他のご意見について自由記述（回答任意）を設けた。
- その結果、医療環境の充実や高齢者・生活弱者への支援、子育て・教育環境の多様化、地域経済の活性化・企業支援、除雪や交通改善、空き家・空き地対策、財政の透明化や行政サービスの利便性向上などに関する意見が多く見られた。

福祉・医療	子育て・教育	産業	観光・交流
<ul style="list-style-type: none"> 市の中心部以外でも病院を増やす施策に取り組んでほしい 高齢者の見守り活動に力を入れてほしい 過去のトラウマや心身の不調によって働くことが難しい人でも、安心して生活できる制度や環境を整えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの医療費助成に助かっている 夜間保育や朝7時前からの保育、病児保育など共働き世帯が安心して子育てできるサポートがほしい 猛暑・雪の影響を受けない年長～小学生が思いっきり遊べる屋内施設を増やしてほしい 自習スペースの整備や奨学金返済免除制度など学習者への支援を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の地域密着のお店がもっと市民に知ってもらえるようなイベントを実施してほしい 大手企業の誘致や企業支援に取り組んでほしい 消えていく地域の文化や、地域の愛されたお店や商品を守るためにも事業承継やM&A支援などに取り組んでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 長岡花火がにぎわうのはよいが、市民の優先枠を増やしてほしい。また、慰霊の花火だということをもっと知らせてほしい 他市町村などの道の駅などの成功例を参考にして、観光で訪れたいと思ってもらえるようなまちづくりをしてほしい 花火以外の長岡の良さ（歴史など）をもっとアピールしてほしい ボランティア活動に参加したい
安全・安心	まちづくり・インフラ	行財政	その他
<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の優先除雪ルート指定と夜間除雪の強化をしてほしい 災害時(水害)は、冠水・通行止め箇所について地区別に詳細な情報発信をしてほしい 家の耐震工事の補助及びシェルターの設置補助の強化をしてほしい 被災した際の経済的な負担が大きいため、補償を充実してほしい 害獣の駆除に力をいれてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前に商業施設や若者向けの娯楽施設を増やしてほしい 車がないと生活や就職が難しい現状を改善してほしい 高齢者も増えているので、空き家と空き地の対策を進めてほしい バス等の利便性の向上を希望。本数が減っていき、将来が不安 燃えるゴミの収集日を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の維持管理の在り方や費用対効果について再度検討してほしい 市の予算の使い方についてわかりやすく発表してほしい 市の中心部以外への支援も拡充してほしい デジタル化はよいが対応できる人とできない人を差別しないほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地化を図るより市民を大事にして長岡という場所に愛のある人を増やしてほしい 生まれ育った所だから好き。Uターン・移住したいと思われるまちづくりをこれからも市民と共に進めてほしい 中山間地の過疎化に危機感があるため住民の意見を聞き、地域振興をしてほしい 町内会の連絡、回覧板のデジタル化を進めてほしい